

## 【表紙】

【提出書類】 有価証券届出書

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 2020年12月18日

【発行者名】 ブラックロック・ジャパン株式会社

【代表者の役職氏名】 代表取締役会長 井澤 吉幸

【本店の所在の場所】 東京都千代田区丸の内一丁目8番3号

【事務連絡者氏名】 猪浦 純子

【電話番号】 03-6703-7940

【届出の対象とした募集（売出）内国投資信託受益証券に係るファンドの名称】 ブラックロックE S G世界株式ファンド（限定為替ヘッジあり）  
ブラックロックE S G世界株式ファンド（為替ヘッジなし）

【届出の対象とした募集（売出）内国投資信託受益証券の金額】 ブラックロックE S G世界株式ファンド（限定為替ヘッジあり）  
ブラックロックE S G世界株式ファンド（為替ヘッジなし）  
： 各ファンド5,000億円を上限とします。

【縦覧に供する場所】 該当事項はありません。

（注）本書において文中および表中の数字は四捨五入された数値として表示されている場合があり、従って合計として表示された数字はかかる数値の総和と必ずしも一致するとは限りません。

## 第一部【証券情報】

### (1)【ファンドの名称】

ブラックロックESG世界株式ファンド(限定為替ヘッジあり)

ブラックロックESG世界株式ファンド(為替ヘッジなし)

(「ブラックロックESG世界株式ファンド(限定為替ヘッジあり)」、「ブラックロックESG世界株式ファンド(為替ヘッジなし)」を総称して、以下「当ファンド」または「ファンド」という場合があります。また、各々を「各ファンド」、「ブラックロックESG世界株式ファンド(限定為替ヘッジあり)」を「限定為替ヘッジあり」、「ブラックロックESG世界株式ファンド(為替ヘッジなし)」を「為替ヘッジなし」という場合があります。)

### (2)【内国投資信託受益証券の形態等】

追加型証券投資信託の受益権です。

当初元本は、1口当り1円です。

ファンドの受益権は、社債、株式等の振替に関する法律(以下、「社振法」といいます。)の規定の適用を受け、受益権の帰属は、後述の「(11)振替機関に関する事項」に記載の振替機関および当該振替機関の下位の口座管理機関(社振法第2条に規定する「口座管理機関」をいい、振替機関を含め、以下「振替機関等」といいます。)の振替口座簿に記載または記録されることにより定まります(以下、振替口座簿に記載または記録されることにより定まる受益権を「振替受益権」といいます。)。委託会社であるブラックロック・ジャパン株式会社は、やむを得ない事情等がある場合を除き、当該振替受益権を表示する受益証券を発行しません。また、振替受益権には無記名式や記名式の形態はありません。

当ファンドについて、委託会社の依頼により、信用格付業者から提供され、若しくは閲覧に供された信用格付または信用格付業者から提供され、若しくは閲覧に供される予定の信用格付はありません。

### (3)【発行(売出)価額の総額】

「限定為替ヘッジあり」、「為替ヘッジなし」各ファンド5,000億円を上限とします。

当ファンドの運用戦略に適した運用規模・運用効率を勘案し、市場環境や資金流入の動向に応じて信託金の限度額を下回る段階で購入申込の受付を停止する場合があります。

### (4)【発行(売出)価格】

購入受付日の翌営業日の基準価額とします。

基準価額につきましては、販売会社または下記にお問い合わせください。

ブラックロック・ジャパン株式会社

電話番号：03-6703-4300(受付時間 営業日の9:00~17:00)

ホームページアドレス：[www.blackrock.com/jp/](http://www.blackrock.com/jp/)

### (5)【申込手数料】

購入時の申込手数料(以下「購入時手数料」といいます。)はありません。

### (6)【申込単位】

分配金の受取方法により、収益の分配時に分配金を受け取る「一般コース」と、分配金が税引き後、無手数料で再投資される「累積投資コース」の2つの購入方法があります。

取扱いを行なうコースおよび購入の申込単位(以下「購入単位」といいます。)は、各販売会社により異なりますので、詳細は販売会社にお問い合わせください。

## (7)【申込期間】

2020年12月19日から2021年6月18日まで

申込期間は、上記期間満了前に有価証券届出書を提出することによって更新されます。

## (8)【申込取扱場所】

ファンドの申込取扱場所（以下「販売会社」といいます。）については下記にお問い合わせください。

ブラックロック・ジャパン株式会社

電話番号：03-6703-4300（受付時間 営業日の9：00～17：00）

ホームページアドレス：www.blackrock.com/jp/

## (9)【払込期日】

受益権の投資者は、販売会社が定める日までに購入代金（購入受付日の翌営業日の基準価額に購入口数を乗じた金額をいいます。）を販売会社に支払うものとします。

振替受益権に係る各購入受付日の発行価額の総額は、販売会社によって追加信託が行なわれる日に委託会社の指定する口座を経由して、受託会社の指定するファンド口座に払い込まれます。

## (10)【払込取扱場所】

上記「(8)申込取扱場所」でお払込みください。

## (11)【振替機関に関する事項】

振替機関は、株式会社証券保管振替機構です。

## (12)【その他】

購入代金の利息

購入代金には利息をつけません。

日本以外の地域における発行

行ないません。

購入不可日

販売会社の営業日であっても、ルクセンブルグの銀行の休業日、12月24日、その他主要投資対象ファンドの受付不可日のいずれかに該当する場合は、購入は受け付けません。

振替受益権について

ファンドの受益権は、社振法の規定の適用を受け、上記「(11)振替機関に関する事項」に記載の振替機関の振替業にかかる業務規程等の規則にしたがって取り扱われるものとします。

ファンドの分配金、償還金、換金代金は、社振法および上記「(11)振替機関に関する事項」に記載の振替機関の業務規程その他の規則にしたがって支払われます。

## (参考)

投資信託振替制度とは、

- ・ファンドの受益権の発生、消滅、移転をコンピュータシステムにて管理します。
- ・ファンドの設定、換金、償還等がコンピュータシステム上の帳簿（「振替口座簿」といいます。）への記載・記録によって行なわれますので、受益証券は発行されません。

## 第二部【ファンド情報】

### 第1【ファンドの状況】

#### 1【ファンドの性格】

##### (1)【ファンドの目的及び基本的性格】

「ブラックロック ESG 世界株式ファンド（限定為替ヘッジあり）」、「ブラックロック ESG 世界株式ファンド（為替ヘッジなし）」は、信託財産の成長を目指して運用を行ないます。

（「ブラックロック ESG 世界株式ファンド（限定為替ヘッジあり）」、「ブラックロック ESG 世界株式ファンド（為替ヘッジなし）」を総称して、以下「当ファンド」または「ファンド」という場合があります。また、各々を「各ファンド」、「ブラックロック ESG 世界株式ファンド（限定為替ヘッジあり）」を「限定為替ヘッジあり」、「ブラックロック ESG 世界株式ファンド（為替ヘッジなし）」を「為替ヘッジなし」という場合があります。）

当ファンドは、追加型証券投資信託であり、追加型投信 / 海外 / 株式に属しています。下記は、一般社団法人投資信託協会の「商品分類に関する指針」に基づき当ファンドが該当する商品分類・属性区分を網掛け表示しています。

##### < 商品分類表 >

単位型・追加型	投資対象地域	投資対象資産（収益の源泉）
単位型投信 追加型投信	国内 海外 内外	株式 債券 不動産投信 その他資産（ ） 資産複合

##### < 属性区分表 >

投資対象資産	決算頻度	投資対象地域	投資形態	為替ヘッジ
株式 一般 大型株 中小型株 債券 一般 公債 社債 その他債券 クレジット属性 不動産投信 その他資産 (投資信託証券(株式)) 資産複合 資産配分固定型 資産配分変更型	年1回 年2回 年4回 年6回 (隔月) 年12回 (毎月) 日々 その他	グローバル (日本を含む) 日本 北米 欧州 アジア オセアニア 中南米 アフリカ 中近東 (中東) エマージング	ファミリー ファンド  ファンド・ オブ・ ファンズ	< 限定為替ヘッジあり > あり (限定ヘッジ)  < 為替ヘッジなし > なし

## &lt;各分類および区分の定義&gt;

## ・商品分類

単位型投信・追加型投信の区分	追加型投信	一度設定されたファンドであってもその後追加設定が行なわれ従来の信託財産とともに運用されるファンドをいう。
投資対象地域による区分	海外	目論見書または投資信託約款において、組入資産による主たる投資収益が実質的に海外の資産を源泉とする旨の記載があるものをいう。
投資対象資産による区分	株式	目論見書または投資信託約款において、組入資産による主たる投資収益が実質的に株式を源泉とする旨の記載があるものをいう。

## ・属性区分

投資対象資産による属性区分	その他資産（投資信託証券（株式））	目論見書または投資信託約款において、主として投資信託証券に投資する旨の記載があるものをいう。ただし、当ファンドは、投資信託証券を通じて主として株式に投資する。
決算頻度による属性区分	年1回	目論見書または投資信託約款において、年1回決算する旨の記載があるものをいう。
投資対象地域による属性区分	グローバル（日本を含む）	目論見書または投資信託約款において、組入資産による投資収益が日本を含む世界の資産を源泉とする旨の記載があるものをいう。
投資形態による属性区分	ファンド・オブ・ファンズ	「投資信託等の運用に関する規則」第2条に規定するファンド・オブ・ファンズをいう。
為替ヘッジによる属性区分	為替ヘッジあり（限定ヘッジ）	目論見書または投資信託約款において、為替のフルヘッジまたは一部の資産に為替のヘッジを行なう旨の記載があるものをいう。なお、「為替ヘッジ」とは、対円で為替リスクに対するヘッジの有無をいう。
	為替ヘッジなし	目論見書または投資信託約款において、為替のヘッジを行わない旨の記載があるものまたは為替のヘッジを行なう旨の記載がないものをいう。なお、「為替ヘッジ」とは、対円で為替リスクに対するヘッジの有無をいう。

上記は、一般社団法人投資信託協会の定義を基に委託会社が作成したものを含みます。なお、上記以外の商品分類・属性区分の定義については、一般社団法人投資信託協会のホームページ（<http://www.toushin.or.jp/>）をご参照ください。

信託金の限度額は、「限定為替ヘッジあり」、「為替ヘッジなし」各ファンド5,000億円とします。ただし、委託会社は受託会社と合意のうえ、当該限度額を変更することができます。

当ファンドの運用戦略に適した運用規模・運用効率を勘案し、市場環境や資金流入の動向に応じて信託金の限度額を下回る段階で購入申込の受付を停止する場合があります。

ファンドの特色（各ファンドの特色）

1

各企業のESGに着目しながら、先進国の企業または先進国に主要な業務基盤がある企業の株式ならびに株式関連商品(デリバティブ含む)等に投資します。

### ESG投資とは

ESG投資とは、Environment(環境)、Social(社会)、Governance(企業統治)の3つの切り口による分析をもとに、優れた経営をしている企業に投資する考え方のことです。

■主として、各企業のESGに着目しながら、先進国の企業または先進国に主要な業務基盤がある企業の株式ならびに株式関連商品(デリバティブ含む)等に投資する投資信託証券に投資します。

■当ファンドは、ファンド・オブ・ファンズ形式で運用を行ない、「BSF ブラックロック・システムチック ESGワールド・エクイティ・ファンド\*1」および「ICS ブラックロック・ICS・USTレジャリー・ファンド\*2」に投資します。「BSF ブラックロック・システムチック ESGワールド・エクイティ・ファンド」を主要投資対象ファンドとし、その組入比率を高位に保ちます。

\*1 正式名称は、「ブラックロック・ストラテジック・ファンズ ブラックロック・システムチック ESGワールド・エクイティ・ファンド クラスI 投資証券(円建て円ヘッジまたは円建て)」です。

\*2 正式名称は、「インスティテューショナル・キャッシュ・シリーズplc ブラックロック・ICS・USTレジャリー・ファンド エージェンシー クラス投資証券(米ドル建て)」です。

※投資対象ファンドは、委託会社の判断により適宜見直しを行なうことがあります。

2

主要投資対象ファンドは、ブラックロック独自の計量モデルを活用し運用します。

■計量モデルとは、市場や株価の動きを計量的な数式で捉えようとするものです。大量の投資情報を活用し、リターン獲得を図るためのツールです。

3

当ファンドは、為替ヘッジの有無により、「限定為替ヘッジあり」と「為替ヘッジなし」があります。

#### 限定為替ヘッジあり

主要投資対象ファンドにおいて、当該ファンドの純資産額を米ドル換算した額に対して米ドル売り・円買いの為替ヘッジを行ない、為替変動リスクの低減を図ります。主要投資対象ファンドが保有する米ドル建て以外の資産については、米ドルに対する当該通貨の為替変動の影響を受けます。(また、米ドル金利が円金利より高い場合、ヘッジコストがかかります。)

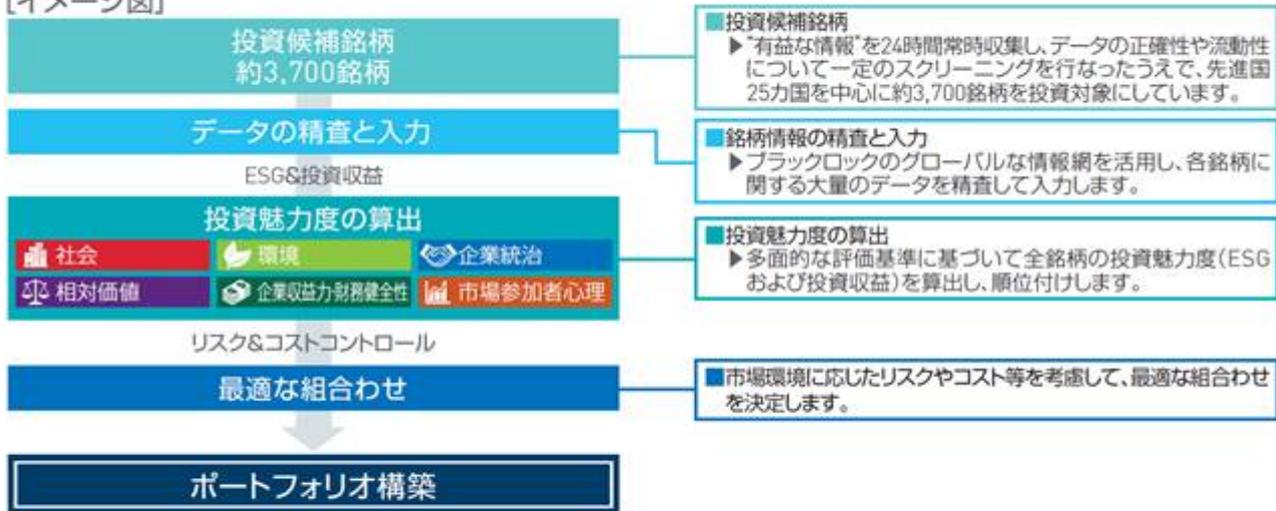
#### 為替ヘッジなし

実質的な外貨建資産に対して原則として為替ヘッジを行ないません。このため、為替変動の影響を受けます。

## &lt;主要投資対象ファンドの運用プロセス&gt;

独自の計量モデルの活用に加え、ビッグデータ分析などの最新テクノロジーを駆使しながら、ESGと投資収益の両方に着目したポートフォリオを構築します。

[イメージ図]



- ※ 上記の投資対象銘柄数は、今後変更になる可能性があります。
- ※ 資金動向、市況動向等によっては上記のような運用ができない場合があります。
- ※ 主要投資対象ファンドの運用プロセスは変更となる場合があります。

(追加的記載事項)

## ESG投資について

## 投資の新たな潮流:加速する世界のESG投資

欧州が主導してESG投資が拡大しましたが、現在では米国など他の国々にも広がりを見せ、その潮流は加速しています。

## 世界のESG投資の歴史

- 2006年 国連による責任投資原則(PRI)が公表され、ESG投資の注目度が高まる  
PRIの公表以来、その考え方に賛同する運用機関数は年々増加する傾向にあります。
- 2012年 ESG関連投資額が世界で1,000兆円を超える\*1
- 2013年 G8サミットで社会的投資フォーラム開催  
主催国イギリスのキャメロン首相(当時)が各国の首脳に呼びかけて、住みよい社会を作るための投資を行ないながら、経済的利益の獲得を目指す考え方を広めました。これを機に、社会的な課題の解決と経済的な利益の追求の二つを目指す投資の考え方が世界の金融市場に浸透していきました。
- 2015年 SDGs(持続可能な開発目標)の採択  
国連で193の加盟国が「持続可能な開発のための2030アジェンダ」を全会一致で採択しました。
- 2015年 世界の証券取引所がESG情報開示を要求\*2  
日本取引所グループ、NASDAQ、ユーロネクストなど世界の約60以上の証券取引所が加盟している国際取引所連合(WFE)は、2015年より各取引所に対し、ESG情報開示ガイダンスを発行し、上場企業のESGへの対応状況の開示を促しています。

欧州の年金基金や機関投資家の中には2020年までに

“ESG関連の評価が低い銘柄には一切投資しない”

“運用資産全てをESG投資に切り替える”

ということを目標に掲げる動きが始まっています。

## ESG投資とは?

ESG投資とは、Environment(環境)、Social(社会)、Governance(企業統治)の三つの切り口による分析をもとに、優れた経営をしている企業に投資する考え方のことです。

## SDGsとは?

SDGs(Sustainable Development Goals)とは、2016年から2030年の15年間に達成すべく掲げた国際目標です。貧困や飢餓、エネルギー、気候変動、平和的社会など、持続可能な開発目標として17の項目が定められました。



\*1 Global Sustainable Investment Review 2012、世界の機関投資家のESG関連投資額を使用、2012年末時点の三菱UFJ銀行の米ドル/円の仲値を使用して円換算

\*2 国際取引所連合

## 世界の運用資産額の約4分の1を占めるまでに拡大したESG投資

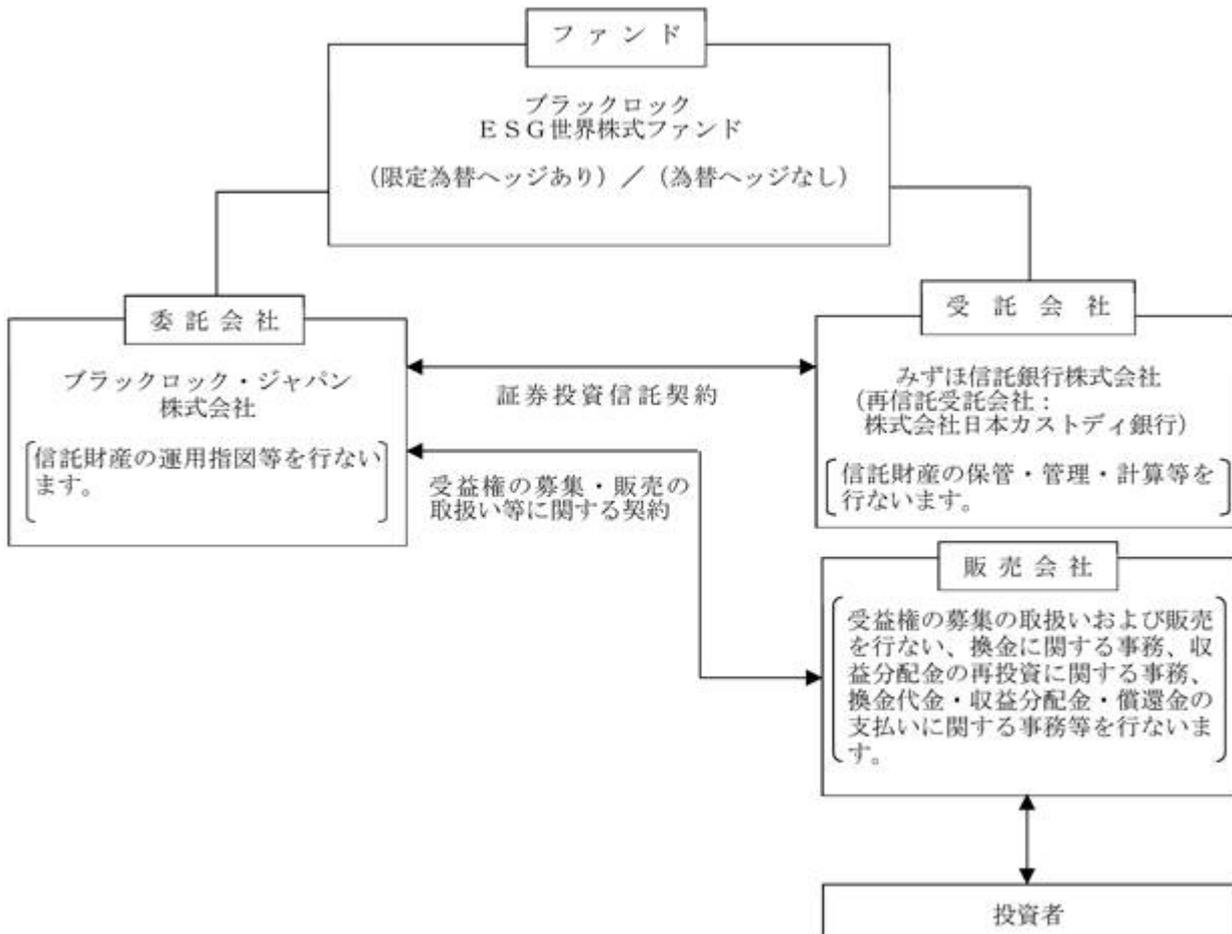
株式や債券を含む、世界の機関投資家のESG関連投資額は約3,400兆円を超える規模になりました。



## (2) 【ファンドの沿革】

2015年9月30日 信託契約締結、ファンドの設定日、運用開始  
 2020年6月20日 ファンド名称を、「ブラックロック・インパクト株式ファンド（ノーロード／限定為替ヘッジあり）」は「ブラックロック ESG世界株式ファンド（限定為替ヘッジあり）」へ、「ブラックロック・インパクト株式ファンド（ノーロード／為替ヘッジなし）」は「ブラックロック ESG世界株式ファンド（為替ヘッジなし）」へそれぞれ変更

## (3) 【ファンドの仕組み】



## &lt; 契約等の概要 &gt;

## a . 「証券投資信託契約」

ファンドの設定・運営に関する事項、信託財産の運用・管理に関する事項、委託会社および受託会社の業務に関する事項、投資者に関する事項等について規定しています。

## b . 「受益権の募集・販売の取扱い等に関する契約」

委託会社が販売会社に委託する受益権の募集販売の取扱い、換金事務、投資者に対する収益分配金および換金代金の支払い、その他これらの業務に付随する業務等について規定しています。

## &lt;ファンド・オブ・ファンズの仕組み&gt;

当ファンドは、投資信託証券に投資するファンド・オブ・ファンズです。



## &lt;委託会社の概況&gt;

2020年9月末現在の委託会社の概況は、以下のとおりです。

a. 資本金 3,120百万円

## b. 沿革

1985年1月	メリルリンチ投資顧問株式会社 (後のメリルリンチ・インベストメント・マネジャーズ株式会社)設立 1987年3月 証券投資顧問業者として登録 1987年6月 投資一任業務認可を取得 1997年12月 投資信託委託業務免許を取得
1988年3月	パークレイズ・デザート・ウェッド投資顧問株式会社 (後のパークレイズ・グローバル・インベスターズ株式会社)設立 1988年6月 証券投資顧問業者として登録 1989年1月 投資一任業務認可を取得 1998年3月 投資信託委託業務免許を取得
1999年4月	野村ブラックロック・アセット・マネジメント株式会社 (後のブラックロック・ジャパン株式会社)設立 1999年6月 証券投資顧問業者として登録 1999年8月 投資一任業務認可を取得
2006年10月	メリルリンチ・インベストメント・マネジャーズ株式会社を存続会社として、 ブラックロック・ジャパン株式会社と合併 新会社商号：「ブラックロック・ジャパン株式会社」
2009年12月	パークレイズ・グローバル・インベスターズ株式会社を存続会社として、 ブラックロック・ジャパン株式会社と合併 新会社商号：「ブラックロック・ジャパン株式会社」

## c. 大株主の状況

株主名	住所	所有株式数	所有比率
ブラックロック・ジャパン・ホールディングス合同会社	東京都千代田区丸の内一丁目8番3号	15,000株	100%

## 2【投資方針】

### (1)【投資方針】

主として、各企業のESGに着目しながら、先進国の企業または先進国に主要な業務基盤がある企業の株式ならびに株式関連商品（デリバティブ含む）等に投資する投資信託証券（以下「主要投資対象ファンド」といいます。）に投資を行いません。副次的な投資対象として、短期債券等に投資する投資信託証券にも投資を行いません。

投資対象とする投資信託証券は、ブラックロック・グループの運用会社が運用する別に定める投資信託証券とします。別に定める投資信託証券は、委託会社の判断により、変更することがあります。

各投資信託証券への投資割合は、原則として市況動向および各投資信託証券の収益性等を勘案して委託会社が決定します。通常、主要投資対象ファンドへの投資割合を高位に保ちます。

「限定為替ヘッジあり」については、主要投資対象ファンドにおいて、原則として米ドル・日本円について為替ヘッジが行なわれ、米ドル・日本円間での為替リスクの低減が図られます。「為替ヘッジなし」については、実質的な外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。

資金動向、市況動向、残存信託期間等によっては、上記のような運用ができない場合もあります。

委託会社は、自己または第三者の利益を図るために投資者の利益を害することとなる潜在的なおそれのある取引を行ないまたは行なうことがある場合、投資者の利益を害しないことを確保するため、売買執行管理規程等の社内規程により管理します。

### (2)【投資対象】

#### 投資対象とする資産の種類

この信託において投資の対象とする資産の種類は、次に掲げる特定資産（「特定資産」とは、投資信託及び投資法人に関する法律（以下「投信法」といいます。）第2条第1項で定めるものをいいます。以下同じ。）とします。

- a．有価証券
- b．金銭債権（a．およびc．に掲げるものに該当するものを除きます。）
- c．約束手形

#### 投資対象とする有価証券

委託会社は、信託金を、主として別に定める投資信託または外国投資信託の受益証券（金融商品取引法第2条第1項第10号で定めるものをいいます。）および投資証券または外国投資証券（金融商品取引法第2条第1項第11号で定めるものをいいます。）のほか、次の有価証券（金融商品取引法第2条第2項の規定により有価証券とみなされる同項各号に掲げる権利を除きます。）に投資することを指図します。

- a．国債証券
- b．地方債証券
- c．特別の法律により法人の発行する債券および社債券（新株引受権証券と社債券とが一体となった新株引受権付社債券の新株引受権証券および短期社債券を除きます。）
- d．短期社債等（社債、株式等の振替に関する法律第66条第1号に規定する短期社債、保険業法第61条の10第1項に規定する短期社債、資産の流動化に関する法律第2条第8項に関する特定短期社債、信用金庫法第54条の4第1項に規定する短期債および農林中央金庫法第62条の2第1項に規定する短期農林債をいいます。）
- e．コマーシャル・ペーパー
- f．外国または外国の者の発行する証券または証書で、前各号の証券または証書の性質を有するもの
- g．外国法人が発行する譲渡性預金証書

なお、a. から c. の証券を以下「公社債」といい、公社債にかかる運用の指図は買い現先取引（売戻し条件付の買い入れ）および債券貸借取引（現金担保付き債券借入れ）に限り行なうことができるものとします。

#### 投資対象とする金融商品

このファンドの設定、換金、償還、投資環境の変動等への対応等、委託会社が運用上必要と認めるときには、有価証券のほか、次に掲げる金融商品（金融商品取引法第2条第2項の規定により有価証券とみなされる同項各号に掲げる権利を含みます。）により運用を指図することができます。

- a. 預金
- b. 指定金銭信託（金融商品取引法第2条第1項第14号に規定する受益証券発行信託を除きます。）
- c. コール・ローン
- d. 手形割引市場において売買される手形

#### 投資対象ファンドの概要

##### a. B S F ブラックロック・システマチック E S G ワールド・エクイティ・ファンド

形態	（限定為替ヘッジあり） ルクセンブルグ籍（オープン・エンド型）会社型外国投資証券（円建て円ヘッジ）  （為替ヘッジなし） ルクセンブルグ籍（オープン・エンド型）会社型外国投資証券（円建て）
投資目的および投資態度	各企業の E S G に着目しながら株式へ投資します。 当ファンドは、純資産総額の80%以上を、先進国の企業または先進国に主要な業務基盤がある企業が発行する株式ならびに株式関連商品（デリバティブ含む）に投資します。 投資目的ならびに投資方針を達成するため、ファンドは、ブラックロックが独自に開発した E S G 分析や定量モデル分析を含む様々な投資戦略を活用します。 なお、ポートフォリオ構築にあたっては、E S G に加え投資リスクや取引コスト等も考慮します。
設定日	2015年8月20日
存続期間	無期限
主な投資対象	世界の株式ならびに株式関連商品（デリバティブ含む）を投資対象とします。
主な投資制限	・同一発行体の譲渡性のある証券への投資は、原則としてファンドの純資産総額の10%以下とします。 ・純資産総額の5%を超えて投資しているすべての発行体について、ファンドが保有する譲渡性のある証券の総額は原則として純資産総額の40%を超えないものとします。
管理報酬	年0.40%
その他費用	管理業務会社、保管会社および名義書換事務代行会社への報酬等および事務諸費に要する費用についてはファンドから差し引かれます。
決算日	年1回（原則として5月末日）に決算を行いません。
収益分配方針	原則として、分配を行いません。
申込手数料	ありません。
管理会社	ブラックロック（ルクセンブルグ）エス・エー
投資顧問会社	ブラックロック・インベストメント・マネジメント・エル・エル・シー
保管会社	ステート・ストリート・バンク・インターナショナル G m b H、ルクセンブルグ支店

## b. ICS ブラックロック・ICS・USTレジャーリー・ファンド

形態	アイルランド籍(オープン・エンド型)会社型外国投資証券(米ドル建て)
投資目的および投資態度	ファンドは、流動性と元本の安定性を確保しつつ、安定的なインカム水準を追求します。ファンドは、米国短中期国債、米国政府によって発行されるその他債務権および現先取引に投資をします。現先取引の活用により流動性を確保します。
設定日	2008年9月29日
存続期間	無期限
主な投資対象	主としてファンドは、米国短中期国債、米国政府によって発行されるその他債務権および現先取引を主要投資対象とします。
主な投資制限	<ul style="list-style-type: none"> <li>・同一発行体の譲渡性のある証券もしくは短期金融商品への投資は原則としてファンドの純資産総額の10%以下とします。</li> <li>・純資産総額の10%を超えて資金の借り入れは行ないません。</li> </ul>
管理報酬 その他費用	管理報酬、保管報酬および事務の処理に要する諸費用がファンドから差し引かれます。
決算日	年1回(原則として9月30日)に決算を行ないます。
収益分配方針	原則として、分配を行ないません。
申込手数料	ありません。
管理会社	ブラックロック・アセット・マネジメント・アイルランド・リミテッド
投資顧問会社	ブラックロック・キャピタル・マネジメント・インク
保管会社	JPMorgan Bank (アイルランド) ピー・エル・シー

## (3) 【運用体制】

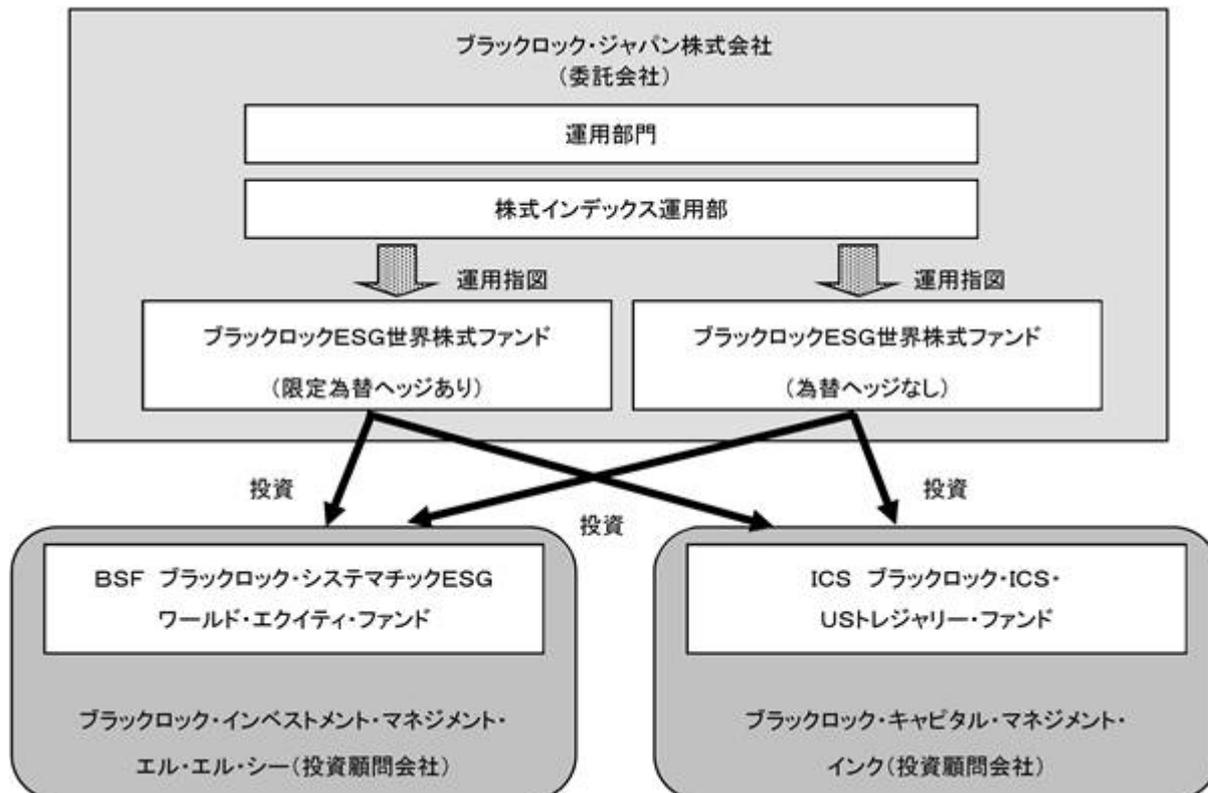
ファンドの運用・管理の各業務の役割分担を社内規程により定めております。

ファンドの運用については委託会社の運用部門が統括しています。

社内には内部監査を担当する部門、ファンドの運用状況やリスク状況等をモニターし関連部署にフィードバックする部門、あるいは投資委員会等開催により、各ファンドの投資方針等にしがって運用が行なわれているか確認する組織、機能が確立しています。

当ファンドの運用は、株式インデックス運用部（当ファンド担当：8名程度）が担当いたします。

## 運用体制図



運用体制等は、変更となる場合があります。

## ブラックロック・グループ

ブラックロック・グループは、運用資産残高約7.81兆ドル<sup>\*</sup>（約824兆円）を持つ世界最大級の独立系資産運用グループであり、当社はその日本人です。

当グループは、世界各国の機関投資家および個人投資家のため、株式、債券、キャッシュ・マネジメントおよびオルタナティブ商品といった様々な資産クラスの運用を行なっております。また、機関投資家向けに、リスク管理、投資システム・アウトソーシングおよびファイナンシャル・アドバイザー・サービスの提供を行なっております。

\* 2020年9月末現在。（円換算レートは1ドル=105.53円を使用）

#### (4)【分配方針】

##### 収益分配方針

年1回の毎決算時（原則として9月20日。休業日の場合は翌営業日。）に、原則として以下の方針に基づき、分配を行ないます。

##### a．分配対象額の範囲

分配対象額の範囲は、経費控除後の繰越分を含めた利子・配当等収益および売買損益（繰越欠損補填後、評価損益を含みます。）等の全額とします。

##### b．分配対象収益についての分配方針

分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。基準価額水準、市況動向等によっては分配を行わないことがあります。将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

##### c．留保益の運用方針

留保益の運用については特に制限を設けず、委託会社の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行ないます。

##### 収益の分配

##### a．信託財産から生じる毎計算期末における利益は、次の方法により処理するものとします。

(a) 利子、配当金およびこれ等に類する収益から支払利息を控除した額（「配当等収益」といいます。）は、諸経費、諸費用（消費税に相当する金額および地方消費税に相当する金額（以下「消費税相当額」といいます。）を含みます。以下同じ。）、信託報酬（消費税等相当額を含みます。以下同じ。）を控除した後、その残額を投資者に分配することができます。なお、次期以降の分配に充てるため、その一部を分配準備積立金として積み立てることができます。

(b) 売買損益に評価損益を加減した利益金額（「売買益」といいます。）は、諸経費、諸費用および信託報酬を控除し、繰越欠損金のあるときは、その全額を売買益をもって補てんした後、投資者に分配することができます。なお、次期以降の分配に充てるため、分配準備積立金として積み立てることができます。

##### b．毎計算期末において、信託財産につき生じた損失は、次期に繰り越すものとします。

##### 収益分配金の支払い

##### a．支払時期と支払場所

##### (a) 一般コースの場合

毎計算期間終了日後1ヵ月以内の委託会社の指定する日（原則として5営業日以内）に、毎計算期間の末日において振替機関等の振替口座簿に記載または記録されている投資者にお支払いを開始します。収益分配金は販売会社の営業所等において支払います。

##### (b) 累積投資コースの場合

累積投資契約に基づき、受託会社が委託会社の指定する預金口座等に払い込むことにより、原則として毎計算期間終了日の翌営業日に収益分配金が販売会社に支払われます。この場合、販売会社は投資者に対し遅滞なく収益分配金の再投資にかかる受益権の売り付けを行ないます。当該売り付けにより増加した受益権は、振替口座簿に記載または記録されます。

##### b．時効

投資者が、a．(a)に規定する支払開始日から5年間支払い請求を行わない場合はその権利を失い、委託会社が受託会社から交付を受けた金銭は委託会社に帰属します。

## (5) 【投資制限】

以下は、当ファンドの約款で定める投資制限です。

投資信託証券および短期金融商品（短期運用の有価証券を含みます。）以外への直接投資は行ないません。

投資信託証券への投資制限

投資信託証券への投資割合には制限を設けません。

外貨建資産への投資制限

外貨建資産への投資割合には制限を設けません。

特別の場合の外貨建有価証券への投資制限

外貨建有価証券への投資については、わが国の国際収支上の理由等により、特に必要と認められる場合には、制約されることがあります。

公社債の借入れ

- a. 委託会社は、信託財産の効率的な運用に資するため、公社債の借入れの指図をすることができます。なお、当該公社債の借入れを行なうにあたり担保の提供が必要と認められた時は、担保の提供の指図を行なうものとします。
- b. a. の指図は、当該借入れにかかる公社債の時価総額が信託財産の純資産総額の範囲内とします。
- c. 信託財産の換金等の事由により、b. の借入れにかかる公社債の時価総額が信託財産の純資産総額を超えることとなった場合には、委託会社は速やかに、その超える額に相当する借入れた公社債の一部を返還するための指図をするものとします。
- d. a. の借入れにかかる品借料は信託財産中から支弁します。

外国為替予約の指図および範囲

委託会社は、信託財産に属する外貨建資産について当該外貨建資産の為替ヘッジのため、外国為替の売買の予約取引の指図をすることができます。

資金の借入れ

- a. 委託会社は、信託財産の効率的な運用ならびに運用の安定性に資するため、換金に伴う支払資金の手当て（換金に伴う支払資金の手当てのために借入れた資金の返済を含みます。）を目的として、または再投資にかかる収益分配金の支払資金の手当てを目的として、資金借入れ（コール市場を通じる場合を含みます。）の指図をすることができます。なお、当該借入金をもって有価証券等の運用は行なわないものとします。
- b. 換金に伴う支払資金の手当てにかかる借入期間は、投資者への換金代金支払開始日から信託財産で保有する有価証券等の売却代金の受渡日までの間または投資者への換金代金支払開始日から信託財産で保有する有価証券等の解約代金入金日までの間もしくは投資者への換金代金支払開始日から信託財産で保有する有価証券等の償還金の入金日までの期間が5営業日以内である場合の当該期間とし、資金借入額は当該有価証券等の売却または換金代金および有価証券等の償還金の合計額を限度とします。  
ただし、資金の借入額は、借入れ指図を行なう日における信託財産の純資産総額の10%を超えないこととします。
- c. 収益分配金の再投資にかかる借入期間は信託財産から収益分配金が支弁される日からその翌営業日までとし、資金借入額は収益分配金の再投資額を限度とします。
- d. 借入金の利息は信託財産中より支弁します。

信用リスク集中回避のための投資制限

一般社団法人投資信託協会規則に定める一の者に係る株式等エクスポージャー、債券等エクスポージャーおよびデリバティブ等エクスポージャーの信託財産の純資産総額に対する比率は、原則としてそれぞれ10%、合計で20%を超えないものとし、当該比率を超えることとなった場合には、同規則にしたがい当該比率以内となるよう調整を行ないます。

### 3【投資リスク】

#### (1) 投資リスク

ファンドの基準価額は、組入れられている有価証券の値動きの他、為替変動による影響を受けます。これらの信託財産の運用により生じた損益はすべて投資者の皆様へ帰属します。したがって、当ファンドは元金および元金からの収益の確保が保証されているものではなく、基準価額の下落により投資者は損失を被り、元金を割り込むことがあります。また、投資信託は預貯金と異なります。

当ファンドにかかる主なリスクは以下の通りです。

##### 基準価額の変動要因

##### a．株価変動リスク

当ファンドの主要投資対象ファンドは、世界の株式に投資します。したがって、世界の経済および株式市場動向または株式の発行会社の経営・財務状況等に応じて組入株式の株価および配当金変動し、当ファンドの運用成果に影響を与えます。

##### b．為替変動リスク

当ファンドは実質的に外貨建資産に投資を行いません。

（限定為替ヘッジあり）

「限定為替ヘッジあり」は、原則として主要投資対象ファンドにおいて米ドルに対する為替ヘッジを行なうことによって、為替変動リスクの低減を図りますが、米ドルの対円での為替変動を完全にヘッジすることはできません。また、主要投資対象ファンドは米ドル以外の通貨建てで投資を行なう場合があり、その場合、当該通貨については原則として為替ヘッジを行いません。したがって、米ドルに対する当該通貨の為替レートの変動が、間接的に当ファンドの運用成果に影響を与えます。また、米ドル金利が円金利より高い場合、ヘッジ・コストがかかります。

（為替ヘッジなし）

「為替ヘッジなし」は、原則として実質的な外貨建資産については、為替ヘッジを行いません。したがって、為替レートの変動が当ファンドの運用成果に影響を与えます。

##### c．中小型株式投資のリスク

当ファンドの主要投資対象ファンドは、株式市場平均に比べ株式時価総額の小さな企業の株式にも投資することができます。これらの企業の株式への投資は、株式市場の全体の平均に比べて結果としてより大きな値上がりもしくは値下がりとなる可能性があります。これは比較的規模の小さい企業は大規模の企業に比べ収益の変動が大きくなる傾向があることに加え、株式市場における需給関係の変動の影響を受けやすいためです。

##### d．カントリー・リスク

当ファンドの主要投資対象ファンドは、世界各国の株式に投資します。投資先の国の政治・経済事情、通貨・資本規制等の要因により、有価証券の価格が変動することがあり、それに伴い当ファンドの運用成果に影響を与えます。

##### e．債券投資のリスク

当ファンドの投資対象ファンドは、債券へも投資を行いません。債券の価格は、政治、経済、社会情勢等の影響により金利が上昇すれば下落し、金利が低下すれば上昇します。したがって、金利の変動が当ファンドの運用成果に影響を与えます。また、投資した債券の発行体の財務状況により、債務不履行が生じることがあります。債務不履行が生じた場合には、債券価格が下落する等、当ファンドの運用成果に影響を与えます。

## f．デリバティブ取引のリスク

当ファンドの主要投資対象ファンドは、先物・オプション取引などのデリバティブ取引を用いることができます。このような投資手法は現物資産への投資に代わって運用の効率を高めるため、または証券価格、市場金利、為替等の変動による影響から当ファンドの投資対象ファンドを守るために用いられます。デリバティブ取引を用いた結果、コストとリスクが伴い、当ファンドの運用成果に影響を与えます。また、デリバティブ取引は必ず用いられるわけではなく、用いられたとしても本来の目的を達成できる保証はありません。

## ファンド運営上のリスク

## a．購入および換金の受付の中止・取消

金融商品取引所等における取引の停止、外国為替取引の停止、決済機能の停止その他やむを得ない事情があるときは、受益権の購入および換金の受付を中止する場合があります。また、この場合、既に受付けた受益権の購入および換金の受付についても取り消す場合があります。

## b．ファンドの繰上償還

当ファンドは換金により各ファンドの受益権の口数が30億口を下回る事となった場合、または投資者のため有利と認められる場合、その他やむを得ない事情が発生したとき等は、ファンドを償還させる場合があります。

## c．法令・税制・会計等の変更

法令・税制・会計方法等は今後変更される可能性があります。

## d．収益分配金に関する留意点

分配金は、預貯金の利息とは異なりファンドの純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。

分配金は、計算期間中に発生した運用収益（経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益）を超えて支払われる場合があります。計算期間中に運用収益があった場合においても、当該運用収益を超えて分配を行った場合、当期決算日の基準価額は前期決算日の基準価額と比べて下落することになります。したがって、分配金の水準は必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。

投資者の個別元本の状況によっては、分配金の一部または全部が、実質的に元本の一部払戻しに相当する場合があります。個別元本とは、追加型投資信託を保有する投資者毎の取得元本のことで、投資者毎に異なります。

## (2) リスクの管理体制

委託会社ではリスク管理を重視しており、独自開発のシステムを用いてリスク管理を行っております。具体的には、運用担当部門とは異なる部門においてファンドの投資リスクの計測・分析、投資制限のモニタリングなどを行なうことにより、ファンドの投資リスクが運用方針に合致していることを確認し、その結果を運用担当部門にフィードバックするほか、社内関係者で共有しております。また、委託会社の業務に関するリスクについて社内規程を定めて管理を行っております。

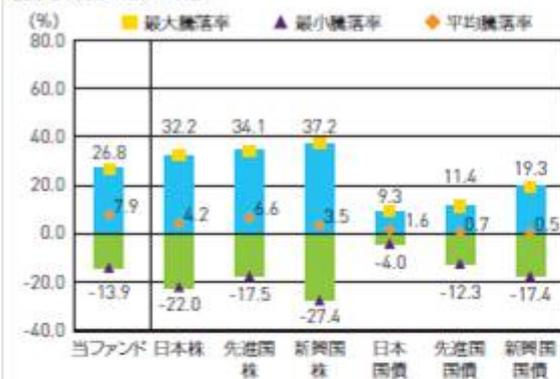
リスクの管理体制は、変更となる場合があります。

(参考情報)

## 当ファンドと他の代表的な資産クラスとの騰落率の比較

(2015年10月-2020年9月)

(限定為替ヘッジあり)



(為替ヘッジなし)



※上記グラフは、過去の5年間の各月末における1年間の騰落率の平均・最大・最小を、当ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示したものです。ただし、当ファンドの設定日は2015年9月30日のため、当ファンドの騰落率については2016年9月以降について表示したものです。

※全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

※各資産クラスの指数

日本株→東証株価指数(配当込み)  
 先進国株→MSCIコクサイ指数(配当込み、円ベース)  
 新興国株→MSCIエマージング・マーケット・インデックス(配当込み、円ベース)  
 日本国債→NOMURA-BPI国債  
 先進国国債→FTSE世界国債インデックス(除く日本、円ベース)  
 新興国国債→J.P.モルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット・グローバル・ディバーシファイド(円ベース)  
 (注)海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円ベースとしております。

<各指数について>

東証株価指数(配当込み)は、東京証券取引所第一部に上場されている全銘柄を対象に時価総額を指数として算出したものです。東証株価指数(配当込み)は、株式会社東京証券取引所((株)東京証券取引所)の知的財産であり、この指数の算出、数値の公表、利用など株価指数に関するすべての権利は、(株)東京証券取引所が有しています。(株)東京証券取引所は、東証株価指数(配当込み)の算出もしくは公表の方法の変更、東証株価指数(配当込み)の算出もしくは公表の停止または東証株価指数(配当込み)の商標の変更もしくは使用の停止を行なう権利を有しています。

MSCIコクサイ指数(配当込み、円ベース)およびMSCIエマージング・マーケット・インデックス(配当込み、円ベース)は、MSCI Inc.が開発、計算した株価指数です。MSCIコクサイ指数(配当込み、円ベース)は日本を除く世界の主要先進国の株式を、また、MSCIエマージング・マーケット・インデックス(配当込み、円ベース)は新興国の株式を対象として算出した指数です。同指数に関する著作権、知的財産その他の一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。また、MSCI Inc.は同指数の内容を変更する権利及び公表を停止する権利を有しています。

NOMURA-BPI国債は、野村證券株式会社が公表している指数で、日本国債の市場全体の動向を表す投資収益指数です。同指数に関する知的財産権は野村證券株式会社に帰属します。なお、野村證券株式会社は、NOMURA-BPI国債の正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、NOMURA-BPI国債を用いて行なわれるブラックロック・ジャパン株式会社の事業活動・サービスに関し一切責任を負いません。FTSE世界国債インデックス(除く日本、円ベース)は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。

J.P.モルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット・グローバル・ディバーシファイド(円ベース)は、J.P.モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが発表しており、新興国の現地通貨建ての国債を対象として算出した指数です。同指数に関する著作権はJ.P.モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属しています。

## 当ファンドの年間騰落率および分配金再投資基準価額の推移

(2015年10月-2020年9月)



※上記グラフは、過去の5年間の各月末における分配金再投資基準価額の1年間の騰落率および分配金再投資基準価額の推移を表示したものです。なお、当ファンドは設定日が2015年9月30日のため、分配金再投資基準価額については2015年9月末から表示しており、年間騰落率については2016年9月以降について表示したものです。

※分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算しており、実際の基準価額と異なる場合があります。

## 4【手数料等及び税金】

## (1)【申込手数料】

購入時の申込手数料（以下「購入時手数料」といいます。）はありません。

## (2)【換金（解約）手数料】

換金手数料  
ありません。

信託財産留保額  
ありません。

## (3)【信託報酬等】

信託報酬の総額

ファンドの実質的な信託報酬（ $a + b$ ）は、信託財産の純資産総額に対して年0.7608%（税抜0.728%）程度となります。

## a．ファンドの信託報酬

計算期間を通じて毎日、信託財産の純資産総額に年0.3608%（税抜0.328%）の率を乗じて得た金額とします。信託報酬に係る委託会社、販売会社、受託会社間の配分および当該報酬を対価とする役務の内容は次の通りとします。

	信託報酬の配分	役務の内容
委託会社	年0.0110% （税抜0.010%）	ファンドの運用、基準価額の計算、運用報告書等各種書類の作成等
販売会社	年0.3300% （税抜0.300%）	運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等
受託会社	年0.0198% （税抜0.018%）	運用財産の管理、委託会社からの指図の実行等

## b．主要投資対象ファンドにかかる運用管理費用

年0.40%が投資対象ファンドから支払われます。

## 信託報酬の支払時期と支払方法等

信託報酬は、日々計上され、毎計算期間の最初の6ヵ月終了日（当該終了日が休業日の場合はその翌営業日）、および毎計算期末または信託終了のとき信託財産中から支弁するものとします。

委託会社および販売会社に対する信託報酬は、ファンドから委託会社に対して支弁されます。信託報酬の販売会社への配分は、ファンドから委託会社に支弁された後、委託会社より販売会社に対して支払われます。受託会社の報酬は、ファンドから受託会社に対して支弁されます。

## (4)【その他の手数料等】

信託財産において換金代金等の支払資金に不足が生じるときに資金借入れの指図を行なった場合はその都度、当該借入金の利息は信託財産中より支弁します。

信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用および受託会社の立替えた立替金の利息（以下「諸経費」といいます。）は、投資者の負担とし、その都度、信託財産中から支弁します。

下記の諸費用（以下「諸費用」といいます。）および諸費用に係る消費税等相当額は、投資者の負担とし、信託財産中から支弁することができます。

- 1．受益権の管理事務に関連する費用
- 2．有価証券届出書、有価証券報告書等法定提出書類の作成、印刷および提出に係る費用
- 3．目論見書の作成、印刷および交付に係る費用
- 4．信託約款の作成、印刷および届出に係る費用
- 5．運用報告書の作成、印刷、交付および提出に係る費用
- 6．公告に係る費用
- 7．他の信託との併合および信託約款の変更またはファンドの償還に係る事項を記載した書面の作成、印刷および交付に係る費用
- 8．この信託の監査人、法律顧問および税務顧問に対する報酬および費用

委託会社は、年0.11%（税抜0.10%）を上限とする、上記の諸費用の金額をあらかじめ合理的に見積もった上で算出する率を毎日純資産総額に対して乗じて得た額、または上記の諸費用の金額をあらかじめ合理的に見積もったうえで算出する額を、上記の諸費用の支払の合計額とみなして、ファンドから受領することができます。諸費用および諸費用に係る消費税等相当額は、日々計上され、毎計算期間の最初の6ヵ月終了日（当該終了日が休業日の場合はその翌営業日）および毎計算期末、または信託終了のとき信託財産中から支払われるものとします。

外貨建資産の保管等に要する費用<sup>\*</sup>は、その都度、信託財産中より支弁します。

<sup>\*</sup> 海外における保管銀行等に支払う有価証券の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用

主要投資対象ファンドに係る保管報酬および事務処理に要する諸費用等ならびに副次的投資対象ファンドの報酬等が別途投資対象ファンドから支払われます。

#### (5) 【課税上の取扱い】

課税上は株式投資信託として取扱われます。

日本の居住者（法人を含む。）である投資者に対する課税については、以下のような取扱いとなります。

個別元本方式について

- a．追加型株式投資信託について、投資者毎の信託時の受益権の価額等（購入時手数料は含まれません。）が当該投資者の元本（「個別元本」といいます。）にあたります。
- b．投資者が同一ファンドの受益権を複数回購入した場合、個別元本は、当該投資者が追加信託を行なうつど当該投資者の受益権口数で加重平均することにより算出されます。
- c．同一ファンドを複数の販売会社で購入する場合には各販売会社毎に、個別元本の算出が行なわれません。また、同一販売会社であっても複数支店等で同一ファンドを購入する場合は当該支店等毎に個別元本の算出が行なわれる場合があります。
- d．投資者が元本払戻金（特別分配金）を受け取った場合、収益分配金発生時にその個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の当該投資者の個別元本となります。（「元本払戻金（特別分配金）」については、下記「収益分配金の課税について」を参照。）

換金時および償還時の課税について

- a．個人の投資者の場合  
換金時および償還時の差益（譲渡益）が課税対象となります。
- b．法人の投資者の場合  
換金時および償還時の個別元本超過額が課税対象となります。

## 収益分配金の課税について

追加型株式投資信託の収益分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」（投資者毎の元本の一部払戻しに相当する部分）の区分があります。

投資者が収益分配金を受け取る際、当該収益分配金落ち後の基準価額が当該投資者の個別元本と同額の場合または当該投資者の個別元本を上回っている場合には、当該収益分配金の全額が普通分配金となり、当該収益分配金落ち後の基準価額が当該投資者の個別元本を下回っている場合には、その下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）となり、当該収益分配金から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が普通分配金となります。

なお、投資者が元本払戻金（特別分配金）を受け取った場合、収益分配金発生時にその個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の当該投資者の個別元本となります。

## 個人、法人の課税の取扱いについて

### a．個人の投資者に対する課税

#### (a) 収益分配金の課税について

支払いを受ける収益分配金のうち、課税扱いとなる普通分配金については、配当所得として、20.315%（所得税15.315%、地方税5%）の税率による源泉徴収が行なわれます。原則として、申告は不要です。

また、確定申告を行なうことにより総合課税（配当控除なし）と申告分離課税（20.315%（所得税15.315%、地方税5%））のいずれかを選択することができます。

#### (b) 換金時および償還時の差益の課税について

換金時および償還時の差益（換金価額および償還価額から購入費用（購入時手数料および当該購入時手数料にかかる消費税等相当額を含みます。）を控除した利益）は、譲渡益として課税対象（譲渡所得等）となり、20.315%（所得税15.315%、地方税5%）の税率による申告分離課税が適用されます。原則として確定申告が必要ですが、特定口座（源泉徴収口座）の利用が可能な場合があります。

換金時および償還時に損失（譲渡損）が生じた場合には、確定申告することで、他の株式等の譲渡益、上場株式等の配当所得および特定公社債等の利子所得の金額（申告分離課税を選択したものに限り、）との損益通算ならびに3年間の繰越控除の対象とすることができます。

また、換金時および償還時の差益（譲渡益）については、他の株式等の譲渡損と損益を相殺することができます。

少額投資非課税制度「愛称：NISA（ニーサ）」がご利用になれます。NISAをご利用の場合、毎年、一定額の範囲で新たに購入した公募株式投資信託等から生じる配当所得および譲渡所得が一定期間非課税となります。ご利用になれるのは、販売会社で非課税口座を開設するなど、一定の条件に該当する方が対象となります。なお、NISAの口座では、特定口座や一般口座で生じた配当所得および譲渡所得との損益通算はできません。非課税の対象となる金額、期間等を含めて詳しくは販売会社にお問い合わせください。

### b．法人の投資者に対する課税

法人の投資者が支払いを受ける収益分配金のうち課税扱いとなる普通分配金ならびに換金時および償還時の個別元本超過額については、15.315%（所得税15.315%、地方税の源泉徴収はありません。）の税率による源泉徴収が行なわれます。なお、当ファンドについては、法人税の課税対象となりますが、益金不算入制度の適用はありません。

外貨建資産への投資により外国税額控除の適用となった場合には、分配時の税金が上記と異なる場合があります。

上記は2020年9月末現在のものですので、税法が改正された場合等には、税率等が変更される場合があります。税金の取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

## 5【運用状況】

以下の運用状況は2020年9月末現在のものです。

「ブラックロックESG世界株式ファンド(限定為替ヘッジあり)」

## (1)【投資状況】

資産の種類	金額(円)	投資比率(%)
投資証券	375,505,913	97.86
内 ルクセンブルグ	372,002,177	96.94
内 アイルランド	3,503,736	0.91
コール・ローン、その他の資産(負債控除後)	8,224,263	2.14
純資産総額	383,730,176	100.00

## (2)【投資資産】

## 【投資有価証券の主要銘柄】

順位	銘柄	国/ 地域	種類	投資 口数	簿価単価 (円)	簿価金額 (円)	評価単価 (円)	評価金額 (円)	投資 比率 (%)
1	ブラックロック・ストラテジック・ファンズ ブラックロック・システムチックESG ワールド・エクイティ・ファンド クラス I 投資証券(円建て円ヘッジ)	ルクセン ブルグ	投資 証券	24,271	15,079.93	366,015,161	15,326.59	372,002,177	96.94
2	インスティテューショナル・キャッシュ・ シリーズplc ブラックロック・ICS・U Sストレジャーリー・ファンド エージェン シークラス投資証券(米ドル建て)	アイルランド	投資 証券	312	11,220.20	3,503,620	11,220.57	3,503,736	0.91

(注) 投資比率は、純資産総額に対する評価金額の比率です。

## 種類別投資比率

種類	投資比率(%)
投資証券	97.86

(注) 投資比率は、純資産総額に対する評価金額の比率です。

## 【投資不動産物件】

該当事項はありません。

## 【その他投資資産の主要なもの】

該当事項はありません。

## (3) 【運用実績】

## 【純資産の推移】

2020年9月末現在、同日前1年以内における各月末および各計算期間末の純資産の推移は次の通りです。

	純資産総額(円)		1口当たりの純資産額(円)	
	(分配落)	(分配付)	(分配落)	(分配付)
第1期(2016年9月20日)	21,993,555	(同左)	1.0764	(同左)
第2期(2017年9月20日)	41,305,522	(同左)	1.2706	(同左)
第3期(2018年9月20日)	78,337,241	(同左)	1.3914	(同左)
第4期(2019年9月20日)	78,695,164	(同左)	1.3775	(同左)
第5期(2020年9月23日)	354,067,584	(同左)	1.4801	(同左)
2019年9月末現在	78,059,030		1.3607	
2019年10月末現在	77,313,852		1.3921	
2019年11月末現在	102,965,432		1.4348	
2019年12月末現在	143,269,271		1.4709	
2020年1月末現在	148,231,495		1.4673	
2020年2月末現在	147,088,168		1.3740	
2020年3月末現在	151,926,214		1.1561	
2020年4月末現在	199,070,561		1.2995	
2020年5月末現在	216,988,394		1.3647	
2020年6月末現在	232,219,486		1.3725	
2020年7月末現在	258,168,804		1.4493	
2020年8月末現在	321,856,175		1.5613	
2020年9月末現在	383,730,176		1.5029	

## 【分配の推移】

	1口当たりの分配金(円)
第1期	
第2期	
第3期	
第4期	
第5期	

## 【収益率の推移】

	収益率(%)
第1期	7.6
第2期	18.0
第3期	9.5
第4期	1.0
第5期	7.4

(注) 収益率とは、計算期間末の基準価額（分配付の額）から当該計算期間の直前の計算期間末の基準価額（分配落の額。以下「前期末基準価額」といいます。）を控除した額を、前期末基準価額で除して得た数に100を乗じた数を記載しております。なお、第1期計算期間については、前期末基準価額を10,000円(1万口当たり)として計算しています。

## (4) 【設定及び解約の実績】

	設定数量(口)	解約数量(口)	発行済数量(口)
第1期	30,878,869	10,446,623	20,432,246
第2期	29,726,298	17,650,192	32,508,352
第3期	44,332,467	20,540,874	56,299,945
第4期	16,652,917	15,822,898	57,129,964
第5期	222,630,409	40,543,125	239,217,248

## 「ブラックロックESG世界株式ファンド(為替ヘッジなし)」

## (1) 投資状況

資産の種類	金額(円)	投資比率(%)
投資証券	1,343,627,173	98.10
内 ルクセンブルグ	1,330,220,268	97.12
内 アイルランド	13,406,905	0.98
コール・ローン、その他の資産(負債控除後)	26,035,685	1.90
純資産総額	1,369,662,858	100.00

## (2) 投資資産

## 投資有価証券の主要銘柄

順位	銘柄	国/ 地域	種類	投資 口数	簿価単価 (円)	簿価金額 (円)	評価単価 (円)	評価金額 (円)	投資 比率 (%)
1	ブラックロック・ストラテジック・ファンズ ブラックロック・システマチックESG ワールド・エクイティ・ファンド クラスI 投資証券(円建て)	ルクセン ブルグ	投資 証券	91,413	14,207.74	1,298,777,674	14,551.70	1,330,220,268	97.12
2	インスティテューショナル・キャッシュ・シ リーズplc ブラックロック・ICS・UST レジャーリー・ファンド エージェンシークラ ス投資証券(米ドル建て)	アイルランド	投資 証券	1,194	11,220.20	13,406,462	11,220.57	13,406,905	0.98

(注) 投資比率は、純資産総額に対する評価金額の比率です。

## 種類別投資比率

種類	投資比率(%)
投資証券	98.10

(注) 投資比率は、純資産総額に対する評価金額の比率です。

## 投資不動産物件

該当事項はありません。

## その他投資資産の主要なもの

該当事項はありません。

## (3) 運用実績

## 純資産の推移

2020年9月末現在、同日前1年以内における各月末および各計算期間末の純資産の推移は次の通りです。

	純資産総額(円)		1口当たりの純資産額(円)	
	(分配落)	(分配付)	(分配落)	(分配付)
第1期(2016年9月20日)	82,081,176	(同左)	0.9127	(同左)
第2期(2017年9月20日)	76,299,877	(同左)	1.1964	(同左)
第3期(2018年9月20日)	93,246,847	(同左)	1.3479	(同左)
第4期(2019年9月20日)	101,421,063	(同左)	1.3255	(同左)
第5期(2020年9月23日)	1,316,993,114	(同左)	1.3992	(同左)
2019年9月末現在	97,969,079		1.3113	
2019年10月末現在	106,329,442		1.3536	
2019年11月末現在	125,648,143		1.4048	
2019年12月末現在	164,872,876		1.4446	
2020年1月末現在	910,298,222		1.4354	
2020年2月末現在	890,005,562		1.3591	
2020年3月末現在	747,943,361		1.1219	
2020年4月末現在	870,760,740		1.2472	
2020年5月末現在	975,014,024		1.3259	
2020年6月末現在	1,021,806,421		1.3306	
2020年7月末現在	1,110,377,784		1.3732	
2020年8月末現在	1,325,251,273		1.4859	
2020年9月末現在	1,369,662,858		1.4322	

## 分配の推移

	1口当たりの分配金(円)
第1期	
第2期	
第3期	
第4期	
第5期	

## 収益率の推移

	収益率(%)
第1期	8.7
第2期	31.1
第3期	12.7
第4期	1.7
第5期	5.6

(注) 収益率とは、計算期間末の基準価額(分配付の額)から当該計算期間の直前の計算期間末の基準価額(分配落の額。以下「前期末基準価額」といいます。)を控除した額を、前期末基準価額で除して得た数に100を乗じた数を記載しております。なお、第1期計算期間については、前期末基準価額を10,000円(1万口当たり)として計算しています。

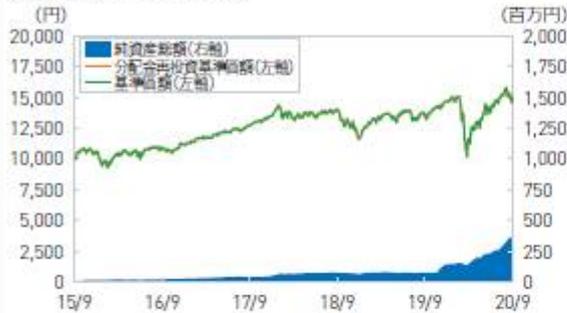
## (4) 設定及び解約の実績

	設定数量(口)	解約数量(口)	発行済数量(口)
第1期	125,058,850	35,129,882	89,928,968
第2期	21,795,561	47,948,173	63,776,356
第3期	24,908,838	19,504,633	69,180,561
第4期	20,526,074	13,193,037	76,513,598
第5期	1,025,740,912	160,976,343	941,278,167

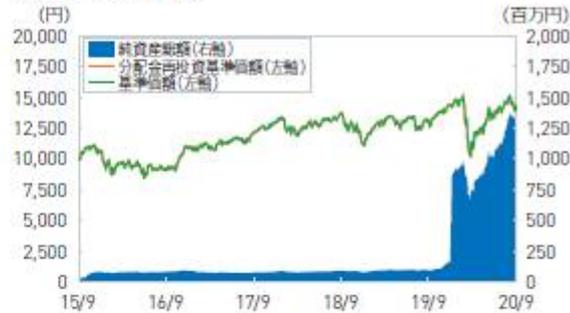
(参考情報)

## 運用実績

2020年9月末現在

基準価額・純資産の推移  
(限定為替ヘッジあり)

## (為替ヘッジなし)



※基準価額および分配金再投資基準価額は信託報酬控除後の値です。信託報酬等については、後述の「ファンドの費用」をご覧ください。  
 ※分配金再投資基準価額は、税引前分配金を再投資したもとして算出しています。

## 分配の推移

	第1期 2016年9月	第2期 2017年9月	第3期 2018年9月	第4期 2019年9月	第5期 2020年9月	設定来累計
限定為替ヘッジあり	0円	0円	0円	0円	0円	0円
為替ヘッジなし	0円	0円	0円	0円	0円	0円

※ 分配金は税引前、1万口当たり

## 主要な資産の状況

※組入上位10銘柄ならびに業種別構成比率の状況は、当ファンドの主要投資対象ある「BSF ブラックロック・システムチックESGワールドエキティ・ファンド」の運用状況です。比率は「BSF ブラックロック・システムチックESGワールドエキティ・ファンド」の純資産総額に対する比率です。

## 資産構成比率(%)

	限定為替ヘッジあり	為替ヘッジなし
主要投資対象ファンド	96.9	97.1
ICS ブラックロック・ICS-USTレジャリー・ファンド	0.9	1.0
現金その他	2.1	1.9

※比率は対純資産総額、四捨五入の関係で合計が100%にならない場合があります。

## 組入上位10銘柄(%)

銘柄名	比率	銘柄名	比率
1 APPLE INC	4.4	6 VISA INC	1.4
2 MICROSOFT CORPORATION	3.4	7 MASTERCARD INC	1.3
3 AMAZON.COM INC	2.8	8 HOME DEPOT INC	1.2
4 ALPHABET INC	1.9	9 NVIDIA CORPORATION	1.1
5 FACEBOOK INC	1.4	10 UNITEDHEALTH GROUP INC	1.0

## 業種別構成比率(%)

業種	比率
情報技術	21.8
ヘルスケア	14.4
一般消費財・サービス	13.2
金融	10.5
資本財・サービス	9.7
生活必需品	7.3
コミュニケーションサービス	7.3
素材	5.2
公益事業	4.1
エネルギー	2.6
不動産	2.6
現金等	1.3

※四捨五入の関係で合計が100%にならない場合があります。

## 年間収益率の推移

※ 2015年は設定日(9月30日)から年末までのファンドの収益率を表示しています。  
 ※ ファンドの年間収益率は、決算時の分配金を非課税で再投資したもとして算出しています。  
 ※ 当ファンドにベンチマークはありません。

## (限定為替ヘッジあり)



## (為替ヘッジなし)



※ 運用実績・データ等は作成日現在および過去のものであり、今後の運用成果を保証するものではありません。  
 ※ ファンドの運用状況は別途、委託会社のホームページにて開示しております。

## 第2【管理及び運営】

### 1【申込（販売）手続等】

#### (1) 申込方法

受益権の投資者は、販売会社と有価証券の取引に関する契約を締結します。このため、販売会社は有価証券の取引にかかわる約款を投資者に交付し、投資者は当該約款に基づく取引口座の設定を申込み旨の申込書を提出します。

分配金の受取方法により、収益の分配時に分配金を受け取る「一般コース」と分配金が税引き後無手数料で再投資される「累積投資コース」の2つの申込方法があります。

「累積投資コース」を選択する投資者は、当該販売会社との間で「累積投資約款」にしたがって契約を締結します。

取扱いを行なうコースは各販売会社により異なりますので、詳細は販売会社までお問い合わせください。

投資者は販売会社に、購入と同時にまたは予め当該投資者が受益権の振替を行なうための振替機関等の口座を申し出るものとし、当該口座に当該投資者に係る口数の増加の記載または記録が行なわれます。なお、販売会社は、当該購入の代金の支払いと引き換えに、当該口座に当該投資者に係る口数の増加の記載または記録を行なうことができます。委託会社は、追加信託により分割された受益権について、振替機関等の振替口座簿への新たな記載または記録をするため社振法に定める事項の振替機関への通知を行なうものとし、振替機関等は、委託会社から振替機関への通知があった場合、社振法の規定にしたがい、その備える振替口座簿への新たな記載または記録を行ないます。受託会社は、信託契約締結日に生じた受益権については信託契約締結時に、追加信託により生じた受益権については追加信託のつど、振替機関の定める方法により、振替機関へ当該受益権に係る信託を設定した旨の通知を行ないます。

#### (2) 申込期間

当ファンドの購入は、申込期間における販売会社の各営業日に、販売会社の本・支店、営業所等でお受けしています。なお、申込期間は、有価証券届出書を提出することによって更新されます。

#### (3) 受付時間

購入の受付は、申込期間中の午後3時までに受付けたものを当日のお申込みとします。ただし、受付時間は販売会社によって異なることがあります。詳細は販売会社にお問い合わせください。受付時間を過ぎての購入は翌営業日の取扱いとします。

販売会社につきましては、下記にお問い合わせください。

ブラックロック・ジャパン株式会社

電話番号：03-6703-4300（受付時間 営業日の9：00～17：00）

ホームページアドレス：[www.blackrock.com/jp/](http://www.blackrock.com/jp/)

#### (4) 購入不可日

ルクセンブルクの銀行の休業日、12月24日、その他主要投資対象ファンドの受付不可日のいずれかに該当する場合は、販売会社の営業日であっても購入は受け付けません。詳細は販売会社にお問い合わせください。

#### (5) 購入単位

分配金の受取方法により、収益の分配時に分配金を受け取る「一般コース」と、分配金が税引き後、無手数料で再投資される「累積投資コース」の2つの購入方法があります。

取扱いを行なうコースおよび購入単位は、各販売会社により異なりますので、詳細は販売会社にお問い合わせください。

## (6) 購入価額

購入受付日の翌営業日の基準価額とします。

## (7) 購入時手数料

ありません。

## (8) 購入代金のお支払い

ファンドの受益権の投資者は、購入の販売会社が定める日までに当ファンドの購入代金を販売会社に支払うものとします。

## (9) 購入の受付の中止、既に受付けた購入の受付の取消

金融商品取引所等における取引の停止、外国為替取引の停止、決済機能の停止その他やむを得ない事情があるときは、委託会社の判断により、受益権の購入の受付を中止することおよび既に受付けた購入の受付を取り消すことがあります。

## 2【換金（解約）手続等】

### (1) 換金の申込と受付

投資者は、自己に帰属する受益権について、委託会社に換金を申込することができます。投資者が換金の申込をするときは、販売会社に対し、振替受益権をもって行なうものとします。換金の申込の受付は、午後3時までとなっております。ただし、受付時間は販売会社によって異なることがあります。詳細は販売会社にお問い合わせください。受付時間を過ぎての換金の申込は翌営業日のお取扱いとします。

### (2) 換金単位

換金単位は各販売会社により異なりますので、詳細は販売会社にお問い合わせください。

### (3) 換金不可日

ルクセンブルグの銀行の休業日、12月24日、その他主要投資対象ファンドの受付不可日のいずれかに該当する場合は、販売会社の営業日であっても換金の申込は受け付けません。詳細は販売会社にお問い合わせください。

### (4) 換金価額

換金価額は、換金受付日の翌営業日の基準価額とします。なお手取額は、換金受付日の翌営業日の基準価額から所得税および地方税を差し引いた金額となります。

当ファンドの換金価額等につきましては販売会社または下記に問い合わせることにより知ることができます。

ブラックロック・ジャパン株式会社

電話番号：03-6703-4300（受付時間 営業日の9：00～17：00）

### (5) 換金受付の制限

信託財産の資金管理を円滑に行なうため、大口の換金の申込には制限を設ける場合があります。詳細は販売会社にお問い合わせください。

### (6) 換金代金の支払い

換金代金は原則として換金受付日から起算して6営業日目から販売会社においてお支払いします。

### (7) 換金の申込の受付中止および取消

委託会社は、金融商品取引所等における取引の停止、外国為替取引の停止、決済機能の停止その他やむを得ない事情があるときは、換金の申込の受付を中止することおよび既に受付けた換金の申込の受付を取り消すことができます。換金の申込の受付が中止された場合には、投資者は当該受付中止以前に行なった当日の換金の申込を撤回できます。ただし、投資者がその換金の申込を撤回しない場合には、当該受付中止を解除した後の最初の基準価額の計算日に換金の申込を受付けたものとします。

### 3【資産管理等の概要】

#### (1)【資産の評価】

基準価額は、信託財産に属する資産（受入担保金代用有価証券および借入有価証券を除きます。）を法令および一般社団法人投資信託協会規則にしたがって時価評価して得た信託財産の資産総額から負債総額を控除した金額（「純資産総額」といいます。）を、計算日における受益権総口数で除した金額をいいます。なお、外貨建資産（外国通貨表示の有価証券（「外貨建有価証券」といいます。）、預金その他の資産をいいます。以下同じ。）の円換算については、原則として、わが国における計算日の対顧客電信売買相場の仲値によって計算します。また、予約為替の評価は、原則として、わが国における計算日の対顧客先物売買相場の仲値によるものとします。

基準価額（1万口当り）は委託会社の営業日に毎日算出されます。投資者は、販売会社または下記に問い合わせることにより知ることができます。

また、日々の基準価額（1万口当り）は翌日の日本経済新聞に掲載されております。ファンド名は「ESG世株有」、「ESG世株無」と省略されて記載されております。

当ファンドの主たる投資対象の評価方法は以下の通りです。

投資信託証券：金融商品取引所（海外取引所を含む）に上場されているものは、当該取引所における計算日の最終相場（海外取引所に上場されているものについては、計算日に知りうる直近の最終相場）で評価します。金融商品取引所に上場されていないものは、第一種金融商品取引業者、銀行等の提示する価格（原則として、計算日に知りうる直近の日の純資産価格）で評価します。

ブラックロック・ジャパン株式会社

電話番号：03-6703-4300（受付時間 営業日の9：00～17：00）

ホームページアドレス：www.blackrock.com/jp/

#### (2)【保管】

該当事項はありません。

#### (3)【信託期間】

この信託の期間は、無期限とします。

#### (4)【計算期間】

毎年9月21日から翌年の9月20日までとすることを原則とします。計算期間終了日に該当する日が休業日のときは該当日の翌営業日を計算期間の終了日とし、その翌日より次の計算期間が開始されるものとします。ただし、最終計算期間の終了日は、信託期間の終了日とします。

#### (5)【その他】

ファンドの償還条件等

a．委託会社は、信託期間中において、このファンドを償還することが投資者のため有利であると認めるとき、またはやむを得ない事情が発生したときは、受託会社と合意のうえ、このファンドを償還させることができます。この場合において、委託会社は、あらかじめ、償還しようとする旨を監督官庁に届け出ます。

b．委託会社は換金により、各ファンドの受益権の口数が30億口を下回ることとなった場合には、受託会社と合意のうえ、このファンドを償還させることができます。この場合において、委託会社は、あらかじめ、償還しようとする旨を監督官庁に届け出ます。

c．a．およびb．の場合において、委託会社は、書面による決議（以下「書面決議」といいます。）を行いません。この場合において、あらかじめ、書面決議の日ならびにファンドの償還の理由などの事項を定め、当該決議の日の2週間前までに、この信託契約に係る知れている投資者に対し、書面をもってこれらの事項を記載した書面決議の通知を發します。

- d . c . の書面決議において、投資者（委託会社およびこの信託の信託財産にこの信託の受益権が属するときの当該受益権に係る投資者としての受託会社を除きます。以下 d . において同じ。）は受益権の口数に応じて、議決権を有し、これを行使することができます。なお、知っている投資者が議決権を行使しないときは、当該知っている投資者は書面決議について賛成するものとみなします。
- e . c . の書面決議は議決権を行使することができる投資者の議決権の3分の2以上に当たる多数をもって行ないます。
- f . c . ~ e . までの規定は、委託会社がファンドの償還について提案をした場合において、当該提案につき、この信託契約に係るすべての投資者が書面または電磁的記録により同意の意思表示をしたときには適用しません。また、信託財産の状態に照らし、真にやむを得ない事情が生じている場合であって、c . ~ e . までの手続を行なうことが困難な場合も同じとします。
- g . 委託会社は、監督官庁よりこのファンドの償還の命令を受けたときはその命令にしたがい、ファンドを償還させます。
- h . 委託会社が監督官庁より登録の取消を受けたとき、解散したときまたは業務を廃止したときは、委託会社はこのファンドを償還させます。
- i . h . にかかわらず、監督官庁がこの信託契約に関する委託会社の業務を他の投資信託委託会社に引き継ぐことを命じたときは、この信託は、「信託約款の変更 b . 」に規定する書面決議が否決された場合を除き、当該投資信託委託会社と受託会社との間において存続します。
- j . 受託会社は、委託会社の承諾を受けてその任務を辞任することができます。受託会社はその任務に背いた場合、その他重要な事由が生じたときは、委託会社または投資者は、裁判所に受託会社の解任を請求することができます。受託会社が辞任した場合、または裁判所が受託会社を解任した場合、委託会社は、信託約款の変更の規定にしたがい、新受託会社を選任します。委託会社が新受託会社を選任できないときは、委託会社はこのファンドを償還させます。

#### 信託約款の変更

- a . 委託会社は、投資者の利益のため必要と認めるとき、またはやむを得ない事情が発生したときは、受託会社と合意のうえ、この信託約款を変更することまたはこの信託と他の信託との併合（投資信託及び投資法人に関する法律第16条第2号に規定する「委託者指図型投資信託の併合」をいいます。以下同じ。）を行なうことができるものとし、あらかじめ、変更または併合しようとする旨およびその内容を監督官庁に届け出ます。なお、この信託約款は以下に定める以外の方法によって変更することができないものとします。
- b . 委託会社は、a . の事項（a . の変更事項にあっては、その内容が重大なものに該当する場合に限り、併合にあってはその併合が投資者の利益に及ぼす影響が軽微なものに該当する場合を除き、合わせて「重大な約款の変更等」といいます。）について、書面決議を行ないます。この場合において、あらかじめ、書面決議の日ならびに重大な約款の変更等の内容およびその理由などの事項を定め、当該決議の日の2週間前までに、この信託約款に係る知っている投資者に対し、書面をもってこれらの事項を記載した書面決議の通知を發します。
- c . b . の書面決議において、投資者（委託会社およびこの信託の信託財産にこの信託の受益権が属するときの当該受益権に係る投資者としての受託会社を除きます。以下 c . において同じ。）は受益権の口数に応じて、議決権を有し、これを行使することができます。なお、知っている投資者が議決権を行使しないときは、当該知っている投資者は書面決議について賛成するものとみなします。

- d . b . の書面決議は議決権を行使することができる投資者の議決権の3分の2以上に当たる多数をもって行ないます。
- e . 書面決議の効力は、この信託のすべての投資者に対してその効力を生じます。
- f . b . ~ e . までの規定は、委託会社が重大な約款の変更等について提案をした場合において、当該提案につき、この信託約款に係るすべての投資者が書面または電磁的記録により同意の意思表示をしたときには適用しません。
- g . a . ~ f . までの規定にかかわらず、この投資信託において併合の書面決議が可決された場合にあっては、当該併合にかかる一または複数の他の投資信託において当該併合の書面決議が否決された場合は、当該他の投資信託との併合を行なうことはできません。
- h . 委託会社は、監督官庁の命令に基づいてこの信託約款を変更しようとするときは a . ~ f . の規定にしたがいます。

#### 信託事務の委託

受託会社は、当ファンドにかかる信託事務の処理の一部について株式会社日本カストディ銀行と再信託契約を締結し、これを委託することがあります。その場合には、再信託にかかる契約書類に基づいて所定の事務を行ないます。

#### 運用報告書の作成

毎決算時および償還時に、委託会社が期間中の運用経過のほか信託財産の内容、有価証券売買状況などを記載した「交付運用報告書」を作成し、購入いただいた販売会社からあらかじめお申し出いただいた方法にて知れている受益者にお届けいたします。

#### 関係法人との契約の更改等に関する手続

「受益権の募集・販売の取扱い等に関する契約」の期間は1年とし、委託会社、販売会社いずれからも別段の意思表示のないときは、自動的に1年間延長されるものとし、自動延長後の取扱いについてもこれと同様です。

#### 公告

委託会社が投資者に対してする公告は、電子公告により行ない、次のアドレスに掲載します。

[www.blackrock.com/jp/](http://www.blackrock.com/jp/)

但し、当該公告方法に支障がある場合には、日本経済新聞による公告を行ないません。

#### 4【受益者の権利等】

ファンドの受益者（投資者）の有する主な権利は次の通りです。

##### (1) 収益分配金受領権

投資者は、委託会社の決定した収益分配金を、持ち分に応じて委託会社から受領する権利を有します。

<一般コース>

毎計算期間終了日後1ヵ月以内の委託会社の指定する日（原則として5営業日以内）に、毎計算期間の末日において振替機関等の振替口座簿に記載または記録されている投資者（当該収益分配金にかかる計算期間の末日以前において換金が行なわれた受益権にかかる投資者を除きます。また、当該収益分配金にかかる計算期間の末日以前に設定された受益権で購入代金支払前のため販売会社の名義で記載または記録されている受益権については原則として投資者とします。）にお支払いを開始します。

投資者が、収益分配金について支払開始日から5年間支払い請求を行わない場合はその権利を失い、委託会社が受託会社から交付を受けた金銭は委託会社に帰属します。

<累積投資コース>

受託会社が委託会社の指定する預金口座等に払い込むことにより、原則として、毎計算期間終了日の翌営業日に、収益分配金が販売会社に交付されます。

販売会社は、累積投資契約に基づき、投資者に対し遅滞なく収益分配金の再投資にかかる受益権の売付けを行いません。当該売付けにより増加した受益権は、振替口座簿に記載または記録されます。

##### (2) 償還金受領権

投資者は、委託会社の決定した償還金を、持ち分に応じて委託会社から受領する権利を有します。

償還金は、信託終了日後1ヵ月以内の委託会社の指定する日（原則として償還日から起算して5営業日以内）に償還日において振替機関等の振替口座簿に記載または記録されている投資者（償還日以前において換金が行なわれた受益権にかかる投資者を除きます。また、当該償還日以前に設定された受益権で購入代金支払前のため販売会社の名義で記載または記録されている受益権については原則として投資者とします。）にお支払いを開始します。なお、当該投資者は、その口座が開設されている振替機関等に対して委託会社がこの信託の償還をするのと引き換えに、当該償還に係る受益権の口数と同口数の抹消の申請を行なうものとし、社振法の規定にしたがい当該振替機関等の口座において当該口数の減少の記載または記録が行なわれます。

償還金の支払いは、販売会社において行ないます。

投資者が、償還金について支払開始日から10年間支払いの請求を行わない場合はその権利を失い、委託会社が受託会社から交付を受けた金銭は委託会社に帰属するものとし、

##### (3) 受益権の換金請求権

投資者は、自己に帰属する受益権について、委託会社に換金を請求する権利を有します。

換金代金は、換金受付日から起算して、原則として6営業日目から投資者に支払います。

換金の請求を行なう投資者は、その口座が開設されている振替機関等に対して当該投資者の請求に係るこの換金を委託会社が行なうのと引き換えに、当該換金に係る受益権の口数と同口数の抹消の申請を行なうものとし、社振法の規定にしたがい当該振替機関等の口座において当該口数の減少の記載または記録が行なわれます。

##### (4) 反対受益者の買取請求の不適用

当ファンドは、投資信託及び投資法人に関する法律第18条第1項に定める反対受益者による受益権の買取請求の規定の適用を受けません。

##### (5) 帳簿書類の閲覧または謄写の請求権

投資者は、委託会社に対し、その営業時間内に当ファンドの信託財産に関する帳簿書類の閲覧または謄写を請求することができます。

### 第3【ファンドの経理状況】

(1) 当ファンドの財務諸表は、「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」(昭和38年大蔵省令第59号)及び同規則第2条の2の規定により、「投資信託財産の計算に関する規則」(平成12年総理府令第133号)に基づいて作成しております。

なお、財務諸表に記載している金額は、円単位で表示しております。

(2) 2020年6月20日をもって、ファンドの名称を「ブラックロック・インパクト株式ファンド(ノーロード/限定為替ヘッジあり)」から「ブラックロックESG世界株式ファンド(限定為替ヘッジあり)」、「ブラックロック・インパクト株式ファンド(ノーロード/為替ヘッジなし)」から「ブラックロックESG世界株式ファンド(為替ヘッジなし)」に変更いたしました。

(3) 当ファンドは、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第5期計算期間(2019年9月21日から2020年9月23日まで)の財務諸表について、PwCあらた有限責任監査法人による監査を受けております。

## 1【財務諸表】

## 【ブラックロックESG世界株式ファンド(限定為替ヘッジあり)】

## (1)【貸借対照表】

(単位:円)

	第4期 (2019年9月20日現在)	第5期 (2020年9月23日現在)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
金銭信託	1,114,030	8,018,610
投資証券	77,779,903	346,875,481
流動資産合計	78,893,933	354,894,091
資産合計	78,893,933	354,894,091
<b>負債の部</b>		
流動負債		
未払解約金	10,330	261,635
未払受託者報酬	7,658	23,727
未払委託者報酬	138,046	409,194
その他未払費用	42,735	131,951
流動負債合計	198,769	826,507
負債合計	198,769	826,507
<b>純資産の部</b>		
元本等		
元本	57,129,964	239,217,248
剰余金		
期末剰余金又は期末欠損金( )	21,565,200	114,850,336
(分配準備積立金)	5,434,778	22,539,857
元本等合計	78,695,164	354,067,584
純資産合計	78,695,164	354,067,584
負債純資産合計	78,893,933	354,894,091

## (2) 【損益及び剰余金計算書】

(単位:円)

	第4期 (自 2018年9月21日 至 2019年9月20日)	第5期 (自 2019年9月21日 至 2020年9月23日)
営業収益		
有価証券売買等損益	3,877	19,847,272
為替差損益	27,009	82,508
営業収益合計	23,132	19,764,764
営業費用		
受託者報酬	14,811	35,547
委託者報酬	337,710	613,319
その他費用	94,736	209,511
営業費用合計	447,257	858,377
営業利益又は営業損失( )	470,389	18,906,387
経常利益又は経常損失( )	470,389	18,906,387
当期純利益又は当期純損失( )	470,389	18,906,387
一部解約に伴う当期純利益金額の分配額又は一部解約に伴う当期純損失金額の分配額( )	985,578	25,883
期首剰余金又は期首欠損金( )	22,037,296	21,565,200
剰余金増加額又は欠損金減少額	4,953,522	89,999,464
当期追加信託に伴う剰余金増加額又は欠損金減少額	4,953,522	89,999,464
剰余金減少額又は欠損金増加額	5,940,807	15,594,832
当期一部解約に伴う剰余金減少額又は欠損金増加額	5,940,807	15,594,832
分配金	-	-
期末剰余金又は期末欠損金( )	21,565,200	114,850,336

### (3)【注記表】

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

#### 1 有価証券の評価基準及び評価方法

投資証券は移動平均法に基づき、原則として以下の通り時価評価しております。

##### (1) 金融商品取引所等に上場されている有価証券

金融商品取引所等に上場されている有価証券は、原則として当該取引所等における計算期間末日において知りうる直近の最終相場で評価しております。

##### (2) 金融商品取引所等に上場されていない有価証券

当該有価証券については、原則として、金融機関の提示する価額又は価格情報会社の提供する価額のいずれかから入手した価額で評価しております。

##### (3) 時価が入手できなかった有価証券

適正な評価額を入手できなかった場合又は入手した評価額が時価と認定できない事由が認められた場合は、委託会社が忠実義務に基づいて合理的事由をもって時価と認めた価額もしくは受託者と協議のうえ両者が合理的事由をもって時価と認めた価額で評価しております。

#### 2 デリバティブの評価基準及び評価方法

為替予約取引

個別法に基づき、原則としてわが国における計算期間末日の対顧客先物売買相場の仲値で評価しております。

#### 3 外貨建資産・負債の本邦通貨への換算基準

外貨建資産・負債の円換算については原則として、わが国における計算期間末日の対顧客電信売買相場の仲値によって計算しております。

#### 4 収益及び費用の計上基準

有価証券売買等損益及び為替予約取引による為替差損益の計上基準  
約定日基準で計上しております。

#### 5 その他財務諸表作成のための基本となる重要な事項

##### (1) 外貨建資産等の会計処理

外貨建資産等については、「投資信託財産の計算に関する規則」(平成12年総理府令第133号)第60条の規定に基づき、通貨の種類ごとに勘定を設けて、邦貨建資産等と区分する方法を採用しております。従って、外貨の売買については、同規則第61条の規定により処理し、為替差損益を算定しております。

##### (2) 計算期間末日の取扱い

第5期計算期間は当計算期間末が休業日であったため、2019年9月21日から2020年9月23日までとなっております。

## (貸借対照表に関する注記)

項目	第4期 (2019年9月20日現在)	第5期 (2020年9月23日現在)
1 当該計算期間の末日における受益権総数	57,129,964口	239,217,248口
2 1口当たり純資産額	1.3775円	1.4801円

## (損益及び剰余金計算書に関する注記)

項目	第4期 (自 2018年9月21日 至 2019年9月20日)	第5期 (自 2019年9月21日 至 2020年9月23日)
分配金の計算過程	当計算期末における、費用控除後の配当等収益(0円)、費用控除及び繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益(515,189円)、収益調整金(有価証券売買等損益相当額)(7,670,079円)、収益調整金(その他収益調整金)(8,460,343円)、分配準備積立金(4,919,589円)により、分配対象収益は21,565,200円となりましたが、委託会社が基準価額水準・市況動向等を勘案し、当期は分配を見合わせました。	当計算期末における、費用控除後の配当等収益(0円)、費用控除及び繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益(18,880,504円)、収益調整金(有価証券売買等損益相当額)(37,787,793円)、収益調整金(その他収益調整金)(54,522,686円)、分配準備積立金(3,659,353円)により、分配対象収益は114,850,336円となりましたが、委託会社が基準価額水準・市況動向等を勘案し、当期は分配を見合わせました。

## （金融商品に関する注記）

### 金融商品の状況に関する事項

#### 1 金融商品に対する取組方針

当ファンドは、投資信託及び投資法人に関する法律第2条第4項に定める証券投資信託であり、信託約款に規定する「運用の基本方針」に従い、有価証券等の金融商品に対して投資として運用することを目的としております。

#### 2 金融商品の内容及び金融商品に係るリスク

当ファンドが保有する金融商品の種類は、有価証券、デリバティブ取引、コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務であります。当ファンドが保有する有価証券は投資証券であります。

当ファンドの主な投資リスクとして、「株価変動リスク」、「為替変動リスク」、「中小型株式投資のリスク」、「カントリー・リスク」、「債券投資のリスク」、「デリバティブ取引のリスク」等があります。

当ファンドの利用しているデリバティブ取引は、為替予約取引であります。為替予約取引は、外貨建有価証券の売買の決済等に伴い必要となる外貨の売買の為に、その受渡日までの数日間の為替予約を利用しております。なお、当ファンドは外貨建資産の為替変動リスクの低減を目的としており、投機を目的とする為替予約は行わない方針であります。為替予約取引に係る主要なリスクは、為替相場の変動による価格変動リスク及び取引相手の信用状況の変化により損失が発生する信用リスクであります。

#### 3 金融商品に係るリスク管理体制

##### (1) 市場リスクの管理

ブラックロックソリューション・グリーンパッケージプロダクションチームが日次で計測し、運用部、その他の関係部署等にレポートをイントラネットで配信しております。また、運用ガイドラインのモニタリングはポートフォリオ・コンプライアンスチームが行っており、ガイドライン等を逸脱していた場合、関係部署へ報告され、適切な調整を行います。

##### (2) 信用リスクの管理

ファンダメンタル債券運用部により、国内債券の個別信用リスク及び銘柄間の相対価値については独自の定量・定性分析等を行っております。外国債券銘柄等については、社内のリサーチ・データベースによりグローバル・クレジット・チームとの情報・分析結果を共有しております。

##### (3) 取引先リスクの管理

リスク・クオンツ分析部は当社の親会社である米国のBlackRock, Inc.のRQA Counterparty & Concentration Riskチームと共に既存の承認済み取引先の信用悪化のモニタリングを行っており、取引先のデフォルトに対する取引先リスク、発行体リスクのファンドへの影響を分析しております。また、新規取引先の承認に際しては、リスク・クオンツ分析部が新規取引先申請の内容に問題がないかどうか確認を行い、当社の親会社である米国のBlackRock, Inc.のRQA Counterparty & Concentration Riskチームへ申請を行っております。

また、毎月開催される投資委員会では、リスク管理・運用分析手法等について審議を行っております。

## 金融商品の時価等に関する事項

第4期 (2019年9月20日現在)	第5期 (2020年9月23日現在)
<p>1 貸借対照表計上額、時価及び差額 貸借対照表上の金融商品は原則としてすべて時価で評価しているため、貸借対照表計上額と時価との差額はありません。</p>	<p>1 貸借対照表計上額、時価及び差額 同左</p>
<p>2 時価の算定方法 (1) 有価証券 「(重要な会計方針に係る事項に関する注記)」に記載しております。 (2) コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務 これらの科目は短期間で決済されるため、時価は帳簿価額と近似していることから、当該帳簿価額によっております。</p>	<p>2 時価の算定方法 (1) 有価証券 同左  (2) コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務 同左</p>
<p>3 金融商品の時価等に関する事項の補足説明 金融商品の時価には、市場価格に基づく価額のほか、市場価格がない場合には合理的に算定された価額が含まれております。当該価額の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。</p>	<p>3 金融商品の時価等に関する事項の補足説明 同左</p>
<p>4 金銭債権の計算期間末日後の償還予定額 金銭債権については全て1年以内に償還予定であります。</p>	<p>4 金銭債権の計算期間末日後の償還予定額 同左</p>

(関連当事者との取引に関する注記)

該当事項はありません。

(その他の注記)

## 1 期中元本変動額

項目	第4期 (2019年9月20日現在)	第5期 (2020年9月23日現在)
期首元本額	56,299,945円	57,129,964円
期中追加設定元本額	16,652,917円	222,630,409円
期中一部解約元本額	15,822,898円	40,543,125円

## 2 有価証券関係

第4期(2019年9月20日現在)

売買目的有価証券

種類	当計算期間の損益に 含まれた評価差額(円)
投資証券	586,771
合計	586,771

第5期(2020年9月23日現在)

売買目的有価証券

種類	当計算期間の損益に 含まれた評価差額(円)
投資証券	19,188,177
合計	19,188,177

## 3 デリバティブ取引関係

該当事項はありません

## (4) 【附属明細表】

## 第1 有価証券明細表

## (1) 株式

該当事項はありません。

## (2) 株式以外の有価証券

種類	通貨	銘柄	券面総額	評価額	備考
投資証券	日本円	ブラックロック・ストラテジック・ファンズ ブラックロック・システムチックESGワールド・ エクイティ・ファンド クラスI投資証券（円建て円 ヘッジ）	22,774	343,393,717	
	日本円	小計	22,774	343,393,717	
	アメリカドル	インスティテューショナル・キャッシュ・シリーズ plc ブラックロック・ICS・USTレジャーリー・ ファンド エージェンシークラス投資証券（米ドル 建て）	312.260	33,115.510	
	アメリカドル	小計	312.260	33,115.510 (3,481,764)	
投資証券 合計				346,875,481 (3,481,764)	
合計				346,875,481 (3,481,764)	

(注1) 投資証券における券面総額欄の数値は、口数を表示しております。

(注2) 1 各種通貨毎の小計の欄における( )内の金額は、邦貨換算額であります。

2 合計欄における( )内の金額は、外貨建有価証券の邦貨換算額の合計額であり、内数で表示しておりま  
す。

3 外貨建有価証券の内訳

通貨	銘柄数	組入投資証券時価比率	合計金額に対する比率
アメリカドル	投資証券 1銘柄	100.0%	100.0%

## 第2 信用取引契約残高明細表

該当事項はありません。

## 第3 デリバティブ取引及び為替予約取引の契約額等及び時価の状況表

該当事項はありません。

## 【ブラックロック ESG世界株式ファンド(為替ヘッジなし)】

## (1)【貸借対照表】

(単位:円)

	第4期 (2019年9月20日現在)	第5期 (2020年9月23日現在)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
金銭信託	891,641	24,103,183
投資証券	101,793,764	1,297,755,608
流動資産合計	102,685,405	1,321,858,791
資産合計	102,685,405	1,321,858,791
<b>負債の部</b>		
流動負債		
未払解約金	1,027,727	2,411,929
未払受託者報酬	9,637	103,148
未払委託者報酬	173,230	1,777,313
その他未払費用	53,748	573,287
流動負債合計	1,264,342	4,865,677
負債合計	1,264,342	4,865,677
<b>純資産の部</b>		
元本等		
元本	76,513,598	941,278,167
剰余金		
期末剰余金又は期末欠損金( )	24,907,465	375,714,947
(分配準備積立金)	13,784,025	13,723,172
元本等合計	101,421,063	1,316,993,114
純資産合計	101,421,063	1,316,993,114
負債純資産合計	102,685,405	1,321,858,791

## (2) 【損益及び剰余金計算書】

(単位:円)

	第4期 (自 2018年9月21日 至 2019年9月20日)	第5期 (自 2019年9月21日 至 2020年9月23日)
<b>営業収益</b>		
有価証券売買等損益	533,641	4,860,729
為替差損益	36,195	315,311
営業収益合計	569,836	5,176,040
<b>営業費用</b>		
受託者報酬	18,197	146,602
委託者報酬	412,152	2,526,413
その他費用	113,952	840,183
営業費用合計	544,301	3,513,198
営業利益又は営業損失( )	1,114,137	8,689,238
経常利益又は経常損失( )	1,114,137	8,689,238
当期純利益又は当期純損失( )	1,114,137	8,689,238
一部解約に伴う当期純利益金額の分配額又は一部解約に伴う当期純損失金額の分配額( )	720,138	12,913,708
期首剰余金又は期首欠損金( )	24,066,286	24,907,465
剰余金増加額又は欠損金減少額	5,675,987	411,163,179
当期追加信託に伴う剰余金増加額又は欠損金減少額	5,675,987	411,163,179
剰余金減少額又は欠損金増加額	4,440,809	64,580,167
当期一部解約に伴う剰余金減少額又は欠損金増加額	4,440,809	64,580,167
分配金	-	-
期末剰余金又は期末欠損金( )	24,907,465	375,714,947

### (3)【注記表】

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

#### 1 有価証券の評価基準及び評価方法

投資証券は移動平均法に基づき、原則として以下の通り時価評価しております。

##### (1) 金融商品取引所等に上場されている有価証券

金融商品取引所等に上場されている有価証券は、原則として当該取引所等における計算期間末日において知りうる直近の最終相場で評価しております。

##### (2) 金融商品取引所等に上場されていない有価証券

当該有価証券については、原則として、金融機関の提示する価額又は価格情報会社の提供する価額のいずれかから入手した価額で評価しております。

##### (3) 時価が入手できなかった有価証券

適正な評価額を入手できなかった場合又は入手した評価額が時価と認定できない事由が認められた場合は、委託会社が忠実義務に基づいて合理的事由をもって時価と認めた価額もしくは受託者と協議のうえ両者が合理的事由をもって時価と認めた価額で評価しております。

#### 2 デリバティブの評価基準及び評価方法

為替予約取引

個別法に基づき、原則としてわが国における計算期間末日の対顧客先物売買相場の仲値で評価しております。

#### 3 外貨建資産・負債の本邦通貨への換算基準

外貨建資産・負債の円換算については原則として、わが国における計算期間末日の対顧客電信売買相場の仲値によって計算しております。

#### 4 収益及び費用の計上基準

有価証券売買等損益及び為替予約取引による為替差損益の計上基準  
約定日基準で計上しております。

#### 5 その他財務諸表作成のための基本となる重要な事項

##### (1) 外貨建資産等の会計処理

外貨建資産等については、「投資信託財産の計算に関する規則」(平成12年総理府令第133号)第60条の規定に基づき、通貨の種類ごとに勘定を設けて、邦貨建資産等と区分する方法を採用しております。従って、外貨の売買については、同規則第61条の規定により処理し、為替差損益を算定しております。

##### (2) 計算期間末日の取扱い

第5期計算期間は当計算期間末が休業日であったため、2019年9月21日から2020年9月23日までとなっております。

## (貸借対照表に関する注記)

項目	第4期 (2019年9月20日現在)	第5期 (2020年9月23日現在)
1 当該計算期間の末日における受益権総数	76,513,598口	941,278,167口
2 1口当たり純資産額	1.3255円	1.3992円

## (損益及び剰余金計算書に関する注記)

項目	第4期 (自 2018年9月21日 至 2019年9月20日)	第5期 (自 2019年9月21日 至 2020年9月23日)
分配金の計算過程	当計算期末における、費用控除後の配当等収益(0円)、費用控除及び繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益(0円)、収益調整金(有価証券売買等損益相当額)(2,731,964円)、収益調整金(その他収益調整金)(8,391,476円)、分配準備積立金(13,784,025円)により、分配対象収益は24,907,465円となりましたが、委託会社が基準価額水準・市況動向等を勘案し、当期は分配を見合わせました。	当計算期末における、費用控除後の配当等収益(0円)、費用控除及び繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益(3,944,977円)、収益調整金(有価証券売買等損益相当額)(98,959,515円)、収益調整金(その他収益調整金)(263,032,260円)、分配準備積立金(9,778,195円)により、分配対象収益は375,714,947円となりましたが、委託会社が基準価額水準・市況動向等を勘案し、当期は分配を見合わせました。

## （金融商品に関する注記）

### 金融商品の状況に関する事項

#### 1 金融商品に対する取組方針

当ファンドは、投資信託及び投資法人に関する法律第2条第4項に定める証券投資信託であり、信託約款に規定する「運用の基本方針」に従い、有価証券等の金融商品に対して投資として運用することを目的としております。

#### 2 金融商品の内容及び金融商品に係るリスク

当ファンドが保有する金融商品の種類は、有価証券、デリバティブ取引、コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務であります。当ファンドが保有する有価証券は投資証券であります。

当ファンドの主な投資リスクとして、「株価変動リスク」、「為替変動リスク」、「中小型株式投資のリスク」、「カントリー・リスク」、「債券投資のリスク」、「デリバティブ取引のリスク」等があります。

当ファンドの利用しているデリバティブ取引は、為替予約取引であります。為替予約取引は、外貨建有価証券の売買の決済等に伴い必要となる外貨の売買の為に、その受渡日までの数日間の為替予約を利用しております。なお、当ファンドは外貨建資産の為替変動リスクの低減を目的としており、投機を目的とする為替予約は行わない方針であります。為替予約取引に係る主要なリスクは、為替相場の変動による価格変動リスク及び取引相手の信用状況の変化により損失が発生する信用リスクであります。

#### 3 金融商品に係るリスク管理体制

##### (1) 市場リスクの管理

ブラックロックソリューション・グリーンパッケージプロダクションチームが日次で計測し、運用部、その他の関係部署等にレポートをイントラネットで配信しております。また、運用ガイドラインのモニタリングはポートフォリオ・コンプライアンスチームが行っており、ガイドライン等を逸脱していた場合、関係部署へ報告され、適切な調整を行います。

##### (2) 信用リスクの管理

ファンダメンタル債券運用部により、国内債券の個別信用リスク及び銘柄間の相対価値については独自の定量・定性分析等を行っております。外国債券銘柄等については、社内のリサーチ・データベースによりグローバル・クレジット・チームとの情報・分析結果を共有しております。

##### (3) 取引先リスクの管理

リスク・クオンツ分析部は当社の親会社である米国のBlackRock, Inc.のRQA Counterparty & Concentration Riskチームと共に既存の承認済み取引先の信用悪化のモニタリングを行っており、取引先のデフォルトに対する取引先リスク、発行体リスクのファンドへの影響を分析しております。また、新規取引先の承認に際しては、リスク・クオンツ分析部が新規取引先申請の内容に問題がないかどうか確認を行い、当社の親会社である米国のBlackRock, Inc.のRQA Counterparty & Concentration Riskチームへ申請を行っております。

また、毎月開催される投資委員会では、リスク管理・運用分析手法等について審議を行っております。

## 金融商品の時価等に関する事項

第4期 (2019年9月20日現在)	第5期 (2020年9月23日現在)
<p>1 貸借対照表計上額、時価及び差額 貸借対照表上の金融商品は原則としてすべて時価で評価しているため、貸借対照表計上額と時価との差額はありません。</p>	<p>1 貸借対照表計上額、時価及び差額 同左</p>
<p>2 時価の算定方法 (1) 有価証券 「(重要な会計方針に係る事項に関する注記)」に記載しております。 (2) コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務 これらの科目は短期間で決済されるため、時価は帳簿価額と近似していることから、当該帳簿価額によっております。</p>	<p>2 時価の算定方法 (1) 有価証券 同左 (2) コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務 同左</p>
<p>3 金融商品の時価等に関する事項の補足説明 金融商品の時価には、市場価格に基づく価額のほか、市場価格がない場合には合理的に算定された価額が含まれております。当該価額の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。</p>	<p>3 金融商品の時価等に関する事項の補足説明 同左</p>
<p>4 金銭債権の計算期間末日後の償還予定額 金銭債権については全て1年以内に償還予定であります。</p>	<p>4 金銭債権の計算期間末日後の償還予定額 同左</p>

(関連当事者との取引に関する注記)

該当事項はありません。

(その他の注記)

## 1 期中元本変動額

項目	第4期 (2019年9月20日現在)	第5期 (2020年9月23日現在)
期首元本額	69,180,561円	76,513,598円
期中追加設定元本額	20,526,074円	1,025,740,912円
期中一部解約元本額	13,193,037円	160,976,343円

## 2 有価証券関係

第4期(2019年9月20日現在)

売買目的有価証券

種類	当計算期間の損益に 含まれた評価差額(円)
投資証券	185,305
合計	185,305

第5期(2020年9月23日現在)

売買目的有価証券

種類	当計算期間の損益に 含まれた評価差額(円)
投資証券	3,310,949
合計	3,310,949

## 3 デリバティブ取引関係

該当事項はありません。

## (4)【附属明細表】

## 第1 有価証券明細表

## (1) 株式

該当事項はありません。

## (2) 株式以外の有価証券

種類	通貨	銘柄	券面総額	評価額	備考
投資証券	日本円	ブラックロック・ストラテジック・ファンズ ブラックロック・システムチックESGワールド・エクイティ・ファンド クラスI投資証券(円建て)	90,427	1,284,432,778	
	日本円 小計		90,427	1,284,432,778	
	アメリカドル	インスティテューショナル・キャッシュ・シリーズplc ブラックロック・ICS・USTレジャーリー・ファンド エージェンシークラス投資証券(米ドル建て)	1,194.850	126,715.150	
	アメリカドル 小計		1,194.850	126,715.150 (13,322,830)	
投資証券 合計				1,297,755,608 (13,322,830)	
合計				1,297,755,608 (13,322,830)	

(注1) 投資証券における券面総額欄の数値は、口数を表示しております。

(注2) 1 各種通貨毎の小計の欄における( )内の金額は、邦貨換算額であります。

2 合計欄における( )内の金額は、外貨建有価証券の邦貨換算額の合計額であり、内数で表示しております。

3 外貨建有価証券の内訳

通貨	銘柄数	組入投資証券時価比率	合計金額に対する比率
アメリカドル	投資証券 1銘柄	100.0%	100.0%

## 第2 信用取引契約残高明細表

該当事項はありません。

## 第3 デリバティブ取引及び為替予約取引の契約額等及び時価の状況表

該当事項はありません。

## (参考情報)

当ファンドは、「ブラックロック・ストラテジック・ファンズ ブラックロック・システムチックESGワールド・エクイティ・ファンド クラスI投資証券」及び「インスティテューショナル・キャッシュ・シリーズplc ブラックロック・ICS・USTレジャーリー・ファンド エージェンシークラス投資証券」(以下、両者を併せて「同ファンド」という。)を主要投資対象としており、貸借対照表の資産の部に計上された投資証券は、すべて同ファンドの投資証券であります。同ファンドの状況は以下のとおりであります。

なお、以下に記載した情報は監査意見の対象外です。

## 同ファンドの状況

- (1) 「ブラックロック・ストラテジック・ファンズ ブラックロック・システムチックESGワールド・エクイティ・ファンド クラスI投資証券」は、ルクセンブルグにおいて設立されたオープンエンド型投資法人が発行するファンドであり、当該ファンドの現時点で日本語に翻訳された直近の情報は、2020年5月31日に終了する計算期間(2019年6月1日から2020年5月31日まで)に係る財務書類であります。

当該財務書類は、当該ファンドを含む「ブラックロック・ストラテジック・ファンズ」の2020年5月31日現在の財務書類のうち、当該ファンドにかかる部分を、委託会社において抜粋し、その原文を翻訳したものです。なお、財務書類に含まれる「投資有価証券明細表」の銘柄については原文通り英語表記で行っております。

- (2) 「インスティテューショナル・キャッシュ・シリーズplc ブラックロック・ICS・USTレジャーリー・ファンド エージェンシークラス投資証券」は、アイルランドにおいて設立されたオープンエンド型投資法人が発行するファンドであり、当該ファンドの現時点で日本語に翻訳された直近の情報は、2020年3月31日に終了する中間計算期間(2019年10月1日から2020年3月31日まで)に係る中間財務書類であります。

当該中間財務書類は、当該ファンドを含む「インスティテューショナル・キャッシュ・シリーズplc」の2020年3月31日現在の中間財務書類のうち、当該ファンドにかかる部分を、委託会社において抜粋し、その原文を翻訳したものです。中間財務書類に含まれる「投資有価証券明細表」の銘柄については原文通り英語表記で行っております。なお、アイルランドにおける独立監査人の監査を受けておりません。

なお、「ブラックロック・ストラテジック・ファンズ ブラックロック・インパクト・ワールド・エクイティ・ファンド クラスI投資証券」は、2020年5月13日付で「ブラックロック・ストラテジック・ファンズ ブラックロック・システムチックESGワールド・エクイティ・ファンド クラスI投資証券」へ名称変更いたしました。

純資産計算書 2020年5月31日現在

	注記	ブラックロック・ システムチック E S G ワールド・ エクイティ・ファンド <sup>(1)</sup>
		米ドル
資産		
投資有価証券 - 取得原価		201,741,928
未実現評価益		15,893,623
投資有価証券 - 時価	2 (a)	217,635,551
銀行預金	2 (a)	2,200,677
ブローカーに対する債権	15	87,028
未収利息および未収配当金	2 (a)、2 (d)	550,486
売却投資有価証券未収金	2 (a)、2 (d)	37,440
販売投資証券未収金	2 (a)	278,983
以下に係る未実現純評価益：		
先物取引	2 (d)	136,984
その他の資産	2 (a)	3,725
資産合計		220,930,874
負債		
買戻し投資証券未払金	2 (a)	16,042
以下に係る未実現純評価損：		
未決済先渡為替予約	2 (d)	2,005
未払費用およびその他の負債	2 (a)、4、5、 6、7、8	215,541
負債合計		233,588
純資産合計		220,697,286

(1) ファンドの名称が変更された。

添付の注記は、これらの財務書類の不可分の一部である。

## 3 会計年度末における純資産価額の概要 2020年5月31日現在

ブラックロック・システムチック E S G ワールド・エクイティ・ファンド <sup>(1)</sup>				
	通貨	2020年 5月31日現在	2019年 5月31日現在	2018年 5月31日現在
純資産合計	米ドル	220,697,286	186,266,828	191,191,688
以下の1口当たり純資産価額：				
クラスA無分配投資証券	米ドル	137.96	128.84	130.51
クラスD無分配投資証券 (ユーロ)	ユーロ	141.09	130.80	126.43
クラスE無分配投資証券 (ユーロ)	ユーロ	143.36	134.07	130.76
クラスIユーロ・ヘッジ無分 配投資証券	ユーロ	123.47	116.58	121.31
クラスI無分配投資証券 (日本円)	日本円	13,336.58	12,536.81	12,596.01
クラスI日本円ヘッジ無分配 投資証券	日本円	13,794.26	13,076.90	13,560.05
クラスX分配型投資証券 (豪ドル)	豪ドル	-	-	265.59
クラスX無分配英国報告型投 資証券(英ポンド)	英ポンド	182.81	165.92	157.72

(1) ファンドの名称が変更された。

添付の注記は、これらの財務書類の不可分の一部である。

損益および純資産変動計算書 2020年5月31日に終了した会計年度

	注記	ブラックロック・ システマチック ESG ワールド・ エクイティ・ファンド <sup>(1)</sup>
		米ドル
期首純資産		186,266,828
収益		
配当金、源泉徴収税控除後	2 (c)	3,729,632
有価証券貸付	2 (c)	35,545
収益合計		3,765,177
費用		
預金利息	2 (c)	2,016
管理事務代行報酬	5	123,911
預託報酬	2 (i)、6	183,577
税金	8	30,953
販売報酬	4	18,625
ローン・コミットメント・フィー	14	360
投資運用報酬および投資運用再委託報酬	4	161,802
その他の費用		1,403
払戻考慮前費用合計		522,647
費用の払戻し	4	33,084
払戻考慮後費用合計		489,563
投資純利益		3,275,614
以下に係る実現純利益 / (損失) :		
投資有価証券	2 (a)、2 (b)	667,052
差金決済契約	2 (d)	41
先物取引	2 (d)	161,127
外貨および先渡為替予約	2 (d)、2 (e)、2 (j)	(2,469,152)
当期実現純損失		(1,640,932)
以下に係る未実現評価益 / (損) の純変動額 :		
投資有価証券	2 (a)	12,983,346
先物取引	2 (d)	226,863
外貨および先渡為替予約	2 (d)、2 (e)、2 (j)	143,580
当期末実現評価益 / (損) の純変動		13,353,789
運用成績による純資産の増加		14,988,471
資本の変動		
投資証券発行による正味受取額		57,465,233
投資証券買戻しによる正味支払額	2 (g)	(38,023,246)
資本の変動による純資産の増加		19,441,987
期末純資産		220,697,286

(1) ファンドの名称が変更された。

添付の注記は、これらの財務書類の不可分の一部である。

発行済投資証券口数変動表 2020年5月31日に終了した会計年度

ブラックロック・システムチックESGワールド・エクイティ・ファンド<sup>(1)</sup>

	期首発行済 投資証券口数	当期発行 投資証券口数	当期買戻し 投資証券口数	期末発行済 投資証券口数
クラスA無分配投資証券	22,955	18,558	12,348	29,165
クラスD無分配投資証券(ユーロ)	73,864	116,378	37,708	152,534
クラスE無分配投資証券(ユーロ)	11,704	39,613	7,280	44,037
クラスIユーロ・ヘッジ無分配投資証券	132,384	-	132,335	49
クラスI無分配投資証券(日本円)	7,422	64,065	955	70,532
クラスI日本円ヘッジ無分配投資証券	5,745	11,449	1,927	15,267
クラスX無分配英国報告型投資証券(英ポンド)	728,309	94,411	47,549	775,171

(1) ファンドの名称が変更された。

添付の注記は、これらの財務書類の不可分の一部である。

## ブラックロック・システマチック E S Gワールド・エクイティ・ファンド

投資有価証券明細表 2020年5月31日現在

公認の証券取引所に上場されているまたはその他の規制市場で取引されている譲渡可能な有価証券および短期金融商品

保有高	銘柄	時価 (米ドル)	純資産比率 (%)
普通株式 / 優先株式およびライツ			
オーストラリア			
4,819	Ampol Ltd	86,644	0.04
3,148	Aristocrat Leisure Ltd	53,738	0.02
30,783	Atlas Arteria Ltd (Unit)	136,068	0.06
28,415	Australia & New Zealand Banking Group Ltd^	337,388	0.15
22,101	Bendigo & Adelaide Bank Ltd	90,211	0.04
20,734	Brambles Ltd	160,180	0.07
8,745	Challenger Ltd	29,078	0.01
9,896	Commonwealth Bank of Australia	418,708	0.19
2,401	CSL Ltd	440,169	0.20
12,569	Downer EDI Ltd	37,623	0.02
23,787	Goodman Group (REIT)^	242,653	0.11
63,808	IGO Ltd	212,594	0.10
15,075	Insurance Australia Group Ltd	61,132	0.03
11,920	Lendlease Group (Unit)	102,293	0.05
3,685	Macquarie Group Ltd	268,957	0.12
6,722	Mineral Resources Ltd	83,919	0.04
185,675	Mirvac Group (REIT)	289,596	0.13
21,758	National Australia Bank Ltd	257,190	0.12
8,914	OZ Minerals Ltd	55,731	0.03
661	Rio Tinto Ltd	40,975	0.02
26,499	Sims Ltd	136,830	0.06
32,536	Stockland (REIT)	77,091	0.04
14,713	Transurban Group (Unit)	139,542	0.06
3,209	Treasury Wine Estates Ltd	20,574	0.01
16,513	Westpac Banking Corp	188,726	0.09
15,021	Woodside Petroleum Ltd	226,007	0.10
17,634	Worley Ltd^	98,311	0.04
		4,291,928	1.95
オーストリア			
1,328	Erste Group Bank AG	29,327	0.01
		29,327	0.01
ベルギー			
4,075	Anheuser-Busch InBev SA	190,446	0.09
211	Galapagos NV	43,476	0.02
2,674	Umicore SA^	117,715	0.05
		351,637	0.16
バミューダ			
16,287	Axalta Coating Systems Ltd	374,275	0.17
5,783	Bunge Ltd	221,258	0.10
8,178	IHS Markit Ltd	566,245	0.25
10,252	Invesco Ltd	80,734	0.04

公認の証券取引所に上場されているまたはその他の規制市場で取引されている譲渡可能な有価証券および短期金融商品(続き)

保有高	銘柄	時価 (米ドル)	純資産比率 (%)
	バミューダ(続き)		
2,712	Marvell Technology Group Ltd	88,723	0.04
		1,331,235	0.60
	英領バージン諸島		
1,724	Capri Holdings Ltd	26,946	0.01
		26,946	0.01
	カナダ		
1,309	Agnico Eagle Mines Ltd	83,893	0.04
6,534	Bank of Montreal^	323,890	0.15
16,764	Bank of Nova Scotia	682,633	0.31
6,926	Brookfield Asset Management Inc 'A'^	220,031	0.10
10,214	CAE Inc	154,532	0.07
94	Canadian Imperial Bank of Commerce	6,075	0.00
1,896	Canadian Tire Corp Ltd 'A'^	160,811	0.07
9,116	CCL Industries Inc 'B'	300,392	0.14
1,674	Colliers International Group Inc	85,860	0.04
921	Dollarama Inc	30,957	0.02
1,103	Franco-Nevada Corp	157,557	0.07
1,859	George Weston Ltd	133,691	0.06
8,721	Great-West Lifeco Inc	140,554	0.06
8,576	Hydro One Ltd	162,685	0.07
2,317	Innergex Renewable Energy Inc	31,876	0.02
5,422	Loblaw Cos Ltd	269,122	0.12
9,195	Magna International Inc	382,232	0.17
4,364	Onex Corp	207,801	0.10
4,820	Osisko Gold Royalties Ltd	47,764	0.02
6,521	Parkland Corp	178,050	0.08
10,199	Rogers Communications Inc 'B'	426,041	0.19
7,513	Royal Bank of Canada^	492,849	0.22
496	Shopify Inc 'A'	377,888	0.17
776	Toromont Industries Ltd	37,520	0.02
16,103	Toronto-Dominion Bank	697,101	0.32
14,796	Wheaton Precious Metals Corp	646,321	0.29
1,441	WSP Global Inc^	93,509	0.04
		6,531,635	2.96
	ケイマン諸島		
11,200	Sands China Ltd	43,545	0.02
41,000	Wharf Real Estate Investment Co Ltd	157,555	0.07
		201,100	0.09
	キュラソー		
23,141	Schlumberger Ltd	426,257	0.19
		426,257	0.19
	デンマーク		
2,303	Chr Hansen Holding A/S^	224,271	0.10
357	Genmab A/S	109,867	0.05

公認の証券取引所に上場されているまたはその他の規制市場で取引されている譲渡可能な有価証券および短期金融商品(続き)

保有高	銘柄	時価 (米ドル)	純資産比率 (%)
デンマーク(続き)			
910	H Lundbeck A/S	35,159	0.02
21,875	Novo Nordisk A/S 'B'	1,432,391	0.65
5,826	Orsted A/S^	680,851	0.31
		2,482,539	1.13
フィンランド			
2,300	Kesko Oyj 'B'	38,746	0.02
6,877	Neste Oyj	275,823	0.12
1,341	UPM-Kymmene Oyj	38,709	0.02
28,696	Wartsila Oyj Abp^	223,998	0.10
		577,276	0.26
フランス			
2,299	Amundi SA	168,848	0.08
43,571	AXA SA	802,021	0.36
1,373	Bouygues SA	42,717	0.02
14,388	Carrefour SA	216,943	0.10
315	Christian Dior SE	132,960	0.06
23,422	CNP Assurances	245,726	0.11
7,629	Credit Agricole SA	66,982	0.03
7,009	Danone SA	483,986	0.22
488	Gaztransport Et Technigaz SA	36,682	0.02
2,041	Gecina SA (REIT)	259,857	0.12
921	Hermes International^	766,236	0.35
123	Kering SA	64,795	0.03
5,085	L'Oreal SA	1,481,983	0.67
997	LVMH Moet Hennessy Louis Vuitton SE	420,054	0.19
19,510	Natixis SA	43,562	0.02
27,613	Orange SA	335,137	0.15
1,045	Pernod Ricard SA	163,259	0.07
2,626	Peugeot SA	37,405	0.02
6,264	Renault SA	142,544	0.07
25,642	Rexel SA^	260,548	0.12
4,076	Rubis SCA	196,430	0.09
8,604	Sanofi	846,795	0.38
5,770	Schneider Electric SE	577,051	0.26
710	Societe BIC SA	37,643	0.02
15,405	Societe Generale SA	230,530	0.10
17,833	TOTAL SA	667,458	0.30
402	Ubisoft Entertainment SA	31,442	0.01
		8,759,594	3.97
ドイツ			
2,223	adidas AG	583,607	0.27
907	Allianz SE RegS	165,179	0.08
1,812	Bayerische Motoren Werke AG (Pref)	83,657	0.04
4,271	Beiersdorf AG^	450,408	0.20

公認の証券取引所に上場されているまたはその他の規制市場で取引されている譲渡可能な有価証券および短期金融商品(続き)

保有高	銘柄	時価 (米ドル)	純資産比率 (%)
	ドイツ(続き)		
1,233	Deutsche Boerse AG	203,873	0.09
10,906	Deutsche Post AG RegS	345,496	0.16
1,753	Duerr AG	41,675	0.02
25,348	E.ON SE	266,862	0.12
3,304	Merck KGaA	381,716	0.17
444	Puma SE	31,943	0.02
7,032	SAP SE	890,923	0.40
9,876	Siemens AG RegS	1,085,423	0.49
1,039	Symrise AG	114,261	0.05
542	Vonovia SE	31,231	0.01
		4,676,254	2.12
	香港		
44,600	AIA Group Ltd^	361,470	0.16
154,500	BOC Hong Kong Holdings Ltd^	430,343	0.20
2,300	Hang Seng Bank Ltd	34,968	0.02
199,000	Hong Kong & China Gas Co Ltd^	334,628	0.15
27,000	Link (REIT)	201,767	0.09
166,000	Swire Properties Ltd^	369,472	0.17
11,000	Techtronic Industries Co Ltd^	94,613	0.04
		1,827,261	0.83
	国際機関		
5,661	Unibail-Rodamco-Westfield (REIT)^	306,743	0.14
		306,743	0.14
	アイルランド		
8,561	Accenture Plc 'A'	1,708,348	0.78
1,544	Allegion Plc	152,686	0.07
2,896	DCC Plc	241,571	0.11
6,507	Johnson Controls International Plc	203,604	0.09
948	Kingspan Group Plc	58,451	0.03
7,752	Medtronic Plc	752,487	0.34
1,352	Smurfit Kappa Group Plc	43,958	0.02
5,762	Trane Technologies Plc	516,563	0.23
		3,677,668	1.67
	イスラエル		
15,954	Bank Hapoalim BM	97,469	0.04
459	CyberArk Software Ltd	46,809	0.02
1,504	Wix.com Ltd	320,999	0.15
		465,277	0.21
	イタリア		
21,252	Assicurazioni Generali SpA^	297,516	0.13
13,403	Hera SpA^	50,940	0.02
62,480	Intesa Sanpaolo SpA^	108,672	0.05
60,389	Italgas SpA	329,301	0.15
12,134	Mediobanca Banca di Credito Finanziario SpA	79,147	0.04

公認の証券取引所に上場されているまたはその他の規制市場で取引されている譲渡可能な有価証券および短期金融商品(続き)

保有高	銘柄	時価 (米ドル)	純資産比率 (%)
	イタリア(続き)		
26,582	Terna Rete Elettrica Nazionale SpA^	179,062	0.08
		1,044,638	0.47
	日本		
3,800	Aeon Co Ltd	84,203	0.04
5,700	Alfresa Holdings Corp^	115,150	0.05
6,600	Alps Alpine Co Ltd	79,888	0.04
1,200	Asahi Group Holdings Ltd^	45,271	0.02
27,900	Asahi Kasei Corp	220,471	0.10
22,100	Astellas Pharma Inc	393,348	0.18
2,800	Benesse Holdings Inc^	75,932	0.03
3,100	Canon Inc	63,951	0.03
3,100	Central Japan Railway Co^	531,293	0.24
2,800	Chugai Pharmaceutical Co Ltd	413,629	0.19
3,800	COMSYS Holdings Corp^	105,982	0.05
2,200	Daikin Industries Ltd^	324,176	0.15
3,200	Daito Trust Construction Co Ltd^	338,698	0.15
17,500	Daiwa House Industry Co Ltd^	435,121	0.20
7,300	Denso Corp^	280,354	0.13
4,200	DIC Corp^	109,759	0.05
1,100	Dowa Holdings Co Ltd^	35,383	0.02
9,800	East Japan Railway Co^	769,860	0.35
1,200	Eisai Co Ltd^	94,135	0.04
400	Fanuc Corp^	71,454	0.03
400	Fast Retailing Co Ltd^	225,092	0.10
1,800	Fuji Media Holdings Inc	18,106	0.01
6,400	Fujifilm Holdings Corp^	296,364	0.13
6,400	Hakuhodo DY Holdings Inc	79,669	0.04
1,300	Hitachi Transport System Ltd	35,810	0.02
1,700	Honda Motor Co Ltd^	43,999	0.02
400	Hoshizaki Corp^	32,353	0.01
34,100	Isuzu Motors Ltd^	320,029	0.15
1,500	Izumi Co Ltd	47,204	0.02
64,200	Japan Post Holdings Co Ltd^	467,989	0.21
81,500	JXTG Holdings Inc^	313,907	0.14
30,500	Kajima Corp^	346,497	0.16
4,000	Kansai Paint Co Ltd^	83,001	0.04
23,100	KDDI Corp^	673,468	0.31
900	Keyence Corp	371,078	0.17
700	Koito Manufacturing Co Ltd	29,708	0.01
8,600	Komatsu Ltd^	174,295	0.08
1,700	Kyocera Corp	92,155	0.04
1,700	Kyowa Exeo Corp^	39,100	0.02
20,500	Lintec Corp	488,844	0.22
57,900	Marubeni Corp^	281,681	0.13

公認の証券取引所に上場されているまたはその他の規制市場で取引されている譲渡可能な有価証券および短期金融商品(続き)

保有高	銘柄	時価 (米ドル)	純資産比率 (%)
	日本(続き)		
1,400	Maruha Nichiro Corp^	30,339	0.01
900	MEIJI Holdings Co Ltd	67,857	0.03
46,000	Mitsubishi Chemical Holdings Corp	271,257	0.12
1,000	Nintendo Co Ltd	404,778	0.18
700	Nippon Express Co Ltd^	36,053	0.02
500	Nippon Shinyaku Co Ltd^	43,137	0.02
5,400	Nippon Telegraph & Telephone Corp	122,694	0.06
700	Nippon Television Holdings Inc	8,096	0.00
400	Nitori Holdings Co Ltd	72,644	0.03
11,900	Nitto Denko Corp^	644,977	0.29
11,700	NTT DOCOMO Inc^	321,039	0.15
2,800	Odakyu Electric Railway Co Ltd^	69,997	0.03
900	Omron Corp	59,741	0.03
800	Oriental Land Co Ltd	116,134	0.05
1,400	ORIX Corp^	18,599	0.01
6,800	Pola Orbis Holdings Inc^	132,504	0.06
17,700	Recruit Holdings Co Ltd	610,487	0.28
28,500	Resona Holdings Inc^	102,750	0.05
2,700	Ryohin Keikaku Co Ltd	40,890	0.02
1,800	Secom Co Ltd^	156,196	0.07
5,600	Sekisui House Ltd	106,856	0.05
2,000	Shionogi & Co Ltd^	118,273	0.05
500	Shiseido Co Ltd^	30,540	0.01
5,200	Softbank Corp	66,036	0.03
10,000	SoftBank Group Corp^	449,217	0.20
600	Sohgo Security Services Co Ltd	29,564	0.01
9,500	Sony Corp^	607,103	0.28
2,200	Sumitomo Corp^	26,548	0.01
500	Sumitomo Heavy Industries Ltd^	11,435	0.01
43,700	Sumitomo Mitsui Financial Group Inc^	1,267,144	0.57
6,600	Sumitomo Mitsui Trust Holdings Inc^	194,567	0.09
2,300	Suntory Beverage & Food Ltd^	94,083	0.04
2,400	Systemex Corp	192,107	0.09
22,500	T&D Holdings Inc	203,528	0.09
7,800	Taisei Corp	271,203	0.12
500	Taisho Pharmaceutical Holdings Co Ltd^	31,795	0.01
14,900	Takeda Pharmaceutical Co Ltd^	580,541	0.26
16,700	Teijin Ltd	273,870	0.12
1,000	Tokyo Electron Ltd^	199,879	0.09
10,900	Tokyo Gas Co Ltd^	260,479	0.12
2,200	Tokyu Corp	34,933	0.02
17,500	Toray Industries Inc	85,234	0.04
3,100	Toyo Seikan Group Holdings Ltd	33,027	0.02
4,700	Toyota Tsusho Corp	119,286	0.05

公認の証券取引所に上場されているまたはその他の規制市場で取引されている譲渡可能な有価証券および短期金融商品(続き)

保有高	銘柄	時価 (米ドル)	純資産比率 (%)
	日本(続き)		
1,700	West Japan Railway Co	109,856	0.05
1,200	Yaskawa Electric Corp^	43,174	0.02
3,600	Yokogawa Electric Corp^	51,943	0.02
3,400	ZOZO Inc^	62,712	0.03
		17,933,509	8.13
	ジャージー		
3,844	Aptiv Plc	282,534	0.13
1,343	Experian Plc	47,023	0.02
5,715	Ferguson Plc	453,144	0.20
9,096	Janus Henderson Group Plc	197,292	0.09
11,368	WPP Plc	85,672	0.04
		1,065,665	0.48
	ルクセンブルグ		
537	RTL Group SA	18,200	0.01
		18,200	0.01
	オランダ		
13,813	ABN AMRO Bank NV - CVA	113,997	0.05
4,495	Akzo Nobel NV	368,868	0.17
171	Argenx SE	36,717	0.02
2,887	ASML Holding NV	945,564	0.43
18,948	ING Groep NV	123,697	0.05
4,542	Koninklijke DSM NV	584,845	0.26
34,257	Koninklijke KPN NV	84,222	0.04
1,326	Prosus NV	108,932	0.05
4,026	Randstad NV	171,413	0.08
7,364	Unilever NV	379,942	0.17
7,668	Wolters Kluwer NV	601,114	0.27
		3,519,311	1.59
	ニュージーランド		
2,916	Fisher & Paykel Healthcare Corp Ltd	54,232	0.02
107,650	Mercury NZ Ltd^	310,530	0.14
34,017	Meridian Energy Ltd	100,237	0.05
		464,999	0.21
	ノルウェー		
6,745	Aker BP ASA	108,868	0.05
30,223	Equinor ASA^	438,053	0.20
9,753	Leroy Seafood Group ASA	55,019	0.03
6,586	Schibsted ASA 'A'	164,077	0.07
2,552	Schibsted ASA 'B'	61,556	0.03
3,050	Telenor ASA	46,168	0.02
		873,741	0.40
	パプアニューギニア		
51,642	Oil Search Ltd^	119,276	0.05
		119,276	0.05

公認の証券取引所に上場されているまたはその他の規制市場で取引されている譲渡可能な有価証券および短期金融商品(続き)

保有高	銘柄	時価 (米ドル)	純資産比率 (%)
	ポルトガル		
55,649	Galp Energia SGPS SA	655,916	0.30
		655,916	0.30
	シンガポール		
2,300	City Developments Ltd	12,511	0.01
7,900	DBS Group Holdings Ltd	108,802	0.05
131,000	Singapore Telecommunications Ltd	230,735	0.10
16,400	United Overseas Bank Ltd	226,215	0.10
		578,263	0.26
	南アフリカ		
17,507	Investec Plc	31,709	0.01
		31,709	0.01
	スペイン		
1,085	Acciona SA	107,255	0.05
196,299	Banco Bilbao Vizcaya Argentaria SA	618,590	0.28
1,520	Grifols SA	47,342	0.02
6,978	Industria de Diseno Textil SA	194,445	0.09
8,824	Naturgy Energy Group SA	165,820	0.07
28,004	Repsol SA	261,506	0.12
		1,394,958	0.63
	スウェーデン		
7,920	Assa Abloy AB 'B'	160,635	0.07
2,401	Atlas Copco AB 'A'^	93,889	0.04
8,563	Atlas Copco AB 'B'	302,224	0.14
7,711	Axfood AB	171,371	0.08
21,244	Boliden AB	459,991	0.21
2,015	Castellum AB	37,212	0.02
17,638	Fabege AB	212,702	0.10
7,860	Hufvudstaden AB 'A'	99,652	0.04
527	L E Lundbergforetagen AB 'B'	25,990	0.01
8,043	Lundin Energy AB	193,134	0.09
3,433	Sandvik AB	56,877	0.02
338	Skanska AB 'B'	6,689	0.00
56,614	Telia Co AB	194,242	0.09
		2,014,608	0.91
	スイス		
893	Alcon Inc	57,704	0.03
40	Barry Callebaut AG RegS^	80,897	0.04
6,325	Coca-Cola HBC AG	160,843	0.07
4,722	Credit Suisse Group AG RegS	42,837	0.02
616	Geberit AG RegS^	300,454	0.14
244	Givaudan SA RegS	881,562	0.40
3,671	Kuehne + Nagel International AG RegS^	527,287	0.24
29,086	Nestle SA RegS	3,124,208	1.42
3,078	Roche Holding AG	1,078,674	0.49

公認の証券取引所に上場されているまたはその他の規制市場で取引されている譲渡可能な有価証券および短期金融商品(続き)

保有高	銘柄	時価 (米ドル)	純資産比率 (%)
	スイス(続き)		
1,968	Sika AG RegS^	340,804	0.15
26	Sonova Holding AG RegS	5,698	0.00
4,627	Swiss Re AG^	313,206	0.14
330	TE Connectivity Ltd	26,657	0.01
		6,940,831	3.15
	英国		
1	Associated British Foods Plc	23	0.00
8,569	AstraZeneca Plc^	934,703	0.42
305	Atlassian Corp Plc 'A'	55,443	0.03
26,698	Auto Trader Group Plc^	184,915	0.08
23,460	Aviva Plc^	72,523	0.03
19,166	Barratt Developments Plc	119,018	0.05
253,915	BP Plc	953,023	0.43
25,129	British Land Co Plc (REIT)	127,060	0.06
307,351	Centrica Plc	137,982	0.06
7,924	Coca-Cola European Partners Plc^	304,598	0.14
20,943	Compass Group Plc	311,021	0.14
4,926	Croda International Plc^	315,711	0.14
11,196	Diageo Plc	390,423	0.18
1,536	Dialog Semiconductor Plc	60,735	0.03
3,687	easyJet Plc	31,504	0.01
45,102	GlaxoSmithKline Plc	927,570	0.42
2,358	Great Portland Estates Plc (REIT)	18,970	0.01
10,637	HomeServe Plc	171,879	0.08
17,601	Howden Joinery Group Plc	129,429	0.06
32,481	HSBC Holdings Plc^	149,712	0.07
44,895	Informa Plc	256,722	0.12
54,128	J Sainsbury Plc	129,156	0.06
10,035	John Wood Group Plc	23,901	0.01
10,194	Johnson Matthey Plc^	268,798	0.12
2,353	Land Securities Group Plc (REIT)	17,605	0.01
1,485	Liberty Global Plc 'A'	31,660	0.01
475,944	Lloyds Banking Group Plc	177,696	0.08
33,270	Marks & Spencer Group Plc	40,096	0.02
8,518	Moneysupermarket.com Group Plc	36,063	0.02
35,412	National Grid Plc^	405,604	0.18
8,986	Rentokil Initial Plc	55,801	0.03
1,595	Rightmove Plc	11,551	0.01
38,612	Royal Bank of Scotland Group Plc	53,148	0.02
1,906	RSA Insurance Group Plc	9,359	0.00
2,724	Segro Plc (REIT)	28,421	0.01
20,505	SSE Plc	315,419	0.14
3,905	Standard Chartered Plc	18,091	0.01
27,303	Standard Life Aberdeen Plc	87,168	0.04

公認の証券取引所に上場されているまたはその他の規制市場で取引されている譲渡可能な有価証券および短期金融商品(続き)

保有高	銘柄	時価 (米ドル)	純資産比率 (%)
	英国(続き)		
69,157	Taylor Wimpey Plc	124,147	0.06
12,287	TechnipFMC Plc	89,941	0.04
7,317	Unilever Plc	392,380	0.18
1,263	United Utilities Group Plc	14,245	0.01
351,913	Vodafone Group Plc	583,534	0.26
8,848	Wm Morrison Supermarkets Plc	20,550	0.01
		8,587,298	3.89
	米国		
1,922	3M Co	297,314	0.13
5,635	Abbott Laboratories	522,590	0.24
12,254	AbbVie Inc	1,114,011	0.51
4,951	Adobe Inc	1,894,797	0.86
6,808	Advanced Micro Devices Inc	359,939	0.16
8,936	Aflac Inc	320,534	0.15
2,313	Agilent Technologies Inc	201,069	0.09
885	Alaska Air Group Inc	29,763	0.01
930	Alexion Pharmaceuticals Inc	108,103	0.05
236	Align Technology Inc	58,825	0.03
17,871	Ally Financial Inc	315,870	0.14
442	Alnylam Pharmaceuticals Inc	58,768	0.03
1,976	Alphabet Inc 'A'	2,824,890	1.28
1,213	Alphabet Inc 'C'	1,732,661	0.79
2,495	Amazon.com Inc	6,015,794	2.73
498	AMERCO	160,301	0.07
14,723	American Express Co	1,416,500	0.64
4,681	American International Group Inc	142,443	0.06
247	American Tower Corp (REIT)	63,788	0.03
181	Ameriprise Financial Inc	25,400	0.01
3,105	Amgen Inc	696,265	0.32
884	ANSYS Inc	245,832	0.11
1,518	Anthem Inc	437,063	0.20
26,971	Apple Inc	8,586,218	3.89
15,525	Applied Materials Inc	867,226	0.39
2,415	AptarGroup Inc	267,051	0.12
1,396	Arista Networks Inc	316,892	0.14
28,827	AT&T Inc	878,070	0.40
535	Atmos Energy Corp	54,656	0.02
2,724	Autodesk Inc	551,964	0.25
1,362	Automatic Data Processing Inc	195,719	0.09
32,453	Avangrid Inc	1,429,230	0.65
16,290	Avnet Inc	441,948	0.20
13,357	Baker Hughes Co	216,784	0.10
5,808	Ball Corp	408,302	0.19
11,309	Bank of America Corp	276,279	0.13

公認の証券取引所に上場されているまたはその他の規制市場で取引されている譲渡可能な有価証券および短期金融商品(続き)

保有高	銘柄	時価 (米ドル)	純資産比率 (%)
	米国(続き)		
7,042	Bank of New York Mellon Corp	261,188	0.12
5,092	Berkshire Hathaway Inc 'B'	934,076	0.42
6,103	Best Buy Co Inc	465,415	0.21
858	Biogen Inc	257,880	0.12
692	BioMarin Pharmaceutical Inc	73,193	0.03
1,661	Booz Allen Hamilton Holding Corp	128,894	0.06
2,837	BorgWarner Inc	89,025	0.04
1,824	Boston Properties Inc (REIT)	154,712	0.07
3,067	Boston Scientific Corp	114,890	0.05
12,152	Bristol-Myers Squibb Co	731,793	0.33
1,316	Bristol-Myers Squibb Co (Right)	3,974	0.00
1,564	Brown-Forman Corp 'B'	102,989	0.05
5,703	Cadence Design Systems Inc	507,453	0.23
1,280	Capital One Financial Corp	85,862	0.04
9,025	CBRE Group Inc 'A'	392,407	0.18
2,892	Centene Corp	191,537	0.09
3,262	Cerner Corp	229,775	0.10
1,324	CH Robinson Worldwide Inc	107,932	0.05
5,010	Charles Schwab Corp	179,308	0.08
5,669	Chevron Corp	509,586	0.23
282	Chipotle Mexican Grill Inc^	280,849	0.13
1,724	Cigna Corp^	340,887	0.15
1,485	Cirrus Logic Inc	107,633	0.05
35,006	Cisco Systems Inc	1,604,325	0.73
13,279	Citigroup Inc	641,907	0.29
3,471	Citizens Financial Group Inc	82,783	0.04
1,955	CME Group Inc	352,447	0.16
28,720	Coca-Cola Co	1,338,639	0.61
6,335	Colgate-Palmolive Co	457,134	0.21
942	Columbia Sportswear Co	68,625	0.03
24,551	Comcast Corp 'A'	961,908	0.44
3,905	Comerica Inc	143,196	0.07
6,426	Consolidated Edison Inc	470,705	0.21
2,148	Copart Inc	190,764	0.09
138	CoreSite Realty Corp	17,188	0.01
156	CoStar Group Inc	101,651	0.05
6,066	Costco Wholesale Corp	1,851,222	0.84
771	Crown Castle International Corp (REIT)	130,006	0.06
2,378	Cummins Inc	401,383	0.18
9,104	CVS Health Corp	599,589	0.27
6,376	Danaher Corp	1,055,228	0.48
3,076	Darden Restaurants Inc	240,482	0.11
390	Deckers Outdoor Corp	72,131	0.03
1,121	Deere & Co	167,018	0.08

公認の証券取引所に上場されているまたはその他の規制市場で取引されている譲渡可能な有価証券および短期金融商品(続き)

保有高	銘柄	時価 (米ドル)	純資産比率 (%)
	米国(続き)		
1,095	Dell Technologies Inc 'C'	53,869	0.02
3,724	Delta Air Lines Inc	92,690	0.04
10,517	Discover Financial Services	513,124	0.23
2,693	Dolby Laboratories Inc	162,765	0.07
563	Dollar General Corp	107,342	0.05
752	Domino's Pizza Inc	280,707	0.13
1,394	Duke Realty Corp (REIT)	48,372	0.02
380	Dunkin' Brands Group Inc	24,670	0.01
9,425	eBay Inc	418,753	0.19
3,950	Ecolab Inc	824,444	0.37
2,777	Edison International	160,455	0.07
4,612	Edwards Lifesciences Corp	1,029,721	0.47
1,812	Electronic Arts Inc	219,234	0.10
3,661	EMCOR Group Inc	235,219	0.11
5,663	EOG Resources Inc	284,226	0.13
8,388	Equity Residential (REIT)	501,854	0.23
951	Essential Utilities Inc	41,017	0.02
587	Estee Lauder Cos Inc 'A'	113,872	0.05
1,339	Etsy Inc	108,151	0.05
7,585	Eversource Energy	620,074	0.28
658	Exact Sciences Corp	54,969	0.03
22,933	Exelon Corp	867,097	0.39
11,463	Expeditors International of Washington Inc	861,444	0.39
26,008	Exxon Mobil Corp	1,159,957	0.53
13,487	Facebook Inc 'A'	3,054,805	1.38
174	FactSet Research Systems Inc^	52,980	0.02
910	Fastenal Co	36,800	0.02
12,154	First Horizon National Corp^	114,491	0.05
2,536	Fiserv Inc	269,247	0.12
787	FLIR Systems Inc	34,888	0.02
25,955	Ford Motor Co	147,684	0.07
577	Fortinet Inc	79,211	0.04
445	Fortive Corp	27,016	0.01
1,139	Fortune Brands Home & Security Inc	69,001	0.03
1,908	Fox Corp 'A'	54,397	0.02
931	Fox Corp 'B'	26,319	0.01
11,277	Franklin Resources Inc	210,993	0.10
757	frontdoor Inc	34,179	0.02
1,446	General Mills Inc	90,332	0.04
10,063	Gilead Sciences Inc	756,335	0.34
731	Graco Inc	35,315	0.02
858	Grubhub Inc	46,761	0.02
3,769	H&R Block Inc	63,809	0.03
986	Hasbro Inc	72,461	0.03

公認の証券取引所に上場されているまたはその他の規制市場で取引されている譲渡可能な有価証券および短期金融商品(続き)

保有高	銘柄	時価 (米ドル)	純資産比率 (%)
	米国(続き)		
847	HCA Healthcare Inc	89,960	0.04
2,776	Healthpeak Properties Inc (REIT)	68,262	0.03
6,140	Henry Schein Inc	373,619	0.17
28,173	Hewlett Packard Enterprise Co	266,094	0.12
11,451	Home Depot Inc	2,814,312	1.28
726	Howard Hughes Corp	36,801	0.02
7,855	HP Inc	117,197	0.05
832	HubSpot Inc	160,252	0.07
785	Humana Inc	317,289	0.14
1,656	IAA Inc	67,051	0.03
1,538	Illinois Tool Works Inc	263,936	0.12
1,159	Illumina Inc	430,916	0.20
688	Incyte Corp	69,185	0.03
21,407	Intel Corp	1,341,363	0.61
2,962	Intercontinental Exchange Inc	281,686	0.13
391	International Flavors & Fragrances Inc	51,776	0.02
5,026	Intuit Inc	1,433,868	0.65
856	Intuitive Surgical Inc	492,191	0.22
1,756	ITT Inc	100,004	0.05
4,579	JetBlue Airways Corp	45,790	0.02
11,689	Johnson & Johnson	1,723,543	0.78
522	Jones Lang LaSalle Inc	52,863	0.02
13,975	JPMorgan Chase & Co	1,374,609	0.62
13,926	KeyCorp	163,839	0.07
2,735	Keysight Technologies Inc	291,250	0.13
5,673	Kohl 's Corp	108,922	0.05
5,501	Kraft Heinz Co	165,085	0.08
1,894	Lam Research Corp	516,039	0.23
549	Lamb Weston Holdings Inc	31,858	0.01
2,839	Landstar System Inc	328,472	0.15
2,141	Lennox International Inc	451,216	0.20
4,461	Lowe 's Cos Inc	575,246	0.26
1,850	Lululemon Athletica Inc^	534,891	0.24
380	Lyft Inc ' A '	11,943	0.01
1,183	ManpowerGroup Inc	84,277	0.04
201	MarketAxess Holdings Inc	99,133	0.05
875	Marsh & McLennan Cos Inc	92,523	0.04
8,959	Masco Corp	411,308	0.19
5,810	Mastercard Inc ' A '	1,755,027	0.80
3,339	Maxim Integrated Products Inc	189,822	0.09
5,890	McDonald 's Corp	1,107,025	0.50
1,576	McKesson Corp	245,888	0.11
211	MercadoLibre Inc	177,795	0.08
13,500	Merck & Co Inc	1,070,820	0.49

公認の証券取引所に上場されているまたはその他の規制市場で取引されている譲渡可能な有価証券および短期金融商品(続き)

保有高	銘柄	時価 (米ドル)	純資産比率 (%)
	米国(続き)		
25,467	MetLife Inc	908,663	0.41
365	Mettler-Toledo International Inc	289,514	0.13
4,779	MGIC Investment Corp	39,713	0.02
2,634	MGM Resorts International	45,068	0.02
40,611	Microsoft Corp	7,432,219	3.37
463	Middleby Corp	31,132	0.01
3,519	Moderna Inc	201,850	0.09
13,683	Mondelez International Inc 'A'	703,854	0.32
11,465	Morgan Stanley	505,607	0.23
448	MSA Safety Inc	53,742	0.02
5,419	National Instruments Corp	208,577	0.09
1,841	Netflix Inc	767,900	0.35
396	Neurocrine Biosciences Inc	47,936	0.02
950	New Jersey Resources Corp	32,889	0.02
1,576	New Relic Inc	102,708	0.05
1,162	New York Times Co 'A'	45,585	0.02
1,708	NextEra Energy Inc^	431,987	0.20
13,357	NIKE Inc 'B'	1,312,459	0.59
2,308	Northern Trust Corp	182,494	0.08
6,932	Novavax Inc	311,940	0.14
4,349	NVIDIA Corp	1,501,927	0.68
210	Okta Inc	40,318	0.02
957	Old Dominion Freight Line Inc	160,508	0.07
364	ONE Gas Inc	30,099	0.01
1,024	ONEOK Inc	37,509	0.02
1,267	Oshkosh Corp	90,033	0.04
853	Otis Worldwide Corp	42,914	0.02
231	Paycom Software Inc	67,498	0.03
11,597	PayPal Holdings Inc	1,737,810	0.79
8,659	PepsiCo Inc	1,137,013	0.52
10,689	Pfizer Inc	407,144	0.18
3,077	Phillips 66	240,283	0.11
3,059	Pinterest Inc 'A'	61,333	0.03
105	PPG Industries Inc	10,643	0.01
497	PRA Health Sciences Inc	50,575	0.02
3,277	Principal Financial Group Inc	127,049	0.06
13,418	Procter & Gamble Co	1,557,025	0.71
477	Progressive Corp	36,672	0.02
7,382	Prologis Inc (REIT)	680,842	0.31
23,288	Prudential Financial Inc	1,403,102	0.64
1,012	Public Service Enterprise Group Inc	51,167	0.02
5,941	PVH Corp	279,286	0.13
2,639	QTS Realty Trust Inc 'A' (REIT)	176,866	0.08
1,964	Qualcomm Inc	154,606	0.07

公認の証券取引所に上場されているまたはその他の規制市場で取引されている譲渡可能な有価証券および短期金融商品(続き)

保有高	銘柄	時価 (米ドル)	純資産比率 (%)
	米国(続き)		
2,909	Regency Centers Corp (REIT)^	126,134	0.06
847	Regeneron Pharmaceuticals Inc	488,583	0.22
5,455	Reliance Steel & Aluminum Co	519,862	0.24
1,492	ResMed Inc	238,168	0.11
197	RingCentral Inc 'A'	52,863	0.02
15,477	Robert Half International Inc	785,922	0.36
1,867	Rockwell Automation Inc^	398,586	0.18
259	Roku Inc	28,586	0.01
1,706	Roper Technologies Inc	657,578	0.30
698	Ross Stores Inc	68,348	0.03
2,484	S&P Global Inc	800,842	0.36
9,254	salesforce.com Inc	1,597,240	0.72
341	Sarepta Therapeutics Inc	52,330	0.02
1,563	SBA Communications Corp (REIT)^	487,625	0.22
468	Seattle Genetics Inc	72,119	0.03
1,625	ServiceNow Inc	625,121	0.28
639	Sherwin-Williams Co	376,614	0.17
1,999	Silicon Laboratories Inc	182,309	0.08
143	Simon Property Group Inc (REIT)	8,162	0.00
153,957	Sirius XM Holdings Inc	876,015	0.40
228	Splunk Inc^	41,599	0.02
10,477	Starbucks Corp	819,616	0.37
759	State Street Corp	46,792	0.02
6,044	Steel Dynamics Inc	157,869	0.07
1,596	Stryker Corp	310,151	0.14
453	SVB Financial Group	96,888	0.04
6,896	Synchrony Financial	141,713	0.06
433	SYNNEX Corp	46,431	0.02
2,630	Synovus Financial Corp	50,233	0.02
1,598	Sysco Corp	88,258	0.04
3,417	T Rowe Price Group Inc	410,211	0.19
1,053	Target Corp	126,107	0.06
84	Teledyne Technologies Inc	30,664	0.01
234	Telephone and Data Systems Inc	4,673	0.00
534	Tesla Inc	432,273	0.20
450	Tetra Tech Inc	34,758	0.02
5,486	Texas Instruments Inc	644,331	0.29
2,201	Thermo Fisher Scientific Inc	760,952	0.35
549	Tiffany & Co	70,080	0.03
6,085	TJX Cos Inc^	326,460	0.15
3,193	Toro Co	225,107	0.10
4,612	Travelers Cos Inc	490,532	0.22
1,786	Trimble Inc	70,083	0.03
1,909	TriNet Group Inc	102,055	0.05

公認の証券取引所に上場されているまたはその他の規制市場で取引されている譲渡可能な有価証券および短期金融商品(続き)

保有高	銘柄	時価 (米ドル)	純資産比率 (%)
	米国(続き)		
334	Twilio Inc 'A'	65,250	0.03
7,875	Twitter Inc	241,290	0.11
2,191	Uber Technologies Inc	76,641	0.03
1,031	UDR Inc (REIT)	38,807	0.02
17,252	UGI Corp	538,952	0.24
2,545	United Parcel Service Inc 'B'	251,866	0.11
5,558	UnitedHealth Group Inc	1,687,742	0.76
2,489	Valero Energy Corp	165,519	0.08
6,625	Valvoline Inc	120,376	0.05
5,101	Varian Medical Systems Inc	626,301	0.28
947	Veeva Systems Inc 'A'	200,130	0.09
891	Ventas Inc (REIT)	31,292	0.01
642	VeriSign Inc	137,895	0.06
177	Verisk Analytics Inc	30,253	0.01
16,148	Verizon Communications Inc	893,953	0.41
1,306	Vertex Pharmaceuticals Inc	368,174	0.17
3,902	VF Corp	222,258	0.10
1,972	ViacomCBS Inc 'B'	40,603	0.02
10,725	Visa Inc 'A'^	2,080,864	0.94
3,002	VMware Inc 'A'	463,869	0.21
1,656	Walgreens Boots Alliance Inc	68,707	0.03
6,101	Walt Disney Co	707,899	0.32
3,370	Waters Corp	672,821	0.31
550	Wayfair Inc 'A'	96,437	0.04
1,445	Welltower Inc (REIT)	71,513	0.03
463	Wingstop Inc	55,731	0.03
265	Woodward Inc	18,004	0.01
3,068	Workday Inc 'A'	556,382	0.25
2,462	WW Grainger Inc	760,290	0.34
2,741	Xerox Holdings Corp	44,240	0.02
2,666	Xilinx Inc	240,393	0.11
9,121	Xylem Inc	605,087	0.27
5,257	Yum! Brands Inc	473,761	0.21
62	Zendesk Inc	5,220	0.00
3,713	Zions Bancorp NA	123,457	0.06
5,513	Zoetis Inc	760,629	0.34
		136,429,952	61.82
	普通株式/優先株式およびライツ合計	217,635,551	98.61
	公認の証券取引所に上場されているまたはその他の規制市場で取引されている 譲渡可能な有価証券および短期金融商品合計	217,635,551	98.61
	投資有価証券(時価)合計	217,635,551	98.61
	その他の純資産	3,061,735	1.39
	純資産合計(米ドル)	220,697,286	100.00

^ 当証券のすべてまたは一部は貸付有価証券を表す。

添付の注記は、これらの財務書類の不可分の一部である。

## 先物取引 2020年5月31日現在

契約数	契約通貨	契約 / 摘要	満期日	基礎となるエクスポージャー総額 (米ドル)	未実現純評価益 (米ドル)
11	USD	E-Mini S&P 500 Index Futures June 2020	2020年6月	1,662,265	88,228
9	USD	MSCI EAFE Index Futures June 2020	2020年6月	776,700	48,756
合計				2,438,965	136,984

## 未決済先渡為替予約 2020年5月31日現在

通貨	買予約	通貨	売予約	取引相手	期日	未実現純評価益 / (損) (米ドル)
ヘッジを使用したユーロ建投資証券クラス						
EUR	6,381	USD	6,923	State Street Bank & Trust Company	15/6/2020	173
USD	400	EUR	371	State Street Bank & Trust Company	15/6/2020	(12)
						161
ヘッジを使用した日本円建投資証券クラス						
JPY	225,540,944	USD	2,099,805	State Street Bank & Trust Company	15/6/2020	(2,674)
USD	131,569	JPY	14,095,235	State Street Bank & Trust Company	15/6/2020	508
						(2,166)
合計（基礎となるエクスポージャー総額 - 2,235,699米ドル）						(2,005)

## 業種別内訳 2020年5月31日現在

	純資産比率 (%)
消費財、非循環型	22.66
技術	16.45
金融	15.76
通信	12.82
消費財、循環型	10.81
資本財	8.50
素材	4.13
電気・ガス・水道	3.91
エネルギー	3.57
投資有価証券 - 時価	98.61
その他の純資産	1.39
	100.00

添付の注記は、これらの財務書類の不可分の一部である。

## ブラックロック・ICS・USTレジャーリー・ファンド

## 要約損益計算書

2020年3月31日に終了した会計期間

	2020年3月31日に 終了した会計期間	2019年3月31日に 終了した会計期間
	千米ドル	千米ドル
営業収益	114,639	136,200
金融商品に係る純利益	111	149
投資収益合計	114,750	136,349
営業費用	(11,511)	(9,731)
純営業利益 / (費用)	103,239	126,618
財務費用：		
償還可能投資証券保有者への分配金	(99,813)	(120,083)
財務費用合計	(99,813)	(120,083)
純利益	3,426	6,535
償還可能投資証券保有者に帰属する純資産の増加	3,426	6,535

本要約損益計算書に計上された損益以外で当会計期間に認識された損益はない。

添付の注記は、これらの財務書類の不可分の一部である。

## ブラックロック・ICS・USTレジャーリー・ファンド

## 償還可能投資証券保有者に帰属する要約純資産変動計算書

2020年3月31日に終了した会計期間

	2020年3月31日に 終了した会計期間	2019年3月31日に 終了した会計期間
	千米ドル	千米ドル
期首純資産	14,146,140	11,308,849
償還可能投資証券保有者に帰属する純資産の増加	3,426	6,535
投資証券取引：		
償還可能投資証券の発行	69,747,935	30,997,407
償還可能投資証券の買戻	(60,032,664)	(32,071,854)
分配金再投資額	50,078	37,689
投資証券取引による純資産の増加 / (減少)	9,765,349	(1,036,758)
期末純資産	23,914,915	10,278,626

添付の注記は、これらの財務書類の不可分の一部である。

ブラックロック・ICS・USTレジャー・ファンド  
要約貸借対照表  
2020年3月31日現在

	2020年3月31日現在	2019年9月30日現在
	千米ドル	千米ドル
流動資産		
現金	348,307	377,875
未収金	18,806	11,789
損益を通じて公正価値で測定する金融資産	24,972,917	13,842,168
流動資産合計	25,340,030	14,231,832
流動負債		
未払金	1,425,115	85,692
流動負債合計	1,425,115	85,692
償還可能投資証券保有者に帰属する純資産	23,914,915	14,146,140

添付の注記は、これらの財務書類の不可分の一部である。

## ブラックロック・ICS・USTレジャリー・ファンド

投資有価証券明細表 2020年3月31日現在

保有高	通貨	銘柄	公正価値 (千円ドル)	純資産比率 (%)
債券				
国債(2019年9月30日:38.78%)				
米国(2019年9月30日:38.78%)				
50,115,000	USD	US Treasury, 2.38%, 30/04/2020	50,135	0.21
45,810,000	USD	US Treasury, 1.50%, 15/05/2020	45,781	0.19
116,005,000	USD	US Treasury, 3.50%, 15/05/2020	116,230	0.49
68,695,000	USD	US Treasury, 1.38%, 01/06/2020	68,668	0.29
53,500,000	USD	US Treasury, 1.50%, 01/06/2020	53,479	0.22
3,030,000	USD	US Treasury, 1.63%, 30/06/2020	3,028	0.01
43,015,000	USD	US Treasury, 2.63%, 15/08/2020	43,177	0.18
11,315,000	USD	US Treasury, 1.38%, 31/08/2020	11,303	0.05
19,325,000	USD	US Treasury, 2.13%, 31/08/2020	19,365	0.08
8,080,000	USD	US Treasury, 2.63%, 31/08/2020	8,113	0.03
54,640,000	USD	US Treasury, 1.38%, 15/09/2020	54,739	0.23
36,370,000	USD	US Treasury, 1.38%, 30/09/2020	36,326	0.15
14,940,000	USD	US Treasury, 2.75%, 30/09/2020	15,023	0.06
13,405,000	USD	US Treasury, 1.75%, 16/11/2020	13,416	0.06
25,685,000	USD	US Treasury, 2.63%, 16/11/2020	25,841	0.11
114,510,000	USD	US Treasury, 1.63%, 30/11/2020	114,512	0.48
89,655,000	USD	US Treasury, 2.00%, 30/11/2020	89,880	0.38
150,255,000	USD	US Treasury, 2.75%, 30/11/2020	152,147	0.64
23,160,000	USD	US Treasury, 1.75%, 31/12/2020	23,176	0.10
18,070,000	USD	US Treasury, 2.38%, 31/12/2020	18,237	0.08
233,630,000	USD	US Treasury, 2.50%, 31/12/2020	235,132	0.98
26,590,000	USD	US Treasury, 3.63%, 15/02/2021	27,295	0.11
110,000,000	USD	US Treasury, 2.50%, 28/02/2021	111,745	0.47
38,300,000	USD	US Treasury, 2.25%, 31/03/2021	38,963	0.16
467,075,000	USD	US Treasury, FRN, 0.12%, 30/04/2020	467,033	1.95
943,610,000	USD	US Treasury, FRN, 0.13%, 31/07/2020	943,261	3.94
2,171,000,000	USD	US Treasury, FRN, 0.13%, 31/10/2020	2,169,340	9.07
2,030,000,000	USD	US Treasury, FRN, 0.20%, 01/02/2021	2,029,906	8.49
79,410,000	USD	US Treasury Bill, 0.00%, 07/04/2020	79,402	0.33
208,605,000	USD	US Treasury Bill, 0.00%, 09/04/2020	208,529	0.87
62,515,000	USD	US Treasury Bill, 0.00%, 16/04/2020	62,473	0.26
500,000,000	USD	US Treasury Bill, 0.00%, 21/04/2020	499,735	2.09
825,400,000	USD	US Treasury Bill, 0.00%, 23/04/2020	824,519	3.45
150,000,000	USD	US Treasury Bill, 0.00%, 30/04/2020	149,805	0.63
6,120,000	USD	US Treasury Bill, 0.00%, 05/05/2020	6,116	0.03
98,895,000	USD	US Treasury Bill, 0.00%, 07/05/2020	98,743	0.41
692,140,000	USD	US Treasury Bill, 0.00%, 14/05/2020	691,491	2.89
97,860,000	USD	US Treasury Bill, 0.00%, 09/06/2020	97,847	0.41
950,000,000	USD	US Treasury Bill, 0.00%, 02/07/2020	949,800	3.97
250,000,000	USD	US Treasury Bill, 0.00%, 30/07/2020	248,725	1.04
24,710,000	USD	US Treasury Bill, 0.00%, 20/08/2020	24,564	0.10

保有高	通貨	銘柄	公正価値 (千米ドル)	純資産比率 (%)
		米国(2019年9月30日:38.78%)(続き)		
48,175,000	USD	US Treasury Bill, 0.00%, 03/09/2020	48,006	0.20
28,330,000	USD	US Treasury Bill, 0.00%, 10/09/2020	28,108	0.12
140,000,000	USD	US Treasury Bill, 0.00%, 17/09/2020	139,803	0.58
		米国合計	11,142,917	46.59
		国債に対する投資合計	11,142,917	46.59
		債券に対する投資合計	11,142,917	46.59

保有高	通貨	取引相手	金利	期日	公正価値 (千米ドル)	純資産比率 (%)
		リバースレポ取引 <sup>1</sup> (2019年9月30日:59.07%)				
		フランス(2019年9月30日:0.78%)				
110,000,000	USD	Natixis	0.01%	31/12/2020	110,000	0.46
		フランス合計			110,000	0.46
		米国(2019年9月30日:58.29%)				
553,000,000	USD	Bank of Nova Scotia	0.01%	01/04/2020	553,000	2.31
2,900,000,000	USD	Barclays	0.01%	01/04/2020	2,900,000	12.13
2,700,000,000	USD	BNP Paribas	0.01%	01/04/2020	2,700,000	11.29
683,000,000	USD	BofA Securities	0.01%	01/04/2020	683,000	2.85
100,000,000	USD	BofA Securities	0.01%	01/04/2020	100,000	0.42
200,000,000	USD	Citigroup	0.02%	01/04/2020	200,000	0.84
60,000,000	USD	Citigroup	0.01%	01/04/2020	60,000	0.25
2,900,000,000	USD	Credit Suisse	0.01%	01/04/2020	2,900,000	12.13
521,000,000	USD	HSBC	0.01%	01/04/2020	521,000	2.18
2,141,000,000	USD	Societe Generale	0.01%	01/04/2020	2,141,000	8.95
624,000,000	USD	TD Securities (USA)	0.01%	01/04/2020	624,000	2.61
338,000,000	USD	Wells Fargo	0.01%	01/04/2020	338,000	1.41
		米国合計			13,720,000	57.37
		リバースレポ取引に対する投資合計			13,830,000	57.83
		損益を通じて公正価値で測定する金融資産合計			24,972,917	104.42
		現金			348,307	1.46
		その他の資産および負債			(1,406,309)	(5.88)
		償還可能参加型投資証券保有者に帰属する純資産			23,914,915	100.00

資産合計額の内訳	資産合計に 対する割合 (%)
公認の証券取引所に上場されている譲渡可能な有価証券合計	27.56
その他の規制市場で取引されている譲渡可能な有価証券	70.99
その他の資産	1.45
資産合計	100.00

<sup>1</sup> 担保として保有する有価証券は13,965,828,000米ドルであった。

## 2【ファンドの現況】

【純資産額計算書】(2020年9月末現在)

「ブラックロックESG世界株式ファンド(限定為替ヘッジあり)」

資産総額	398,115,661円
負債総額	14,385,485円
純資産総額( - )	383,730,176円
発行済数量	255,318,151口
1単位当たり純資産額( / )	1.5029円

「ブラックロックESG世界株式ファンド(為替ヘッジなし)」

資産総額	1,384,622,408円
負債総額	14,959,550円
純資産総額( - )	1,369,662,858円
発行済数量	956,361,184口
1単位当たり純資産額( / )	1.4322円

## 第4【内国投資信託受益証券事務の概要】

1 受益証券の名義書換え等  
該当事項はありません。

2 受益者名簿の閉鎖の時期  
受益者名簿は作成していません。

3 投資者に対する特典  
該当事項はありません。

4 内国投資信託受益証券の譲渡制限の内容  
ファンド受益証券の譲渡制限は設けておりません。

5 受益証券の再発行  
投資者は、委託会社がやむを得ない事情等により受益証券を発行する場合を除き、無記名式受益証券から記名式受益証券への変更の請求、記名式受益証券から無記名式受益証券への変更の請求、受益証券の再発行の請求を行なわないものとします。

6 受益権の譲渡  
投資者は、その保有する受益権を譲渡する場合には、当該投資者の譲渡の対象とする受益権が記載または記録されている振替口座簿に係る振替機関等に振替の申請をするものとします。

の申請のある場合には、の振替機関等は、当該譲渡に係る譲渡人の保有する受益権の口数の減少および譲受人の保有する受益権の口数の増加につき、その備える振替口座簿に記載または記録するものとします。ただし、の振替機関等が振替先口座を開設したものでない場合には、譲受人の振替先口座を開設した他の振替機関等（当該他の振替機関等の上位機関を含みます。）に社振法の規定にしたがい、譲受人の振替先口座に受益権の口数の増加の記載または記録が行なわれるよう通知するものとします。

の振替について、委託会社は、当該投資者の譲渡の対象とする受益権が記載または記録されている振替口座簿に係る振替機関等と譲受人の振替先口座を開設した振替機関等が異なる場合等において、委託会社が必要と認めるときまたはやむをえない事情があると判断したときは、振替停止日や振替停止期間を設けることができます。

7 受益権の譲渡の対抗要件  
受益権の譲渡は、振替口座簿への記載または記録によらなければ、委託会社および受託会社に対抗することができません。

8 受益権の再分割  
委託会社は、受益権の再分割を行いません。ただし、受託会社と協議のうえ、社振法に定めるところにしたがい、一定日現在の受益権を均等に再分割できるものとします。

9 償還金  
償還金は、償還日において振替機関等の振替口座簿に記載または記録されている投資者（償還日以前において換金が行なわれた受益権にかかる投資者を除きます。また、当該償還日以前に設定された受益権で購入代金支払前のため販売会社の名義で記載または記録されている受益権については原則として投資者とします。）に支払います。なお、当該投資者は、その口座が開設されている振替機関等に対して委託会社がこの信託の償還をするのと引き換えに、当該償還に係る受益権の口数と同口数の抹消の申請を行なうものとし、社振法の規定にしたがい当該振替機関等の口座において当該口数の減少の記載または記録が行なわれます。また、受益証券を保有している投資者に対しては、償還金は、信託終了日後1ヵ月以内の委託会社の指定する日から受益証券と引き換えに当該投資者に支払います。

10 質権口記載または記録の受益権の取り扱いについて

振替機関等の振替口座簿の質権口に記載または記録されている受益権にかかる収益分配金の支払い、換金の申込の受付け、換金代金および償還金の支払い等については、約款の規定によるほか、民法その他の法令等にしたがって取り扱われます。

## 第三部【委託会社等の情報】

### 第1【委託会社等の概況】

#### 1【委託会社等の概況】

##### (1) 資本金の額等

資本金 3,120百万円

発行する株式の総数 36,000株

発行済株式の総数 15,000株

直近5ヵ年における主な資本金の額の増減

2017年12月7日付で、資本金を2,435百万円から3,120百万円に増額しました。

##### (2) 委託会社の機構

経営の意思決定機構

###### < 株主総会 >

株主により構成される会社における最高の意思決定機関として、取締役の選任、利益処分承認、定款の変更等、会社法および定款の定めにしたがって重要事項の決定を行いません。

###### < 取締役会 >

取締役により構成され、当社の業務執行を決定し、その執行について監督します。

###### < エグゼクティブ委員会他各委員会 >

当社における適切な経営戦略の構築、業務執行体制の構築および業務運営の推進を目的として、エグゼクティブ委員会を設置します。また、その他各種委員会を設置し、業務の能率的運営および責任体制の確立を図っています。

運用の意思決定機構

###### 投資委員会

- ・投資委員会にて運用にかかる投資方針、パフォーマンスおよびリスク管理に関する重要事項を審議します。

###### 運用担当部署

- ・各運用担当部署では、投資委員会の決定にしたがい、ファンドの個別の運用計画を策定し、各部署の投資プロセスを通して運用を行いません。

###### ポートフォリオ・マネジャー

- ・ポートフォリオ・マネジャーは、策定された運用計画に基づき、個別銘柄を選択し売買に関する指図を行いません。

###### リスク管理

- ・委託会社ではリスク管理を重視しており、独自開発のシステムを用いてリスク管理を行なっております。具体的には、運用担当部門とは異なる部門においてファンドの投資リスクの計測・分析、投資制限のモニタリングなどを行なうことにより、ファンドの投資リスクが運用方針に合致していることを確認し、その結果を運用担当部門にフィードバックするほか、社内関係者で共有しております。また、委託会社の業務に関するリスクについて社内規程を定めて管理を行なっております。

## 2【事業の内容及び営業の概況】

投信法に定める投資信託委託会社である委託会社は、証券投資信託の設定を行なうとともに金融商品取引法に定める金融商品取引業者としてその運用（投資運用業）を行なっています。また、金融商品取引法に定める投資助言業務、第一種金融商品取引業務および第二種金融商品取引業務等を行なっています。

委託会社の運用する証券投資信託は2020年9月末現在、以下の通りです(親投資信託を除きます。)

種類	本数(本)	純資産総額(百万円)
追加型株式投資信託	163	8,994,287
単位型株式投資信託	31	269,094
合計	194	9,263,381

### 3【委託会社等の経理状況】

#### 1．財務諸表の作成方法について

委託会社であるブラックロック・ジャパン株式会社(以下「当社」という。)の財務諸表は、「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」(1963年大蔵省令第59号。)第2条及び「金融商品取引業等に関する内閣府令」(2007年8月6日内閣府令第52号。)に基づいて作成しております。

#### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第33期事業年度(自2019年1月1日 至2019年12月31日)の財務諸表について有限責任監査法人トーマツによる監査を受けております。

#### 3．財務諸表に記載している金額については、百万円未満の端数を切り捨てて表示しております。

## (1)【貸借対照表】

(単位：百万円)

		第32期 (2018年12月31日現在)	第33期 (2019年12月31日現在)
<b>資産の部</b>			
<b>流動資産</b>			
現金・預金		23,891	20,388
立替金		2	26
前払費用		151	175
未収入金	2	11	30
未収委託者報酬		1,588	1,696
未収運用受託報酬		2,291	2,268
未収収益	2	1,402	1,832
その他流動資産		18	0
流動資産計		29,359	26,418
<b>固定資産</b>			
<b>有形固定資産</b>			
建物附属設備	1	1,484	1,240
器具備品	1	380	475
有形固定資産計		1,864	1,716
<b>無形固定資産</b>			
ソフトウェア		8	5
無形固定資産計		8	5
<b>投資その他の資産</b>			
投資有価証券		11	49
長期差入保証金		1,119	1,120
前払年金費用		696	800
長期前払費用		27	45
繰延税金資産		848	824
投資その他の資産計		2,702	2,839
固定資産計		4,575	4,561
資産合計		33,935	30,980

	第32期 (2018年12月31日現在)	第33期 (2019年12月31日現在)
<b>負債の部</b>		
<b>流動負債</b>		
預り金	97	94
未払金	2	
未払収益分配金	4	4
未払償還金	74	74
未払手数料	515	487
その他未払金	1,184	985
未払費用	2	
未払消費税等	97	117
未払法人税等	440	363
為替予約	3	-
前受金	78	97
賞与引当金	1,939	2,017
役員賞与引当金	142	139
早期退職慰労引当金	42	10
流動負債計	5,661	5,493
<b>固定負債</b>		
退職給付引当金	60	67
資産除去債務	781	782
固定負債計	842	850
負債合計	6,503	6,344
<b>純資産の部</b>		
<b>株主資本</b>		
資本金	3,120	3,120
資本剰余金		
資本準備金	3,001	3,001
その他資本剰余金	3,846	3,846
資本剰余金合計	6,847	6,847
利益剰余金		
利益準備金	336	336
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	17,127	14,330
利益剰余金合計	17,464	14,666
株主資本合計	27,432	24,634
<b>評価・換算差額等</b>		
その他有価証券評価差額金	0	1
評価・換算差額等合計	0	1
純資産合計	27,431	24,636
負債・純資産合計	33,935	30,980

## (2)【損益計算書】

(単位：百万円)

		第32期 (自 2018年 1月 1日 至 2018年12月31日)	第33期 (自 2019年 1月 1日 至 2019年12月31日)
営業収益			
委託者報酬		5,639	5,643
運用受託報酬	1	8,523	7,545
その他営業収益	1	13,511	13,290
営業収益計		27,674	26,480
営業費用			
支払手数料		1,856	1,632
広告宣伝費		191	167
調査費			
調査費		363	381
委託調査費	1	4,164	3,587
調査費計		4,528	3,968
委託計算費		84	82
営業雑経費			
通信費		59	53
印刷費		11	82
諸会費		34	43
営業雑経費計		106	178
営業費用計		6,767	6,029
一般管理費			
給料			
役員報酬		406	482
給料・手当		4,213	4,441
賞与		2,359	2,343
給料計		6,979	7,268
退職給付費用		275	308
福利厚生費		940	977
事務委託費	1	2,568	2,339
交際費		66	57
寄付金		3	2
旅費交通費		238	233
租税公課		245	257
不動産賃借料		804	875
水道光熱費		72	76
固定資産減価償却費		315	404
のれん償却額		42	-
資産除去債務利息費用		3	0
諸経費		424	312
一般管理費計		12,980	13,114
営業利益		7,926	7,335

	第32期 (自 2018年 1月 1日 至 2018年12月31日)	第33期 (自 2019年 1月 1日 至 2019年12月31日)
営業外収益		
その他	1	1
営業外収益計	1	1
営業外費用		
為替差損	26	32
固定資産除却損	-	3
その他	-	0
営業外費用計	26	36
経常利益	7,901	7,300
特別利益		
特別利益計	-	-
特別損失		
特別退職金	84	36
特別損失計	84	36
税引前当期純利益	7,817	7,263
法人税、住民税及び事業税	2,491	2,338
法人税等調整額	61	22
当期純利益	5,387	4,902

## (3)【株主資本等変動計算書】

第32期 (自 2018年1月1日 至 2018年12月31日)

(単位:百万円)

	株主資本							評価・換算差額等		純資産 合計	
	資本金	資本剰余金			利益剰余金			株主資本 合計	その他有価証 券評価差額金		評価・換算 差額等合計
		資本 準備金	その他資本 剰余金	資本 剰余金 合計	利益 準備金	その他利益 剰余金 繰越利益 剰余金	利益剰余金 合計				
2018年1月1日残高	3,120	3,001	3,846	6,847	336	11,739	12,076	22,044	0	0	22,044
当期変動額											
当期純利益						5,387	5,387	5,387			5,387
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)									0	0	0
当期変動額合計	-	-	-	-	-	5,387	5,387	5,387	0	0	5,387
2018年12月31日残高	3,120	3,001	3,846	6,847	336	17,127	17,464	27,432	0	0	27,431

第33期 (自 2019年1月1日 至 2019年12月31日)

(単位:百万円)

	株主資本							評価・換算差額等		純資産 合計	
	資本金	資本剰余金			利益剰余金			株主資本 合計	その他有価証 券評価差額金		評価・換算 差額等合計
		資本 準備金	その他資本 剰余金	資本 剰余金 合計	利益 準備金	その他利益 剰余金 繰越利益 剰余金	利益剰余金 合計				
2019年1月1日残高	3,120	3,001	3,846	6,847	336	17,127	17,464	27,432	0	0	27,431
当期変動額											
剰余金の配当						7,700	7,700	7,700			7,700
当期純利益						4,902	4,902	4,902			4,902
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)									1	1	1
当期変動額合計	-	-	-	-	-	2,797	2,797	2,797	1	1	2,795
2019年12月31日残高	3,120	3,001	3,846	6,847	336	14,330	14,666	24,634	1	1	24,636

## 注 記 事 項

## 【重要な会計方針】

1. 有価証券の評価基準及び評価方法
  - 有価証券
  - その他有価証券
  - 時価のあるもの
  - 決算日の市場価格等に基づく時価法（評価差額は、全部純資産直入法により処理し、売却原価は、移動平均法により算定）を採用しております。
2. デリバティブ取引等の評価基準及び評価方法
- 時価法を採用しております。
3. 固定資産の減価償却方法
  - (1) 有形固定資産
  - 定額法により償却しております。なお、主な耐用年数は建物附属設備6～18年、器具備品2～15年であります。
  - (2) 無形固定資産
  - 自社利用のソフトウェアの減価償却方法については、社内における利用可能期間（5年）に基づく定額法によっております。
  - のれんの償却方法については、その効果の及ぶ期間（5～9年）に基づく定額法によっております。
4. 引当金の計上基準
  - (1) 貸倒引当金の計上方法
  - 債権の貸倒損失に備えるため、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上しております。
  - (2) 退職給付引当金の計上方法
  - 旧退職金制度
  - 適格退職年金制度移行日現在在籍していた従業員については、旧退職金制度に基づく給付額を保証しているため、期末現在の当該給付額と年金制度に基づく給付額との差額を引当て計上しております。
  - 確定拠出年金制度
  - 確定拠出年金制度（DC）による退職年金制度を有しております。
  - 確定給付年金制度
  - キャッシュ・バランス型の年金制度（CB）の退職年金制度を有しております。CBには、一定の利回り保証を付しており、これの将来の支払に備えるため、確定給付型の会計基準に準じた会計処理方法により引当金を計上しております。
  - 退職給付債務の算定にあたり、退職給付見込額を当期までの期間に帰属させる方法については、ポイント基準によっております。
  - 過去勤務債務は、その発生時の従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数（9年）による定額法により費用処理しております。
  - 数理計算上の差異は各事業年度の発生時における従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数（9年）による定額法により按分した額をそれぞれ発生翌事業年度から費用処理または費用から控除することとしております。

## (3) 賞与引当金の計上方法

従業員の賞与の支払に備えて、賞与支給見込額の当事業年度負担額を計上しております。

## (4) 役員賞与引当金の計上方法

役員の賞与の支払に備えて、賞与支給見込額の当事業年度負担額を計上しております。

## (5) 早期退職慰労引当金の計上方法

早期退職慰労の支払に備えて、早期退職慰労支給見込額の当事業年度負担額を計上しております。

## 5. 外貨建の資産又は負債の本邦通貨への換算基準

外貨建金銭債権債務は、期末の直物為替相場により円貨に換算し、換算差額は損益として処理しております。

## 6. その他財務諸表作成のための基本となる重要な事項

## (1) 消費税等の処理方法

消費税等の会計処理は、税抜方式によっております。

## (2) 連結納税制度の適用

親会社であるブラックロック・ジャパン・ホールディングス合同会社を連結納税親会社として、連結納税制度を適用しております。

**(未適用の会計基準等)**

「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2018年3月30日）

「収益認識に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第30号 2018年3月30日）

## (1) 概要

収益認識に関する包括的な会計基準であります。収益は、次の5つのステップを適用し認識されます。

ステップ1：顧客との契約を識別する。

ステップ2：契約における履行義務を識別する。

ステップ3：取引価格を算定する。

ステップ4：契約における履行義務に取引価格を配分する。

ステップ5：履行義務を充足したときに又は充足するにつれて収益を認識する。

## (2) 適用予定日

2022年12月期の期首より適用予定であります。

## (3) 当該会計基準等の適用による影響

影響額は、当財務諸表の作成時において評価中であります。

**(貸借対照表関係)**

## 1 有形固定資産の減価償却累計額

	前事業年度 (2018年12月31日)	当事業年度 (2019年12月31日)
建物附属設備	1,525 百万円	1,769 百万円
器具備品	950 百万円	1,104 百万円

## 2 関係会社に対する資産及び負債

各科目に含まれているものは次のとおりであります。

	前事業年度 (2018年12月31日)	当事業年度 (2019年12月31日)
未収入金	- 百万円	3 百万円
未収収益	554 百万円	917 百万円
未払金	1,168 百万円	969 百万円
未払費用	385 百万円	445 百万円

3 当社は、運転資金の効率的な調達を行うため取引銀行2行と当座貸越契約を締結しております。これら契約に基づく事業年度末の借入未実行残高は次のとおりであります。

	前事業年度 (2018年12月31日)	当事業年度 (2019年12月31日)
当座貸越極度額	1,000 百万円	1,000 百万円
借入実行残高	-	-
差引額	1,000 百万円	1,000 百万円

**(損益計算書関係)**

## 1 関係会社に対する営業収益及び営業費用

各科目に含まれているものは次のとおりであります。

	前事業年度 (自 2018年 1月 1日 至 2018年12月31日)	当事業年度 (自 2019年 1月 1日 至 2019年12月31日)
その他営業収益	5,680 百万円	5,554 百万円
委託調査費	704 百万円	698 百万円
事務委託費	864 百万円	954 百万円
運用受託報酬	149 百万円	225 百万円

## (株主資本等変動計算書関係)

前事業年度(自 2018年1月1日 至 2018年12月31日)

## 1. 発行済株式に関する事項

	前事業年度期首	増加	減少	前事業年度末
普通株式(株)	15,000	-	-	15,000

## 2. 自己株式に関する事項

該当事項はありません。

## 3. 新株予約権及び自己新株予約権に関する事項

該当事項はありません。

## 4. 配当に関する事項

該当事項はありません。

当事業年度(自 2019年1月1日 至 2019年12月31日)

## 1. 発行済株式に関する事項

	当事業年度期首	増加	減少	当事業年度末
普通株式(株)	15,000	-	-	15,000

## 2. 自己株式に関する事項

該当事項はありません。

## 3. 新株予約権及び自己新株予約権に関する事項

該当事項はありません。

## 4. 配当に関する事項

## (1) 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日
2019年3月28日 株主総会決議	普通株式	7,700	513,333	2018年12月31日	2019年3月29日

**(金融商品関係)**

## 1. 金融商品の状況に関する事項

## (1) 金融商品に対する取組方針

当社は、資金運用については短期的な預金等に限定し、また、資金調達については関連当事者からの長期借入に限定しています。

投資有価証券は、当社設定の投資信託であり、通常の営業過程において保有しております。

デリバティブについては、外貨建て営業債権及び債務の為替変動リスクを回避するために利用し、投機的な取引は行っておりません。

## (2) 金融商品の内容及びそのリスク並びにリスク管理体制

営業債権である未収委託者報酬及び未収運用受託報酬は、顧客の信用リスクに晒されています。当該リスクに関しては、当社の経理規程に従い、取引先ごとの期日管理及び残高管理を行い、個別に未収債権の回収可能性を管理する体制をしいております。

営業債務である未払手数料はその全てが1年以内の支払期日となっております。

営業債務は流動性リスクに晒されていますが、当社では資金繰計画を作成するなどの方法により管理しております。

## 2. 金融商品の時価等に関する事項

貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については、次のとおりであります。なお、金額的重要性が低いものについては含めておりません。

## 前事業年度（2018年12月31日）

	貸借対照表計上額 (百万円)	時価 (百万円)	差額 (百万円)
(1) 現金・預金	23,891	23,891	-
(2) 未収委託者報酬	1,588	1,588	-
(3) 未収運用受託報酬	2,291	2,291	-
(4) 未収収益	1,402	1,402	-
(5) 長期差入保証金	1,119	1,112	6
資産計	30,293	30,287	6
(1) 未払手数料	515	515	-
(2) 未払費用	1,039	1,039	-
負債計	1,554	1,554	-

## 当事業年度（2019年12月31日）

	貸借対照表計上額 (百万円)	時価 (百万円)	差額 (百万円)
(1) 現金・預金	20,388	20,388	-
(2) 未収委託者報酬	1,696	1,696	-
(3) 未収運用受託報酬	2,268	2,268	-
(4) 未収収益	1,832	1,832	-
(5) 長期差入保証金	1,120	1,116	4
資産計	27,306	27,302	4
(1) 未払手数料	487	487	-
(2) 未払費用	1,102	1,102	-
負債計	1,590	1,590	-

## (注1) 金融商品の時価の算定方法に関する事項

資 産

## (1) 現金・預金、(2) 未収委託者報酬、(3) 未収運用受託報酬及び(4) 未収収益

これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっています。

## (5) 長期差入保証金

事務所敷金の時価については、事務所の敷金を当該賃貸借契約期間を基にしたインターバンク市場で取引されている円金利スワップレートで割り引いて算定する方法によっています。また従業員社宅敷金の時価については、平均残存勤務期間を基にしたインターバンク市場で取引されている円金利スワップレートで割り引いて算定する方法によっています。

負 債

## (1) 未払手数料、(2) 未払費用

これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっています。

## (注2) 金銭債権の決算日後の償還予定額

## 前事業年度（2018年12月31日）

	1年以内 (百万円)	1年超 5年以内 (百万円)	5年超 10年以内 (百万円)	10年超 (百万円)
(1) 現金・預金	23,891	-	-	-
(2) 未収委託者報酬	1,588	-	-	-
(3) 未収運用受託報酬	2,291	-	-	-
(4) 未収収益	1,402	-	-	-
(5) 長期差入保証金	-	1,051	56	11
合計	29,174	1,051	56	11

## 当事業年度（2019年12月31日）

	1年以内 (百万円)	1年超 5年以内 (百万円)	5年超 10年以内 (百万円)	10年超 (百万円)
(1) 現金・預金	20,388	-	-	-
(2) 未収委託者報酬	1,696	-	-	-
(3) 未収運用受託報酬	2,268	-	-	-
(4) 未収収益	1,832	-	-	-
(5) 長期差入保証金	-	1,051	57	11
合計	26,186	1,051	57	11

## (有価証券関係)

前事業年度 (2018年12月31日)

その他有価証券

	種類	貸借対照表計上額 (百万円)	取得原価 (百万円)	差額 (百万円)
貸借対照表計上額が取得原価を超えないもの	その他 投資信託	11	12	0
合計		11	12	0

当事業年度 (2019年12月31日)

その他有価証券

	種類	貸借対照表計上額 (百万円)	取得原価 (百万円)	差額 (百万円)
貸借対照表計上額が取得原価を超えるもの	その他 投資信託	49	47	1
合計		49	47	1

**(退職給付関係)**

前事業年度（自 2018年1月1日 至 2018年12月31日）

## 1. 採用している退職給付制度の概要

当社は、旧パークレイズ・グローバル・インベスターズ株式会社で設けられていた、旧退職金制度を引き続き有しています。当社は、平成21年12月2日に旧ブラックロック・ジャパン株式会社との合併に伴い、旧ブラックロック・ジャパン株式会社における退職年金制度（確定拠出年金制度及び確定給付年金制度）を承継しました。また、平成23年1月1日付で旧パークレイズ・グローバル・インベスターズ株式会社から引き継いだ適格退職年金制度はキャッシュ・バランス型の確定給付年金制度に移行しました。従って、平成23年1月1日以降、から の三つの制度を有しています。

## 2. 確定給付制度

## (1) 退職給付債務の期首残高と期末残高の調整表

（単位：百万円）

	前事業年度 (自 2018年 1月 1日 至 2018年12月31日)
退職給付債務の期首残高	1,832
勤務費用	269
利息費用	7
数理計算上の差異の発生額	11
退職給付の支払額	138
過去勤務費用の発生額	47
退職給付債務の期末残高	1,934

## (2) 年金資産の期首残高と期末残高の調整表

（単位：百万円）

	前事業年度 (自 2018年 1月 1日 至 2018年12月31日)
年金資産の期首残高	2,621
期待運用収益	23
数理計算上の差異の発生額	113
事業主からの拠出額	303
退職給付の支払額	138
年金資産の期末残高	2,696

## (3) 退職給付債務及び年金資産の期末残高と貸借対照表に計上された退職給付引当金及び前払年金費用の調整表

(単位：百万円)

	前事業年度 (2018年12月31日)
積立型制度の退職給付債務	1,874
年金資産	2,696
非積立型制度の退職給付債務	821
	60
未積立退職給付債務	761
未認識数理計算上の差異	73
未認識過去勤務費用	52
貸借対照表に計上された負債と資産の純額	635
退職給付引当金	60
前払年金費用	696
貸借対照表に計上された負債と資産の純額	635

## (4) 退職給付費用及びその内訳項目の金額

(単位：百万円)

	前事業年度 (自 2018年 1月 1日 至 2018年12月31日)
勤務費用	269
利息費用	7
期待運用収益	23
数理計算上の差異の費用処理額	44
過去勤務費用の処理額	8
確定給付制度に係る退職給付費用合計	200
特別退職金	84
合計	285

## (5) 年金資産に関する事項

年金資産の主な内訳

年金資産合計に対する主な分類ごとの比率は、次のとおりであります。

	前事業年度 (2018年12月31日)
合同運用	100%
合計	100%

合同運用による年金資産の主な商品分類ごとの比率は、債券77%、株式20%及びその他3%となっております。

長期期待運用収益率の算定方法

年金資産の長期期待運用収益率を決定するため、現在及び予想される年金資産の配分と、年金資産を構成する多様な資産からの現在及び将来期待される長期の収益率を考慮しております。

## (6) 数理計算上の計算基礎に関する事項

	前事業年度 (自 2018年 1月 1日 至 2018年12月31日)
割引率	0.6%
長期期待運用収益率	1.0%

## 3. 確定拠出制度

当社の確定拠出制度への要拠出額は、75百万円でありました。

当事業年度（自 2019年1月1日 至 2019年12月31日）

## 1. 採用している退職給付制度の概要

当社は、旧パークレイズ・グローバル・インベスターズ株式会社で設けられていた、旧退職金制度を引き続き有しています。当社は、平成21年12月2日に旧ブラックロック・ジャパン株式会社との合併に伴い、旧ブラックロック・ジャパン株式会社における退職年金制度（確定拠出年金制度及び確定給付年金制度）を承継しました。また、平成23年1月1日付で旧パークレイズ・グローバル・インベスターズ株式会社から引き継いだ適格退職年金制度はキャッシュ・バランス型の確定給付年金制度に移行しました。従って、平成23年1月1日以降、からの三つの制度を有しています。

## 2. 確定給付制度

## (1) 退職給付債務の期首残高と期末残高の調整表

（単位：百万円）

	当事業年度 (自 2019年 1月 1日 至 2019年12月31日)
退職給付債務の期首残高	1,934
勤務費用	290
利息費用	11
数理計算上の差異の発生額	14
退職給付の支払額	204
過去勤務費用の発生額	-
退職給付債務の期末残高	2,047

## (2) 年金資産の期首残高と期末残高の調整表

（単位：百万円）

	当事業年度 (自 2019年 1月 1日 至 2019年12月31日)
年金資産の期首残高	2,696
期待運用収益	26
数理計算上の差異の発生額	132
事業主からの拠出額	328
退職給付の支払額	204
年金資産の期末残高	2,979

## (3) 退職給付債務及び年金資産の期末残高と貸借対照表に計上された退職給付引当金及び前払年金費用の調整表

(単位：百万円)

	当事業年度 (2019年12月31日)
積立型制度の退職給付債務	1,979
年金資産	2,979
非積立型制度の退職給付債務	999
未積立退職給付債務	67
未認識数理計算上の差異	931
未認識過去勤務費用	157
貸借対照表に計上された負債と資産の純額	41
退職給付引当金	732
前払年金費用	67
貸借対照表に計上された負債と資産の純額	800
	732

## (4) 退職給付費用及びその内訳項目の金額

(単位：百万円)

	当事業年度 (自 2019年 1月 1日 至 2019年12月31日)
勤務費用	290
利息費用	11
期待運用収益	26
数理計算上の差異の費用処理額	33
過去勤務費用の処理額	10
確定給付制度に係る退職給付費用合計	231
特別退職金	36
合計	267

## (5) 年金資産に関する事項

年金資産の主な内訳

年金資産合計に対する主な分類ごとの比率は、次のとおりであります。

	当事業年度 (2019年12月31日)
合同運用	100%
合計	100%

合同運用による年金資産の主な商品分類ごとの比率は、債券76%、株式21%及びその他3%となっております。

長期期待運用収益率の算定方法

年金資産の長期期待運用収益率を決定するため、現在及び予想される年金資産の配分と、年金資産を構成する多様な資産からの現在及び将来期待される長期の収益率を考慮しております。

## (6) 数理計算上の計算基礎に関する事項

	当事業年度 (自 2019年 1月 1日 至 2019年12月31日)
割引率	0.6%
長期期待運用収益率	1.0%

## 3. 確定拠出制度

当社の確定拠出制度への要拠出額は、75百万円でありました。

## (税効果会計関係)

## 1. 繰延税金資産及び繰延税金負債の発生の主な原因別の内訳

	(単位：百万円)	
	前事業年度 (2018年12月31日)	当事業年度 (2019年12月31日)
繰延税金資産		
未払費用	167	191
賞与引当金	591	617
資産除去債務	239	239
未払事業税	83	72
早期退職慰労引当金	13	3
退職給付引当金	18	20
有形固定資産	3	1
その他	96	45
繰延税金資産合計	1,213	1,191
繰延税金負債		
退職給付引当金	213	245
資産除去債務に対応する除去費用	152	121
その他	-	0
繰延税金負債合計	365	366
繰延税金資産の純額	848	824

(注) 前事業年度及び当事業年度における繰延税金資産の純額は、貸借対照表の以下の項目に含まれております。

	(単位：百万円)	
	前事業年度 (2018年12月31日)	当事業年度 (2019年12月31日)
固定資産 - 繰延税金資産	848	824

## 2. 法定実効税率と税効果会計適用後の法人税等の負担率との差異の原因となった主な項目別の内訳

	前事業年度 (2018年12月31日)		当事業年度 (2019年12月31日)	
法定実効税率	30.9	%	30.6	%
(調整)				
交際費等永久に損金に算入されない項目	1.0		1.9	
損金不算入ののれん償却額	0.2		-	
税率変更による期末繰延税金資産の減額修正	0.1		-	
所得拡大促進税制による税額控除	1.9		-	
その他	0.8		0.0	
税効果会計適用後の法人税等の負担率	31.1	%	32.5	%

**(資産除去債務関係)**

資産除去債務のうち貸借対照表に計上しているもの

## 1. 当該資産除去債務の概要

当社事業所の定期建物賃貸借契約に伴う原状回復義務等であります。

## 2. 当該資産除去債務の金額の算定方法

使用見込期間を当該定期建物賃貸借契約上の賃貸借期間約5年と見積り、割引率は0.16%~0.18%を使用して資産除去債務の金額を計算しております。

## 3. 当該資産除去債務の総額の増減

(単位：百万円)

	前事業年度 (自 2018年 1月 1日 至 2018年12月31日)	当事業年度 (自 2019年 1月 1日 至 2019年12月31日)
期首残高	262	781
有形固定資産の取得に伴う増加額	75	-
見積りの変更による増加額	440	-
時の経過による調整額	3	0
資産除去債務の履行による減少額	-	-
期末残高	781	782

**(デリバティブ取引関係)**

前事業年度 (2018年12月31日)

ヘッジ会計が適用されていないデリバティブ取引

通貨関連

(単位：百万円)

区分	種類	契約額等	うち1年超	時価	評価損益
市場取引以外の取引	為替予約取引 買建 米ドル	164	-	3	3
	合計	164	-	3	3

(注) 時価の算定方法 先物為替相場に基づき算定しております。

当事業年度 (2019年12月31日)

ヘッジ会計が適用されていないデリバティブ取引

通貨関連

(単位：百万円)

区分	種類	契約額等	うち1年超	時価	評価損益
市場取引以外の取引	為替予約取引 売建 米ドル	79	-	0	0
	買建 英ポンド	0	-	0	0
合計		79	-	0	0

(注) 時価の算定方法 先物為替相場に基づき算定しております。

**(セグメント情報等)**

前事業年度（自 2018年1月1日 至 2018年12月31日）

## 1. セグメント情報

当社は主として投資運用業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

## 2. 関連情報

## (1) 製品及びサービスごとの情報

(単位：百万円)

	委託者報酬	運用受託報酬	その他	合計
外部顧客営業収益	5,639	8,523	13,511	27,674

## (2) 地域ごとの情報

売上高

(単位：百万円)

日本	北米	その他	合計
13,237	11,293	3,143	27,674

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

## 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

## (3) 主要な顧客ごとの情報

営業収益の10%以上を占める主要な顧客は以下のとおりです。

(単位：百万円)

相手先	営業収益	関連するセグメント名
ブラックロック・ファイナンシャル・マネジメント・インク	5,830	投資運用業
ブラックロック・ファンド・アドバイザーズ	3,458	投資運用業

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報

該当事項はありません。

## 4. 報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報

当社は主として投資運用業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

## 5. 報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報

該当事項はありません。

当事業年度（自 2019年1月1日 至 2019年12月31日）

1. セグメント情報

当社は主として投資運用業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

2. 関連情報

(1) 製品及びサービスごとの情報

（単位：百万円）

	委託者報酬	運用受託報酬	その他	合計
外部顧客営業収益	5,643	7,545	13,290	26,480

(2) 地域ごとの情報

売上高

（単位：百万円）

日本	北米	その他	合計
12,538	11,197	2,744	26,480

（注） 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

(3) 主要な顧客ごとの情報

営業収益の10%以上を占める主要な顧客は以下のとおりです。

（単位：百万円）

相手先	営業収益	関連するセグメント名
ブラックロック・ファイナンシャル・マネジメント・インク	5,779	投資運用業
ブラックロック・ファンド・アドバイザーズ	3,314	投資運用業

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報

該当事項はありません。

4. 報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報

当社は主として投資運用業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

5. 報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報

該当事項はありません。

## (関連当事者情報)

## 1. 関連当事者との取引

## 財務諸表提出会社と関連当事者との取引

## (1) 財務諸表提出会社の親会社及び主要株主(会社等に限る。)等

前事業年度(自 2018年1月1日 至 2018年12月31日)

種類	会社等の名称又は氏名	所在地	資本金又は出資金	事業の内容又は職業	議決権等の所有(被所有)割合(%)	関連当事者との関係	取引の内容	取引金額(百万円)	科目	期末残高(百万円)
親会社	ブラックロック・ファイナンシャル・マネジメント・インク	米国 ニューヨーク州	73 百万 米ドル	投資 顧問業	(被所有) 間接 100	投資顧問 契約の 再委任等	運用 受託報酬	149	未収収益	554
							受入 手数料	5,680		
							委託 調査費	704	未払費用	385
							事務 委託費	864	その他未払金	165
親会社	ブラックロック・ジャパン・ホールディングス合同会社	日本 東京都	1万円	持株会社	(被所有) 直接 100	株式の 保有等	営業外収益	-	その他未払金	1,002

当事業年度(自 2019年1月1日 至 2019年12月31日)

種類	会社等の名称又は氏名	所在地	資本金又は出資金	事業の内容又は職業	議決権等の所有(被所有)割合(%)	関連当事者との関係	取引の内容	取引金額(百万円)	科目	期末残高(百万円)
親会社	ブラックロック・ファイナンシャル・マネジメント・インク	米国 ニューヨーク州	73 百万 米ドル	投資 顧問業	(被所有) 間接 100	投資顧問 契約の 再委任等	運用 受託報酬	225	未収収益	917
							受入 手数料	5,554		
							委託 調査費	698	未払費用	445
							事務 委託費	954	その他未払金	74
親会社	ブラックロック・ジャパン・ホールディングス合同会社	日本 東京都	1万円	持株会社	(被所有) 直接 100	株式の 保有等	営業外収益	-	未収入金	3
									その他未払金	894

## (2) 財務諸表提出会社の子会社及び関連会社等

前事業年度(自 2018年1月1日 至 2018年12月31日)

該当事項はありません。

当事業年度(自 2019年1月1日 至 2019年12月31日)

該当事項はありません。

## (3) 財務諸表提出会社と同一の親会社を持つ会社等及び財務諸表提出会社のその他の関係会社の子会社等

前事業年度(自 2018年1月1日 至 2018年12月31日)

種類	会社等の名称又は氏名	所在地	資本金又は出資金	事業の内容又は職業	議決権等の所有(被所有)割合(%)	関連当事者との関係	取引の内容	取引金額(百万円)	科目	期末残高(百万円)
同一の親会社を持つ会社	ブラックロック・ファンド・アドバイザーズ	米国カリフォルニア州	1,000米ドル	投資顧問業	なし	投資顧問契約の再委任等	受入手数料	3,458	未収収益	330
							委託調査費	37	未払費用	4
							事務委託費	8		

当事業年度(自 2019年1月1日 至 2019年12月31日)

種類	会社等の名称又は氏名	所在地	資本金又は出資金	事業の内容又は職業	議決権等の所有(被所有)割合(%)	関連当事者との関係	取引の内容	取引金額(百万円)	科目	期末残高(百万円)
同一の親会社を持つ会社	ブラックロック・ファンド・アドバイザーズ	米国カリフォルニア州	1,000米ドル	投資顧問業	なし	投資顧問契約の再委任等	受入手数料	3,314	未収収益	360
							委託調査費	145	未払費用	9
							事務委託費	28		

## (注) 1. 取引条件及び取引条件の決定方針等

- (1) 運用受託報酬については、一般取引条件と同様に決定しております。
- (2) 受入手数料については、一般取引条件と同様に決定しております。
- (3) 委託調査費については、一般取引条件と同様に決定しております。
- (4) 事務委託費については、一般取引条件と同様に決定しております。

## 2. 親会社に関する注記

## (1) 親会社情報

- ブラックロック・インク(ニューヨーク証券取引所に上場)  
 ブラックロック・ファイナンシャル・マネジメント・インク(非上場)  
 ブラックロック・ジャパン・ホールディングス合同会社(非上場)

## (1株当たり情報)

項目	前事業年度 (自 2018年 1月 1日 至 2018年12月31日)	当事業年度 (自 2019年 1月 1日 至 2019年12月31日)
1株当たり純資産額	1,828,761 円 92 銭	1,642,418 円 94 銭
1株当たり当期純利益金額	359,180 円 40 銭	326,833 円 15 銭

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前事業年度 (自 2018年 1月 1日 至 2018年12月31日)	当事業年度 (自 2019年 1月 1日 至 2019年12月31日)
当期純利益 (百万円)	5,387	4,902
普通株主に帰属しない金額 (百万円)	-	-
普通株式に係る当期純利益 (百万円)	5,387	4,902
普通株式の期中平均株式数 (株)	15,000	15,000

独立監査人の監査報告書は、当事業年度(自 2019年1月1日 至2019年12月31日)を対象としております。

**【中間財務諸表】**

## 1．中間財務諸表の作成方法について

委託会社であるブラックロック・ジャパン株式会社(以下「当社」という。)の中間財務諸表すなわち中間貸借対照表、中間損益計算書及び中間株主資本等変動計算書は、「中間財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」(1977年大蔵省令第38号)並びに同規則第38条及び第57条の規定により「金融商品取引業等に関する内閣府令」(2007年内閣府令第52号)に基づいて作成しております。

## 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、中間会計期間(自2020年1月1日 至2020年6月30日)の中間財務諸表について有限責任監査法人トーマツによる中間監査を受けております。

## 3．財務諸表に記載している金額については、百万円未満の端数を切り捨てて表示しております。

## (1) 中間貸借対照表

(単位：百万円)

	中間会計期間末 (2020年6月30日)	
資産の部		
流動資産		
現金・預金	2	14,477
立替金		20
前払費用		189
未収入金		6
未収委託者報酬		1,585
未収運用受託報酬		1,640
未収収益		829
為替予約		1
流動資産計		18,750
固定資産		
有形固定資産		
建物附属設備	1	1,120
器具備品	1	518
有形固定資産計		1,638
無形固定資産		
ソフトウェア		7
無形固定資産計		7
投資その他の資産		
投資有価証券		36
長期差入保証金		1,119
前払年金費用		849
長期前払費用		36
繰延税金資産		481
投資その他の資産計		2,523
固定資産計		4,169
資産合計		22,920

(単位:百万円)

中間会計期間末  
(2020年6月30日)

負債の部	
流動負債	
預り金	117
未払金	
未払収益分配金	4
未払償還金	74
未払手数料	418
その他未払金	522
未払費用	672
未払消費税等	150
未払法人税等	279
前受金	26
賞与引当金	883
役員賞与引当金	70
流動負債計	3,221
固定負債	
退職給付引当金	68
資産除去債務	783
固定負債計	851
負債合計	4,073
純資産の部	
株主資本	
資本金	3,120
資本剰余金	
資本準備金	3,001
その他資本剰余金	3,846
資本剰余金合計	6,847
利益剰余金	
利益準備金	336
その他利益剰余金	
繰越利益剰余金	8,543
利益剰余金合計	8,880
株主資本合計	18,848
評価・換算差額等	
その他有価証券評価差額金	1
評価・換算差額等合計	1
純資産合計	18,846
負債・純資産合計	22,920

## (2) 中間損益計算書

(単位：百万円)

	中間会計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)
営業収益	
委託者報酬	2,714
運用受託報酬	3,593
その他営業収益	6,146
営業収益計	12,454
営業費用	
支払手数料	695
広告宣伝費	46
調査費	
調査費	181
委託調査費	1,687
調査費計	1,869
委託計算費	39
営業雑経費	
通信費	29
印刷費	45
諸会費	22
営業雑経費計	98
営業費用計	2,749
一般管理費	
給料	
役員報酬	425
給料・手当	2,334
賞与	1,196
給料計	3,956
退職給付費用	165
福利厚生費	498
事務委託費	1,118
交際費	11
旅費交通費	29
租税公課	137
不動産賃借料	457
水道光熱費	28
固定資産減価償却費	214
資産除去債務利息費用	0
諸経費	155
一般管理費計	6,775
営業利益	2,929

(単位：百万円)

	中間会計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)
営業外収益	
受取利息	0
有価証券売却益	0
為替差益	17
雑益	0
営業外収益計	18
経常利益	2,947
税引前中間純利益	2,947
法人税、住民税及び事業税	690
法人税等調整額	344
中間純利益	1,913

## (3) 中間株主資本等変動計算書

中間会計期間（自 2020年1月1日 至 2020年6月30日）

（単位：百万円）

	株主資本							評価・換算差額等		純資産 合計	
	資本金	資本剰余金			利益剰余金			株主資本 合計	その他有価 証券評価 差額金		評価・換算 差額等合計
		資本 準備金	その他資本 剰余金	資本 剰余金 合計	利益 準備金	その他利益 剰余金 繰越利益 剰余金	利益剰余金 合計				
当期首残高	3,120	3,001	3,846	6,847	336	14,330	14,666	24,634	1	1	24,636
当中間期変動額											
剰余金の配当						7,700	7,700	7,700			7,700
中間純利益						1,913	1,913	1,913			1,913
株主資本以外の項目の当 中間期変動額（純額）									2	2	2
当中間期変動額合計	-	-	-	-	-	5,786	5,786	5,786	2	2	5,789
当中間期末残高	3,120	3,001	3,846	6,847	336	8,543	8,880	18,848	1	1	18,846

## 注 記 事 項

## (重要な会計方針)

項 目	中間会計期間 自 2020年1月 1日 至 2020年6月30日
1. 有価証券の評価基準及び評価方法	<p>その他有価証券 時価のあるもの 決算日の市場価格等に基づく時価法（評価差額は、全部純資産直入法により処理し、売却原価は、移動平均法により算定）を採用しております。</p>
2. デリバティブ取引等の評価基準及び評価方法	<p>時価法を採用しております。</p>
3. 固定資産の減価償却方法	<p>(1) 有形固定資産 定額法により償却しております。 なお、主な耐用年数は建物附属設備5～18年、器具備品3～15年であります。</p> <p>(2) 無形固定資産 自社利用のソフトウェアの減価償却方法については、社内における利用可能期間（5年）に基づく定額法によっております。</p>
4. 引当金の計上基準	<p>(1) 貸倒引当金の計上方法 債権の貸倒損失に備えるため、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上しております。</p> <p>(2) 退職給付引当金の計上方法 旧退職金制度 適格退職年金制度移行日現在在籍していた従業員については、旧退職制度に基づく給付額を保証しているため、中間会計期間末現在の当該給付額と年金制度に基づく給付額との差額を引当て計上しております。</p> <p>確定拠出年金制度 確定拠出年金制度（DC）による退職年金制度を有しております。</p> <p>確定給付年金制度 キャッシュ・バランス型の年金制度（CB）の退職年金制度を有しております。CBには、一定の利回り保証を付しており、これの将来の支払に備えるため、確定給付型の会計基準に準じた会計処理方法により引当金を計上しております。</p> <p>退職給付債務の算定にあたり、退職給付見込額を当期までの期間に帰属させる方法については、ポイント基準によっております。</p> <p>過去勤務債務は、その発生時の従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数（9年）による定額法により費用処理しております。</p> <p>数理計算上の差異は各事業年度の発生時における従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数（9年）による定額法により按分した額をそれぞれ発生の翌事業年度から費用処理または費用から控除することとしております。</p> <p>(3) 賞与引当金の計上方法 従業員の賞与の支払に備えて、賞与支給見込額の当中間会計期間負担額を計上しております。</p>

項 目	中間会計期間 自 2020年1月 1日 至 2020年6月30日
5. 外貨建の資産又は負債の本邦通貨への換算基準	(4) 役員賞与引当金の計上方法 役員の賞与の支払に備えて、賞与支給見込額の当中間会計期間負担額を計上しております。  (5) 早期退職慰労引当金の計上方法 早期退職慰労金の支払に備えて、早期退職慰労金支給見込額の当中間会計期間負担額を計上しております。
6. その他中間財務諸表作成のための基本となる重要な事項	外貨建金銭債権債務は、中間会計期間末の直物為替相場により円貨に換算し、換算差額は損益として処理しております。  (1) 消費税等の会計処理 税抜方式によっております。  (2) 連結納税制度の適用 親会社であるブラックロック・ジャパン・ホールディングス合同会社を連結納税親会社として、連結納税制度を適用しております。

**(会計方針の変更)**

中間会計期間 自 2020年1月 1日 至 2020年6月30日
(金銭債権と金銭債務の相殺表示に関わる会計方針の変更) 当社は、当社グループ会社間の債権債務を含む金銭債権及び金銭債務を従来総額で表示していましたが、グループ会社間でのマスター・ネットリング契約締結を契機に見直しを行った結果、「金融商品会計に関する実務指針」(日本公認会計士協会 会計制度委員会報告第14号)第140項に基づき、金銭債権と金銭債務を相殺表示する方が当社の財政状態をより適切に表示できると判断し、当中間会計期間から相殺表示する方法へ変更しております。

**(中間貸借対照表関係)**

中間会計期間末 2020年6月30日	
1 有形固定資産の減価償却累計額	
建物附属設備	1,889百万円
器具備品	1,197百万円
2 当社は、運転資金の効率的な調達を行うため取引銀行2行と当座貸越契約を締結しております。これら契約に基づく当中間会計期間末の借入未実行残高は次のとおりであります。	
当座貸越極度額	1,000百万円
借入実行残高	-
差引額	1,000百万円

## (中間損益計算書関係)

中間会計期間 自 2020年1月 1日 至 2020年6月30日	
1 減価償却実施額	
有形固定資産	213百万円
無形固定資産	1百万円

## (中間株主資本等変動計算書関係)

中間会計期間 自 2020年1月 1日 至 2020年6月30日					
1. 発行済株式の種類及び総数に関する事項					
	前事業年度末 株式数	当中間会計期間 増加株式数	当中間会計期間 減少株式数	当中間会計 期間末株式数	
発行済株式					
普通株式	15,000	-	-	15,000	
合計	15,000	-	-	15,000	
2. 自己株式の種類及び株式数に関する事項 該当事項はありません。					
3. 新株予約権及び自己新株予約権に関する事項 該当事項はありません。					
4. 配当に関する事項					
(1) 配当金支払額					
	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日
2020年3月30日 株主総会決議	普通株式	7,700	513,333	2019年12月31日	2020年3月31日
(2) 基準日が当中間会計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当中間会計期間後となるもの 該当事項はありません。					

## (金融商品関係)

中間会計期間  
自 2020年1月 1日  
至 2020年6月30日

## 1. 金融商品の状況に関する事項

## (1) 金融商品に対する取組方針

当社は、資金運用については短期的な預金等に限定し、また、資金調達については関連当事者からの長期借入に限定しています。

投資有価証券は、当社設定の投資信託であり、通常の営業過程において保有しております。

デリバティブについては、外貨建て営業債権及び債務の為替変動リスクを回避するために利用し、投機的な取引は行っておりません。

## (2) 金融商品の内容及びそのリスク並びにリスク管理体制

営業債権である未収委託者報酬及び未収運用受託報酬は、顧客の信用リスクに晒されています。当該リスクに関しては、当社の経理規程に従い、取引先ごとの期日管理及び残高管理を行い、個別に未収債権の回収可能性を管理する体制をしいております。

営業債務である未払手数料はその全てが1年以内の支払期日となっております。

営業債務は流動性リスクに晒されていますが、当社では資金繰計画を作成するなどの方法により管理しております。

## 2. 金融商品の時価等に関する事項

2020年6月30日（中間期の決算日）における中間貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については、次のとおりです。

（単位：百万円）

	中間貸借対照表計上額	時価	差額
現金・預金	14,477	14,477	-
未収委託者報酬	1,585	1,585	-
未収運用受託報酬	1,640	1,640	-
未収収益	829	829	-
投資有価証券 その他有価証券	36	36	-
長期差入保証金	1,119	1,117	2
資産計	19,689	19,686	2
未払手数料	418	418	-
未払費用	672	672	-
負債計	1,091	1,091	-
デリバティブ取引 ヘッジ会計が適用されていない もの	1	1	-
デリバティブ計	1	1	-

## (注)

## 金融商品の時価の算定方法に関する事項

現金・預金、未収委託者報酬、未収運用受託報酬及び未収収益

これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっています。

投資有価証券

投資有価証券は、投資信託であり、決算日の基準価格によっております。

中間会計期間 自 2020年1月 1日 至 2020年6月30日
<p>長期差入保証金</p> <p>事務所敷金の時価については、事務所の敷金を当該賃貸借契約期間を基にしたインターバンク市場で取引されている円金利スワップレートで割り引いて算定する方法によっています。また従業員社宅敷金の時価については、平均残存勤務期間を基にしたインターバンク市場で取引されている円金利スワップレートで割り引いて算定する方法によっています。</p> <p>但し、上記レートがマイナスとなる場合は、割引率はゼロを使用しております。</p> <p>未払手数料、未払費用</p> <p>これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっています。</p> <p>デリバティブ取引</p> <p>デリバティブ取引によって生じた正味の債権・債務は純額で表示しており、合計で正味の債務となる項目については、( )で示しております。</p>

## (有価証券関係)

中間会計期間 自 2020年1月 1日 至 2020年6月30日																				
<p>その他有価証券</p> <p style="text-align: right;">(単位：百万円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>種類</th> <th>中間貸借対照表 計上額</th> <th>取得原価</th> <th>差額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>貸借対照表計上額が取得原価を超えるもの</td> <td>その他 投資信託</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">0</td> </tr> <tr> <td>貸借対照表計上額が取得原価を超えないもの</td> <td>その他 投資信託</td> <td style="text-align: center;">35</td> <td style="text-align: center;">37</td> <td style="text-align: center;">1</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">合計</td> <td></td> <td style="text-align: center;">36</td> <td style="text-align: center;">38</td> <td style="text-align: center;">1</td> </tr> </tbody> </table>		種類	中間貸借対照表 計上額	取得原価	差額	貸借対照表計上額が取得原価を超えるもの	その他 投資信託	1	1	0	貸借対照表計上額が取得原価を超えないもの	その他 投資信託	35	37	1	合計		36	38	1
	種類	中間貸借対照表 計上額	取得原価	差額																
貸借対照表計上額が取得原価を超えるもの	その他 投資信託	1	1	0																
貸借対照表計上額が取得原価を超えないもの	その他 投資信託	35	37	1																
合計		36	38	1																

## (資産除去債務関係)

中間会計期間 自 2020年1月 1日 至 2020年6月30日												
<p>資産除去債務のうち貸借対照表に計上しているもの</p> <p>1. 当該資産除去債務の概要 当社事業所の定期建物賃貸借契約に伴う原状回復義務等であります。</p> <p>2. 当該資産除去債務の金額の算定方法 使用見込期間を当該定期建物賃貸借契約上の賃貸借期間5年と見積り、割引率は0.16%～0.18%を使用して資産除去債務の金額を計算しております。</p> <p>3. 当中間会計期間における当該資産除去債務の総額の増減</p> <table style="width: 100%;"> <tbody> <tr> <td>期首残高</td> <td style="text-align: right;">782</td> <td>百万円</td> </tr> <tr> <td>有形固定資産の取得に伴う増加額</td> <td style="text-align: right;">-</td> <td>百万円</td> </tr> <tr> <td>時の経過による調整額</td> <td style="text-align: right;">0</td> <td>百万円</td> </tr> <tr> <td>中間会計期間末残高</td> <td style="text-align: right; border-top: 1px solid black; border-bottom: 3px double black;">783</td> <td>百万円</td> </tr> </tbody> </table>	期首残高	782	百万円	有形固定資産の取得に伴う増加額	-	百万円	時の経過による調整額	0	百万円	中間会計期間末残高	783	百万円
期首残高	782	百万円										
有形固定資産の取得に伴う増加額	-	百万円										
時の経過による調整額	0	百万円										
中間会計期間末残高	783	百万円										

## (セグメント情報等)

中間会計期間 自 2020年1月 1日 至 2020年6月30日				
1. セグメント情報 当社は主として投資運用業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。				
2. 関連情報				
(1) 製品及びサービスに関する情報				
(単位：百万円)				
	委託者 報酬	運用受託 報酬	その他	合計
外部顧客 営業収益	2,714	3,593	6,146	12,454
(2) 地域に関する情報				
売上高				
(単位：百万円)				
日本	北米	その他	合計	
5,978	5,132	1,343	12,454	
(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。				
有形固定資産				
本邦に所在している有形固定資産の金額が中間貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。				
(3) 主要な顧客に関する情報				
営業収益の10%以上を占める主要な顧客は以下のとおりです。				
(単位：百万円)				
相手先	営業収益	関連する セグメント名		
ブラックロック・ファイナンシャル・ マネジメント・インク	2,637	投資運用業		
ブラックロック・ファンド・アドバイ ザーズ	1,436	投資運用業		

## (デリバティブ取引関係)

中間会計期間 自 2020年1月 1日 至 2020年6月30日					
ヘッジ会計が適用されていないデリバティブ取引					
通貨関連					
(単位：百万円)					
区分	種類	契約額等	うち1年超	時価	評価損益
市場取引以外の 取引	為替予約取引 買建 米ドル	208	-	1	1
合計		208	-	1	1
(注) 時価の算定方法 先物為替相場に基づき算定しております。					

**(1株当たり情報)**

	中間会計期間
	自 2020年1月 1日
	至 2020年6月30日
1株当たり純資産額	1,256,452円20銭
1株当たり中間純利益	127,565円16銭
なお、潜在株式調整後1株当たり中間純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。	
1株当たり中間純利益の算定上の基礎	
損益計算書上の中間純利益	1,913百万円
1株当たり中間純利益の算定に	
用いられた普通株式に係る中間純利益	1,913百万円
期中平均株式数	15,000株

**(重要な後発事象)**

該当事項はありません。

#### 4【利害関係人との取引制限】

委託会社は、金融商品取引法の定めるところにより、利害関係人との取引について、次に掲げる行為が禁止されています。

- (1) 自己またはその取締役若しくは執行役との間における取引を行なうことを内容とした運用を行なうこと(投資者の保護に欠け、若しくは取引の公正を害し、または金融商品取引業の信用を失墜させるおそれがないものとして内閣府令で定めるものを除きます。)
- (2) 運用財産相互間において取引を行なうことを内容とした運用を行なうこと(投資者の保護に欠け、若しくは取引の公正を害し、または金融商品取引業の信用を失墜させるおそれがないものとして金融商品取引業等に関する内閣府令で定めるものを除きます。)
- (3) 通常の見積りの条件と異なる条件であって取引の公正を害するおそれのある条件で、委託会社の親法人等(委託会社の総株主等の議決権の過半数を保有していることその他の委託会社と密接な関係を有する法人その他の団体として金融商品取引法施行令で定める要件に該当する者をいいます。以下(4)(5)において同じ。)または子法人等(委託会社が総株主等の議決権の過半数を保有していることその他の委託会社と密接な関係を有する法人その他の団体として政令で定める要件に該当する者をいいます。以下同じ。)と有価証券の売買その他の取引または金融デリバティブ取引を行なうこと。
- (4) 委託会社の親法人等または子法人等の利益を図るため、その行なう投資運用業に関して運用の方針、運用財産の額若しくは市場の状況に照らして不必要な取引を行なうことを内容とした運用を行なうこと。
- (5) 上記に掲げるもののほか、投資者の保護に欠け、若しくは取引の公正を害し、または金融商品取引業の信用を失墜させるおそれのあるものとして金融商品取引業等に関する内閣府令で定める行為。

## 5【その他】

定款の変更、事業譲渡または事業譲受、出資の状況その他の重要事項

変更年月日	変更事項
2007年9月18日	証券業登録に伴う商号変更(「パークレイズ・グローバル・インベスターズ証券投資顧問株式会社」に変更)のため、定款変更を行ないました。
2007年9月30日	商号変更(「パークレイズ・グローバル・インベスターズ株式会社」に変更)のため、定款変更を行ないました。
2007年9月30日	公告の方法を変更するため、定款変更を行ないました。
2007年12月27日	事業を営むことの目的を変更するため、定款変更を行ないました。
2008年7月1日	グループ会社の1つであるパークレイズ・グローバル・インベスターズ・サービス株式会社を吸収合併し、それに伴い資本金の額を変更いたしました。
2008年7月1日	株式取扱規則に関する記述を追加するため、定款変更を行ないました。
2009年6月22日	本店所在地変更のため、定款変更を行ないました。
2009年12月2日	ブラックロック・ジャパン株式会社と合併 商号変更(「ブラックロック・ジャパン株式会社」に変更)および定款変更を行ないました。
2011年4月1日	グループ会社であるブラックロック証券株式会社を吸収合併し、それに先立ち定款変更および資本金の額の変更を行ないました。
2013年10月5日	MGPA Japan LLCより不動産投資関連の事業を譲受し、それに先立ち定款変更を行ないました。
2014年12月1日	決算期を3月31日から12月31日に変更するため、定款変更を行ないました。

## 第2【その他の関係法人の概況】

## 1【名称、資本金の額及び事業の内容】

## (1) 受託会社

- ・名称 : みずほ信託銀行株式会社
- ・資本金の額 : 247,369百万円（2020年3月末現在）
- ・事業の内容 : 銀行法に基づき、銀行業を営むとともに、金融機関の信託業務の兼営等に関する法律（兼営法）に基づき信託業務を営んでいます。

## &lt;再信託受託会社の概要&gt;

- ・名称 : 株式会社日本カストディ銀行
- ・資本金の額 : 51,000百万円（2020年7月末現在）
- ・事業の内容 : 銀行法に基づき、銀行業を営むとともに、金融機関の信託業務の兼営等に関する法律（兼営法）に基づき信託業務を営んでいます。
- ・再信託の目的 : 原信託契約にかかる信託業務の一部（信託財産の管理）を原信託受託会社から再信託受託会社（株式会社日本カストディ銀行）へ委託するため、原信託財産の全てを再信託受託会社へ移管することを目的とします。

## (2) 販売会社

名称	資本金の額(百万円) (2020年3月末現在)	事業の内容
株式会社SBI証券	48,323	金融商品取引法に定める第一種金融商品取引業を営んでいます。
auカブコム証券株式会社	7,196	
GMOクリック証券株式会社	4,346	
中銀証券株式会社	2,000	
フィデリティ証券株式会社	10,007.5	
マネックス証券株式会社	12,200	
楽天証券株式会社	7,495	
株式会社三井住友銀行 <sup>*1</sup>	1,770,996	銀行法に基づき、銀行業を営んでおります。
三菱UFJ信託銀行株式会社 <sup>*2</sup>	324,279	銀行法に基づき、銀行業を営むとともに、金融機関の信託業務の兼営等に関する法律（兼営法）に基づき信託業務を営んでいます。
ソニー生命保険株式会社 <sup>*2</sup>	70,000	保険業法に基づき、生命保険業を営んでおります。

\*1 株式会社三井住友銀行での取扱いは、確定拠出年金制度において販売会社の業務を行なう場合に限りです。

\*2 三菱UFJ信託銀行株式会社およびソニー生命保険株式会社での取扱いは、確定拠出年金制度において販売会社の業務を行なう場合に限りです。なお、「為替ヘッジなし」のみとします。

## 2【関係業務の概要】

### (1) 受託会社

受託会社(受託者)として、ファンドの信託財産の保管・管理・計算、外国証券を保管・管理する外国の保管銀行への指図・連絡等を行ないます。

### (2) 販売会社

ファンドの取扱販売会社として、募集の取扱いおよび販売を行ない、換金に関する事務、収益分配金の再投資に関する事務、換金代金・収益分配金・償還金の支払いに関する事務等を行ないます。

## 3【資本関係】

### (1) 受託会社

該当事項はありません。

### (2) 販売会社

該当事項はありません。

### 第3【その他】

1 交付目論見書の表紙等に、以下の事項を記載します。

(1) 委託会社等の情報

委託会社名

金融商品取引業者登録番号

設立年月日

資本金

当該委託会社が運用する投資信託財産の合計純資産総額

「ファンドの運用の指図を行なう者である。」旨

(2) 受託会社に関する情報

受託会社名および「ファンドの財産の保管および管理を行なう者である。」旨

(3) 詳細情報の入手方法

詳細な情報の入手方法として、以下の事項を記載します。

委託会社のホームページアドレス、電話番号および受付時間等

請求目論見書の入手方法および投資信託約款が請求目論見書に添付されている旨

(4) 交付目論見書の使用開始日

(5) 届出の効力に関する事項

金商法第4条第1項又は第2項の規定による届出の効力に関する事項について、次に掲げるいずれかの内容を記載します。

届出をした日および当該届出の効力の発生の有無を確認する方法

届出をした日、届出が効力を生じている旨および効力発生日

(6) その他の記載事項

商品内容に関して重大な変更を行なう場合には、投資信託及び投資法人に関する法律（昭和26年法律第198号、以下「投信法」という。）に基づき事前に受益者の意向を確認する旨

投資信託の財産は受託会社において信託法に基づき分別管理されている旨

請求目論見書は投資者の請求により販売会社から交付される旨および当該請求を行なった場合にはその旨の記録をしておくべきである旨

「ご購入に際しては、本書の内容を十分にお読みください。」との趣旨を示す記載

2 交付目論見書の「投資リスク」記載箇所に金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリング・オフ）の適用がない旨を記載します。

3 目論見書は別称として、「投資信託説明書」と称して使用する場合があります。

4 目論見書は電子媒体等として使用される他、インターネット等に掲載されることがあります。

独立監査人の監査報告書

2020年2月28日

ブラックロック・ジャパン株式会社  
取締役会 御中有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	田中素子
指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	中島紀子

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「委託会社等の経理状況」に掲げられているブラックロック・ジャパン株式会社の2019年1月1日から2019年12月31日までの第33期事業年度の財務諸表、すなわち、貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書、重要な会計方針及びその他の注記について監査を行った。

## 財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

## 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した監査に基づいて、独立の立場から財務諸表に対する意見を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準は、当監査法人に財務諸表に重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得るために、監査計画を策定し、これに基づき監査を実施することを求めている。

監査においては、財務諸表の金額及び開示について監査証拠を入手するための手続が実施される。監査手続は、当監査法人の判断により、不正又は誤謬による財務諸表の重要な虚偽表示のリスクの評価に基づいて選択及び適用される。財務諸表監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、当監査法人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、財務諸表の作成と適正な表示に関連する内部統制を検討する。また、監査には、経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた見積りの評価も含め全体としての財務諸表の表示を検討することが含まれる。

当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

## 監査意見

当監査法人は、上記の財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、ブラックロック・ジャパン株式会社の2019年12月31日現在の財政状態並びに同日をもって終了する事業年度の経営成績をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

## 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は、監査報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社が別途保管しております。

2. XBR Lデータは監査の対象には含まれていません。

# 独立監査人の監査報告書

2020年11月11日

ブラックロック・ジャパン株式会社  
取締役会御中PwCあらた有限責任監査法人  
東京事務所指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 和田 渉指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 榊原 康太

## 監査意見

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「ファンドの経理状況」に掲げられているブラックロックESG世界株式ファンド（限定為替ヘッジあり）（旧ファンド名 ブラックロック・インパクト株式ファンド（ノーロード/限定為替ヘッジあり））の2019年9月21日から2020年9月23日までの計算期間の財務諸表、すなわち、貸借対照表、損益及び剰余金計算書、注記表並びに附属明細表について監査を行った。

当監査法人は、上記の財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、ブラックロックESG世界株式ファンド（限定為替ヘッジあり）（旧ファンド名 ブラックロック・インパクト株式ファンド（ノーロード/限定為替ヘッジあり））の2020年9月23日現在の信託財産の状態及び同日をもって終了する計算期間の損益の状況を、すべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

## 監査意見の根拠

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準における当監査法人の責任は、「財務諸表監査における監査人の責任」に記載されている。当監査法人は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、ブラックロック・ジャパン株式会社及びファンドから独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

## 財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

財務諸表を作成するに当たり、経営者は、継続企業の前提に基づき財務諸表を作成することが適切であるかどうかを評価し、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に基づいて継続企業に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

## 財務諸表監査における監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した監査に基づいて、全体としての財務諸表に不正又は誤謬による重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得て、監査報告書において独立の立場から財務諸表に対する意見を表明することにある。虚偽表示は、不正又は誤謬により発生する可能性があり、個別に又は集計すると、財務諸表の利用者の意思決定に影響を与えると合理的に見込まれる場合に、重要性があると判断される。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に従って、監査の過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- ・ 不正又は誤謬による重要な虚偽表示リスクを識別し、評価する。また、重要な虚偽表示リスクに対応した監査手続を立案し、実施する。監査手続の選択及び適用は監査人の判断による。さらに、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手する。
- ・ 財務諸表監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、監査人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、監査に関連する内部統制を検討する。
- ・ 経営者が採用した会計方針及びその適用方法の適切性、並びに経営者によって行われた会計上の見積りの合理性及び関連する注記事項の妥当性を評価する。
- ・ 経営者が継続企業を前提として財務諸表を作成することが適切であるかどうか、また、入手した監査証拠に基づき、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められるかどうか結論付ける。継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、監査報告書において財務諸表の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する財務諸表の注記事項が適切でない場合は、財務諸表に対して除外事項付意見を表明することが求められている。監査人の結論は、監査報告書日までに入手した監査証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、ファンドは継続企業として存続できなくなる可能性がある。
- ・ 財務諸表の表示及び注記事項が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠しているかどうかとともに、関連する注記事項を含めた財務諸表の表示、構成及び内容、並びに財務諸表が基礎となる取引や会計事象を適正に表示しているかどうかを評価する。

監査人は、経営者に対して、計画した監査の範囲とその実施時期、監査の実施過程で識別した内部統制の重要な不備を含む監査上の重要な発見事項、及び監査の基準で求められているその他の事項について報告を行う。

## 利害関係

ブラックロック・ジャパン株式会社及びファンドと当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

---

(注) 1. 上記は監査報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社が別途保管しております。

2. XBRLデータは監査の対象には含まれていません。

独立監査人の監査報告書

2020年11月11日

ブラックロック・ジャパン株式会社  
取締役会御中

PwCあらた有限責任監査法人

東京事務所

指定有限責任社員  
業務執行社員

公認会計士 和田 渉

指定有限責任社員  
業務執行社員

公認会計士 榊原 康太

## 監査意見

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「ファンドの経理状況」に掲げられているブラックロックESG世界株式ファンド(為替ヘッジなし)(旧ファンド名 ブラックロック・インパクト株式ファンド(ノーロード/為替ヘッジなし))の2019年9月21日から2020年9月23日までの計算期間の財務諸表、すなわち、貸借対照表、損益及び剰余金計算書、注記表並びに附属明細表について監査を行った。

当監査法人は、上記の財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、ブラックロックESG世界株式ファンド(為替ヘッジなし)(旧ファンド名 ブラックロック・インパクト株式ファンド(ノーロード/為替ヘッジなし))の2020年9月23日現在の信託財産の状態及び同日をもって終了する計算期間の損益の状況を、すべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

## 監査意見の根拠

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準における当監査法人の責任は、「財務諸表監査における監査人の責任」に記載されている。当監査法人は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、ブラックロック・ジャパン株式会社及びファンドから独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

## 財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

財務諸表を作成するに当たり、経営者は、継続企業の前提に基づき財務諸表を作成することが適切であるかどうかを評価し、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に基づいて継続企業に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

## 財務諸表監査における監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した監査に基づいて、全体としての財務諸表に不正又は誤謬による重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得て、監査報告書において独立の立場から財務諸表に対する意見を表明することにある。虚偽表示は、不正又は誤謬により発生する可能性があり、個別に又は集計すると、財務諸表の利用者の意思決定に影響を与えると合理的に見込まれる場合に、重要性があると判断される。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に従って、監査の過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- ・ 不正又は誤謬による重要な虚偽表示リスクを識別し、評価する。また、重要な虚偽表示リスクに対応した監査手続を立案し、実施する。監査手続の選択及び適用は監査人の判断による。さらに、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手する。
- ・ 財務諸表監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、監査人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、監査に関連する内部統制を検討する。
- ・ 経営者が採用した会計方針及びその適用方法の適切性、並びに経営者によって行われた会計上の見積りの合理性及び関連する注記事項の妥当性を評価する。
- ・ 経営者が継続企業を前提として財務諸表を作成することが適切であるかどうか、また、入手した監査証拠に基づき、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められるかどうか結論付ける。継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、監査報告書において財務諸表の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する財務諸表の注記事項が適切でない場合は、財務諸表に対して除外事項付意見を表明することが求められている。監査人の結論は、監査報告書日までに入手した監査証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、ファンドは継続企業として存続できなくなる可能性がある。
- ・ 財務諸表の表示及び注記事項が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠しているかどうかとともに、関連する注記事項を含めた財務諸表の表示、構成及び内容、並びに財務諸表が基礎となる取引や会計事象を適正に表示しているかどうかを評価する。

監査人は、経営者に対して、計画した監査の範囲とその実施時期、監査の実施過程で識別した内部統制の重要な不備を含む監査上の重要な発見事項、及び監査の基準で求められているその他の事項について報告を行う。

## 利害関係

ブラックロック・ジャパン株式会社及びファンドと当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

---

(注) 1. 上記は監査報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社が別途保管しております。

2. XBRLデータは監査の対象には含まれていません。

独立監査人の中間監査報告書

2020年8月28日

ブラックロック・ジャパン株式会社  
取締役会 御中有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	山	田	信	之
指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	中	島	紀	子

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「委託会社等の経理状況」に掲げられているブラックロック・ジャパン株式会社の2020年1月1日から2020年12月31日までの第34期事業年度の中間会計期間（2020年1月1日から2020年6月30日まで）に係る中間財務諸表、すなわち、中間貸借対照表、中間損益計算書、中間株主資本等変動計算書、重要な会計方針及びその他の注記について中間監査を行った。

## 中間財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に準拠して中間財務諸表を作成し有用な情報を表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない中間財務諸表を作成し有用な情報を表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

## 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した中間監査に基づいて、独立の立場から中間財務諸表に対する意見を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる中間監査の基準に準拠して中間監査を行った。中間監査の基準は、当監査法人に中間財務諸表には全体として中間財務諸表の有用な情報の表示に関して投資者の判断を損なうような重要な虚偽表示がないかどうかの合理的な保証を得るために、中間監査に係る監査計画を策定し、これに基づき中間監査を実施することを求めている。

中間監査においては、中間財務諸表の金額及び開示について監査証拠を入手するために年度監査と比べて監査手続の一部を省略した中間監査手続が実施される。中間監査手続は、当監査法人の判断により、不正又は誤謬による中間財務諸表の重要な虚偽表示のリスクの評価に基づいて、分析的手続等を中心とした監査手続に必要に応じて追加の監査手続が選択及び適用される。中間監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、当監査法人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な中間監査手続を立案するために、中間財務諸表の作成と有用な情報の表示に関連する内部統制を検討する。また、中間監査には、経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた見積りの評価も含め中間財務諸表の表示を検討することが含まれる。

当監査法人は、中間監査の意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

## 中間監査意見

当監査法人は、上記の中間財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に準拠して、ブラックロック・ジャパン株式会社の2020年6月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する中間会計期間（2020年1月1日から2020年6月30日まで）の経営成績に関する有用な情報を表示しているものと認める。

## 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 1. 上記は、監査報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社が別途保管しております。

2. XBR L データは監査の対象には含まれていません。